

令和3年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

テーマ

1. 消費者問題について
2. 自転車利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について
3. 堺市博物館の今後のあり方について
4. 自治会について

堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

目 次

■ 調査概要	1
■ 回答者属性	3
■ 調査結果	4
1. 消費者問題について	
(1) 堺市立消費生活センターについて	4
«消費生活センターの認知度»	4
(2) 商品やサービスのトラブルについて	5
«商品購入やサービス利用上の経験»	5
«苦情の相談先»	6
(3) 訪問販売・電話勧誘販売について	8
«クーリング・オフ制度の認知度»	8
«訪問販売お断りシールの利用度»	9
(4) 消費者教育・啓発について	11
«未成年者取消権適用年齢引下げの認知度»	11
«消費者トラブルを防ぐ方法»	12
«消費者教育について特に重要だと思う分野»	13
«消費者教育の担い手»	14
«消費生活に関して欲しい情報»	16
(5) 計量について	17
«定期検査合格ラベルの認知度»	17
«風袋（ふうたい）の認知度»	18
(6) その他	19
«市の取組として期待すること»	19
2. 自転車の利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について	
(1) 「利用促進」について	20
«自転車の保有台数»	20
«自転車の利用頻度»	21
«自転車の利用方法»	22
«堺市シェアサイクル実証実験の認知度と利用実績»	23

«堺市シェアサイクル実証実験の利用希望»	24
«シェアサイクルの利便性向上»	25
(2) 「安全利用」について	26
«ヘルメットの着用状況»	27
«自転車保険の加入状況»	28
«自転車歩道通行可の標識走行»	29
«自転車のあおり運転»	31
«ルール・マナーの順守について»	32
«順守できていないルール・マナーについて»	33
«安全教育や啓発事業の必要性について»	35
(3) 「通行環境」について	37
«自転車の通行位置»	37
«自転車通行におけるルール・マナー»	38
«自転車レーンの通行頻度»	39
«生活道路における自転車通行環境整備について»	40
«自転車通行環境整備の推進について»	41
(4) 「駐輪環境」について	42
«駅前の放置自転車台数について»	42
«駅前の放置自転車状況時間帯について»	43
«駅前の駐輪場について»	44
«駐輪場のサービスについて»	45
«本市の自転車施策に対する満足度及び自由意見など»	46
3. 堺市博物館の今後のあり方について	
«堺市博物館への関心度»	50
«堺市博物館に対する認知度»	51
«堺市博物館に関する情報の入手方法»	52
«堺市博物館へ行った回数»	53
«堺市博物館へ行った目的»	54
«堺市博物館へ行ったことがない理由»	55
«堺市博物館の展示について»	56
«堺市博物館で、展示以外に期待する取組・役割»	58

«堺市博物館に期待する施設・環境»	59
«堺市博物館に期待する活動・イベント»	61
«堺市博物館に関する自由意見»	62
4. 自治会について	
(1) 生活実態などについて	67
«お住まいの状況»	67
«家族の人数»	68
(2) 自治会や地域コミュニティへの関わりについて	69
«自治会の加入状況»	69
«加入のきっかけ»	70
«携わっている自治会活動»	71
«自治会に加入してよかったこと»	72
(3) 自治会に対する意識について	74
«未加入の理由»	74
«加入につながる要因»	76
«興味・関心がある活動»	77
(4) 加入促進に向けて	78
«近所付き合いの程度»	78
«大規模災害発生のとき»	79
«自治会の必要性»	80
«自治会に期待すること»	81
«情報を受け取る手段»	82

■ 調査概要

1. 趣旨目的

(1) 消費者問題について

本市では、多様化・複雑化する消費者問題に的確・迅速に対応するため、平成 22 年 4 月に「堺市消費生活条例」を施行し、消費生活相談による消費者トラブルへの対応や条例違反事業者に対する指導、被害を未然に防止するための情報提供などを行っています。

今回のアンケートは、市民の皆様がこれまでの生活の中で経験された消費者トラブルの実態や、消費者問題についてのご意見を伺うことで、本市消費者行政の課題を明らかにし、今後の施策に反映させるなど、より効果的な取り組みの基礎資料とするために実施するものです。

なお、設問については過去と同様のものがありますが、経年変化を確認しておりますのでご了承願います。

(2) 自転車利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について

本市では、平成 26 年 10 月に「堺市自転車のまちづくり推進条例」を施行し、また、令和元年 8 月には、「堺市自転車利用環境計画〈追補版〉-重点アクションプラン-」を策定し、自転車を安全に安心、そして楽しく利用できる環境づくりを進めています。

また、「堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン 50km」に基づき、自転車通行環境整備に取り組み、さらに駅前を中心に放置自転車対策や駐輪場の利用環境の向上にも努めています。

今回のアンケートでは、自転車に関わる施策のうち、現在重点的に取り組んでいる「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」のそれぞれ施策について、効果検証をするとともに、今後における施策展開の参考とするために実施するものです。

なお、設問については過去と同様のものがありますが、経年変化を確認しておりますのでご了承願います。

(3) 堺市博物館の今後のあり方について

令和元年 7 月 6 日に「百舌鳥・古市古墳群」が大阪府内で初となる世界遺産に登録されました。本市では、古墳の価値や魅力について、市民の皆様により分かりやすくお伝えしていくため、本年 3 月 13 日に「百舌鳥古墳群ビジターセンター」をオープンするとともに、堺市博物館のリニューアルを行い、古墳などに関する古代展示を充実したところです。

堺市博物館では、市内の古墳・遺跡からの発掘資料や古文書、美術資料などを多数展示し、古代から近代に至る堺の歴史・文化について紹介しており、古墳群の世界遺産登録を機に、更に堺の歴史文化の魅力を発信していく必要があると考えています。しかしながら、堺市博物館は、昭和 55 年の開設から 40 年以上が経過して施設・設備の老朽化が進むとともに、収蔵資料の増加に伴い収蔵庫が手狭になるなどの課題が生じています。

こうした状況の中で、市民の皆様のご意見を参考に、今後の堺市博物館のあり方や、果たしていくべき役割などについて検討を進めたいと考えています。

(4) 自治会について

これまで、本市では、住民自治を進め、安全・安心な地域コミュニティを推進するため、主要な協働パートナーである自治会と連携・協働しながら、取組を進めてきました。

近年、生活スタイルや価値観の多様化などから地域でのつながりが希薄化し、地域コミュニティの弱体化が懸念されています。

皆様の自治会活動への関与状況などをお聞きして、今後の自治会支援施策等を検討する参考とさせていただくものです。

2. 調査期間

令和3年8月20日（金）～令和3年9月2日（木）

3. テーマ担当課

(1) 消費者問題について

市民人権局 市民生活部 消費生活センター

(2) 自転車利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について

建設局 サイクルシティ推進部 自転車企画推進課、自転車環境整備課、自転車対策事務所

(3) 堺市博物館の今後のあり方について

文化観光局 博物館 学芸課

(4) 自治会について

市民人権局 市民生活部 市民協働課

4. 調査方法

(1) 対象

市内在住・在勤・在学の18歳以上の方で、公募による市政モニター

(2) 人数

494人

(3) 調査方法

インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者494人に対して、有効回収数482人 回収率97.6%となった。

5. 報告書の見方

(1)本調査の集計分析対象とした調査票総数は482である。数表中のNは比例算出の基礎となる回答者総数を表している。

(2)個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計をNで除して百分率を求め、小数点第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100%にならない場合がある。

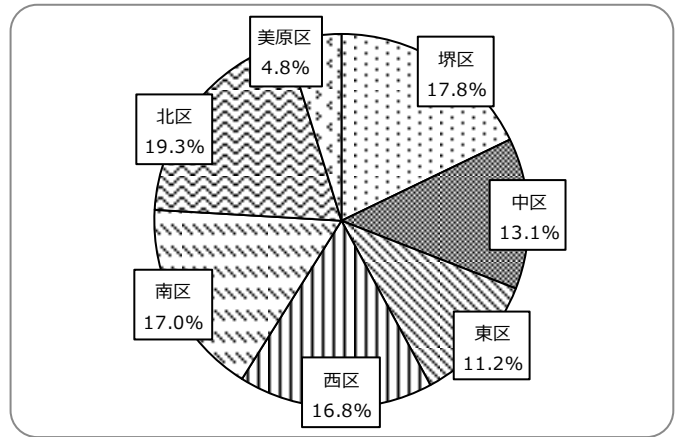
(3)アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える。

(4)「その他記述」および「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■ 回答者属性

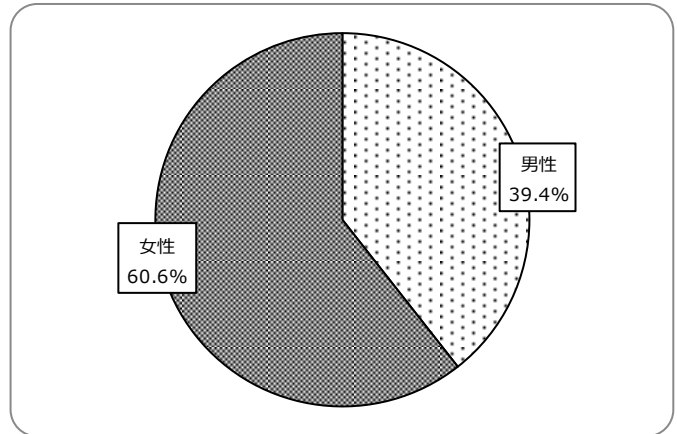
居住区別		回答数	構成比
1	堺区	86	17.8%
2	中区	63	13.1%
3	東区	54	11.2%
4	西区	81	16.8%
5	南区	82	17.0%
6	北区	93	19.3%
7	美原区	23	4.8%
	計	482	100.0%

居住区別



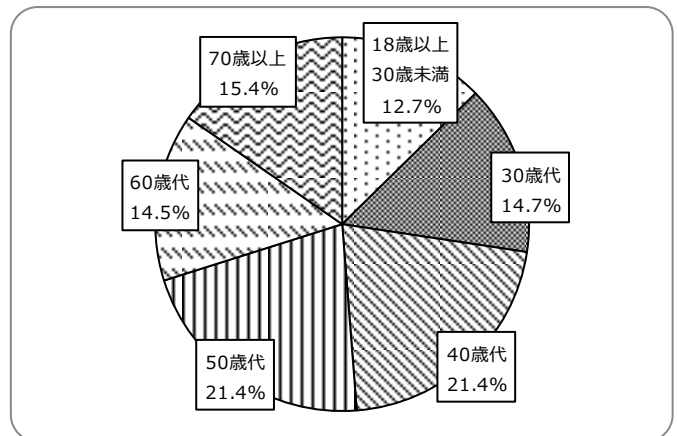
性別		回答数	構成比
1	男性	190	39.4%
2	女性	292	60.6%
	計	482	100.0%

性別



年齢層別		回答数	構成比
1	18歳以上30歳未満	61	12.7%
2	30歳代	71	14.7%
3	40歳代	103	21.4%
4	50歳代	103	21.4%
5	60歳代	70	14.5%
6	70歳以上	74	15.4%
	計	482	100.0%

年齢層別



■ 調査結果

1. 消費者問題について

(1) 堺市立消費生活センターについて

≪消費生活センターの認知度≫

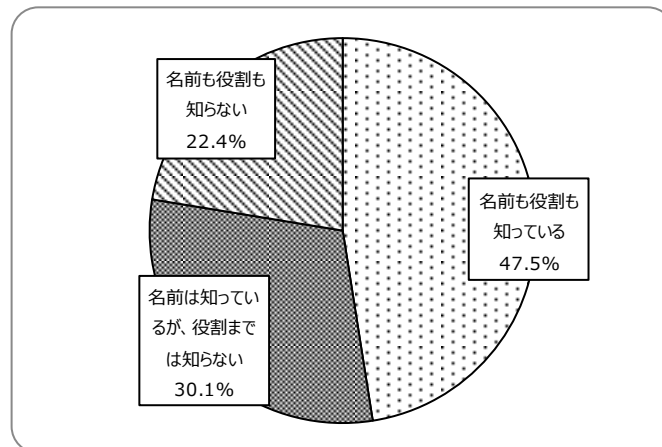
問 1. 堺市立消費生活センター（以下「消費生活センター」という）を知っていますか。

役割：商品・サービスの契約トラブルなど、消費生活の相談や苦情の解決に向けた助言やあっせん、消費生活に関する情報提供や啓発活動など 【選択は1つ】

「名前も役割も知っている」は 47.5%と最も割合が高く、次いで「名前は知っているが、役割までは知らない」が 30.1%、「名前も役割も知らない」が 22.4%となっており、『消費生活センターの名前を知っている（1,2 の合計）』は、77.6%であった。

一方、『消費生活センターの役割を知らない（2,3 の合計）』は、52.5%であり、昨年度調査と比べ『消費生活センターの役割を知らない』（53.3%）より 0.8 ポイント減った。今後も消費者被害の救済だけでなく、被害の未然防止に向けて、最も身近な消費生活相談窓口である消費生活センターのより一層の周知が必要である。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	名前も役割も知っている	229	47.5%
2	名前は知っているが、役割までは知らない	145	30.1%
3	名前も役割も知らない	108	22.4%
	計（回答総数）	482	100.0%



(2) 商品やサービスのトラブルについて

≪商品購入やサービス利用上の経験≫

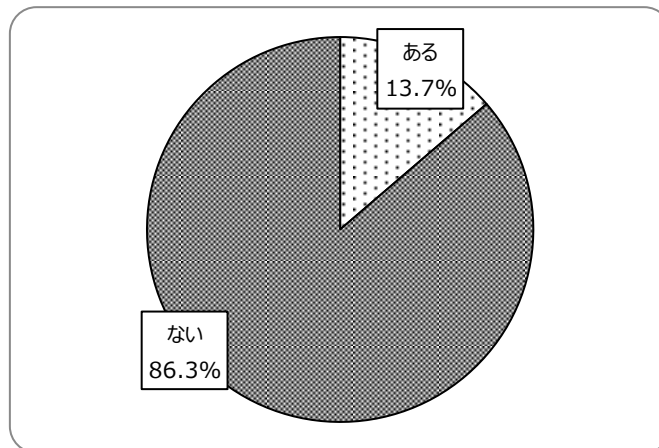
問 2. この 1 年間に、商品購入やサービス利用の際、トラブルにあったことはありますか。

【選択は 1 つ】

「ある」は 13.7%、「ない」は 86.3%であった。

「ない」が大多数であったが、今後万一トラブルが発生しても対処できるよう、相談先として消費生活センターの周知に努める必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	ある	66	13.7%
2	ない	416	86.3%
	計 (回答総数)	482	100.0%



「苦情の相談先」

問 3. 問 2 で「1 ある」と回答された方に伺います。

その苦情をどこかに相談したり、伝えたりしましたか。

【複数回答可：いくつでも】

「販売店、販売員」が 45.5%と最も割合が高く、次いで「メーカーの相談窓口」が 30.3%、「消費生活センター」が 15.2%となっている。また、「相談も伝えもしなかった」は 15.2%であった。なお、相談先の上位の順番は昨年度と同じであった。

	選択項目(N=66)	回答数	構成比
1	消費生活センター	10	15.2%
2	国・地方公共団体などの相談窓口（消費生活センターを除く）	0	0.0%
3	販売店、販売員	30	45.5%
4	メーカーの相談窓口	20	30.3%
5	事業者団体の相談窓口	1	1.5%
6	消費者団体	1	1.5%
7	弁護士	2	3.0%
8	その他	7	10.6%
9	相談も伝えもしなかった	10	15.2%
	計（回答総数）	81	122.7%

[8 その他]

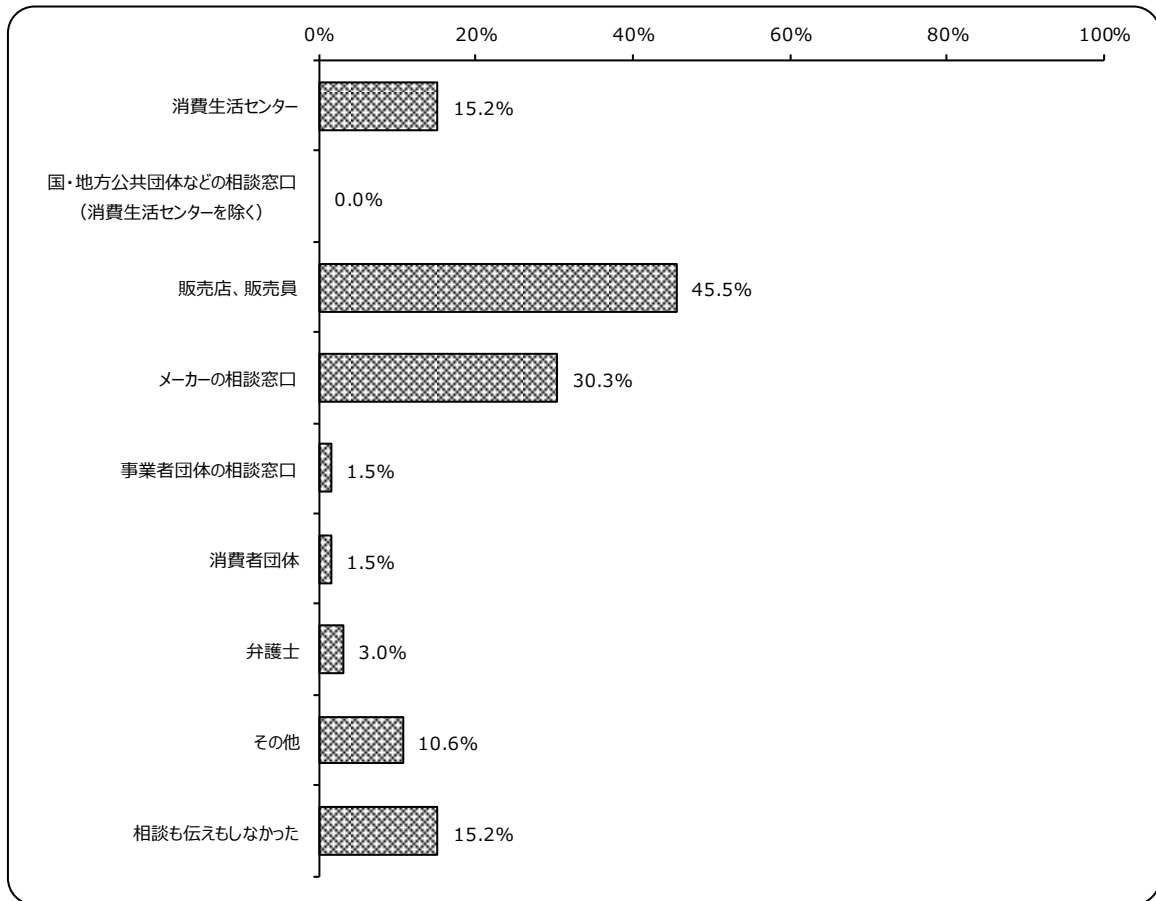
【主な回答】

- 警察
- 家族
- オンラインストア

[9 相談も伝えもしなかった理由]

【回答一覧】

- 相談先や相談の仕方がわからなかった。
- 煩わしかった。
- 伝えるほどでもないと思った。
- カードが不正利用された際に、カード会社がきちんと対応してくれた。
- 販売元が海外の企業であったため、誠実な対応を行ってもらえると思わなかった。
- 自己責任の範疇であると割り切った。



(3) 訪問販売・電話勧誘販売について

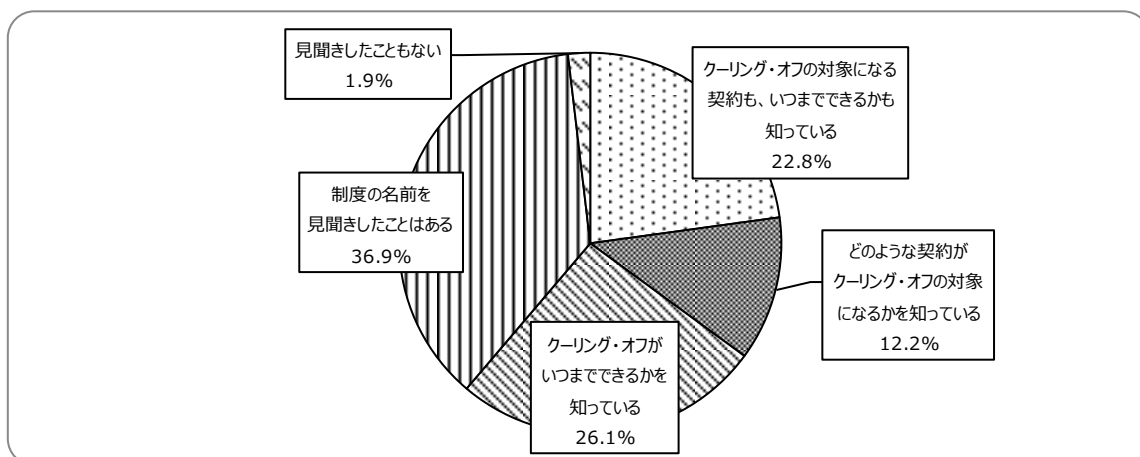
「クーリング・オフ制度の認知度」

問 4. あなたは、クーリング・オフ制度※を知っていますか。

※クーリング・オフ制度とは、訪問販売・電話勧誘販売など法律で決められた取引について、一定の期間内（訪問販売・電話勧誘販売の場合は契約書面を受け取った日から8日以内）は、消費者が無条件で契約を解除できる制度です。ただし、通信販売や自らの意思で店舗に出向いての契約などは、原則、クーリング・オフの対象となりません。 【選択は1つ】

「制度の名前を見聞きしたことはある」が36.9%と最も割合が高く、クーリング・オフ制度について何らかのことを知っている方（1～4の合計）は98.0%となっている。「クーリング・オフの対象になる契約も、いつまでできるかも知っている」と答えた方は22.8%で、昨年度調査の35.8%から13.0ポイント減っており、制度についてさらに周知していく必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	クーリング・オフの対象になる契約も、いつまでできるかも知っている	110	22.8%
2	どのような契約がクーリング・オフの対象になるかを知っている	59	12.2%
3	クーリング・オフがいつまでできるかを知っている	126	26.1%
4	制度の名前を見聞きしたことはある	178	36.9%
5	見聞きしたこともない	9	1.9%
	計（回答総数）	482	100.0%



「訪問販売お断りシールの利用度」

問 5. 本市では、望まない訪問販売による消費者被害を防ぐため、「訪問販売お断りシール」を作成し、配布しています。「訪問販売お断りシール」を利用していますか。 【選択は 1 つ】

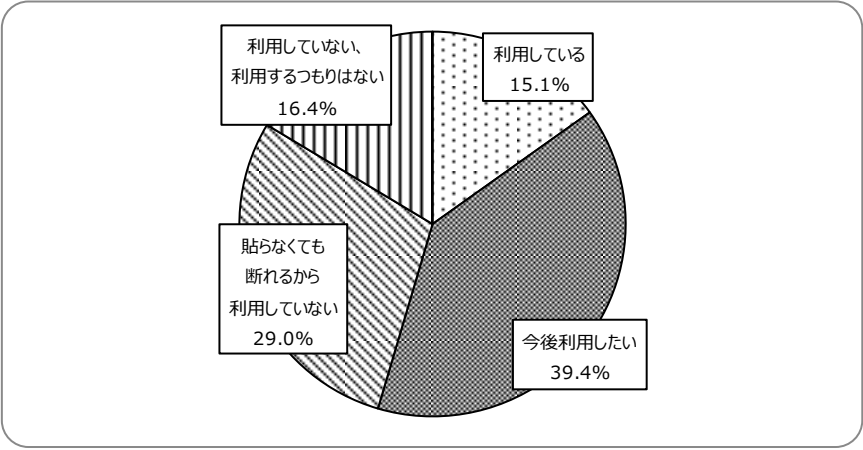
「今後利用したい」が 39.4%と最も割合が高く、「利用している」の 15.1%と合わせて全体の 54.5%が利用者もしくは利用希望者であり、昨年度調査の 50.4%から 4.1 ポイント増えている。「利用していない、利用するつもりはない」という意見が一定数あるものの、悪質な訪問販売による消費者被害の未然防止のため、シールの貼付の効果や配布場所の PR など、今後も周知及び勧奨に努める必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	利用している	73	15.1%
2	今後利用したい	190	39.4%
3	貼らなくても断れるから利用していない	140	29.0%
4	利用していない、利用するつもりはない	79	16.4%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[4 利用していない、利用するつもりはない理由]

【回答一覧】

- 存在を知らなかった、入手方法がわからない。
- 訪問販売が来たことはない。
- シールを持っていない。
- 必要な訪問販売・サービス等もある。
- 集合住宅で、訪問者とはまずインターフォン越しにやり取りするので、そこで断る。
- 今居住している集合住宅では、許可のない訪問販売は禁止になっている。
- マンション住まいのため、戸別対応より、エントランスに掲示してほしい。
- 意思表示をするのが怖い。貼ることで余計に狙われたり、他のトラブルを誘発する気がする。
- 効果がよくわからない。実際効果があるかどうか不明
- 貼っていても訪問される。
- 訪問販売の来訪が減るとは思えない。
- 周りに使っていない人が多い。
- 賃貸のため貼れない。
- デザインがわるい。景観が損なわれる。
- 玄関にシールを貼りたくない。
- 貼る場所がない。
- 外に出ない。
- 訪問者を確認して、対応しない場合もある。
- 恥ずかしい。カッコ悪い。
- めんどくさい
- 必要ない。
- 現在特に困っていない。



(4) 消費者教育・啓発について

《未成年者取消権適用年齢引下げの認知度》

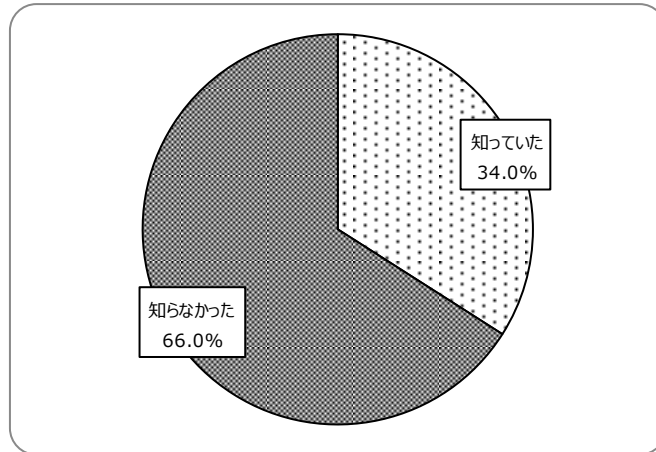
問 6. 民法の改正により、令和 4 年 4 月から、成年年齢が 18 歳に引き下げられます。これに伴い、18 歳、19 歳にも「未成年者取消権」が適用されなくなります。あなたは、このことを知っていましたか。

※未成年者取消権とは、未成年者が法定代理人（親や親権者など）の同意がなく商品やサービスを契約した場合、未成年者本人や保護者等が契約を取り消すことができるものです。ただし、「成年者である」などどうそを ついて結んだ契約など、取り消すことができない場合もあります。 【選択は 1 つ】

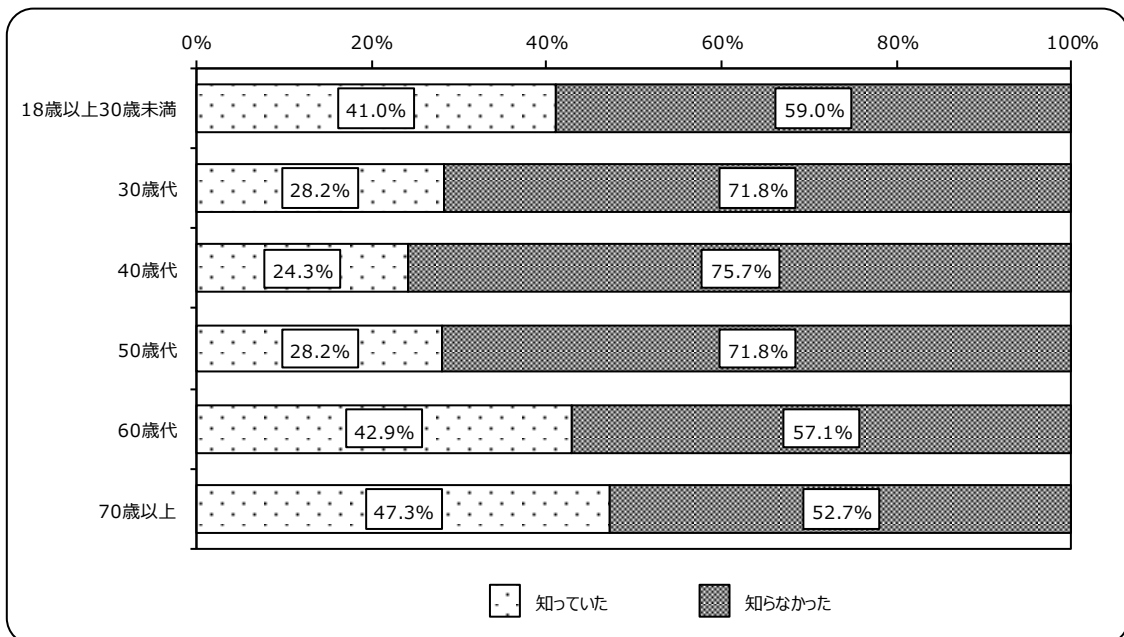
「知らなかった」が 66.0%、「知っていた」が 34.0%となっており、すべての年代において「知らなかった」が高くなっている。また、年齢別集計の結果、当事者の年齢を含む 18 歳以上 30 歳未満の世代でも「知らなかった」が 59.0%となっているため、より一層周知する必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	知っていた	164	34.0%
2	知らなかった	318	66.0%
	計 (回答総数)	482	100.0%

《全体》



《年齢層別》



「消費者トラブルを防ぐ方法」

問 7. 消費者トラブルを防止するための方法として何が重要だと思いますか。

【複数回答可：2 つまで】

「SNS、インターネットを利用した情報提供」が 56.0%と最も割合が高く、次いで「テレビ・ラジオなどを利用した情報提供」が 45.0%、「広報さかいを利用した情報提供」が 33.2%であった。

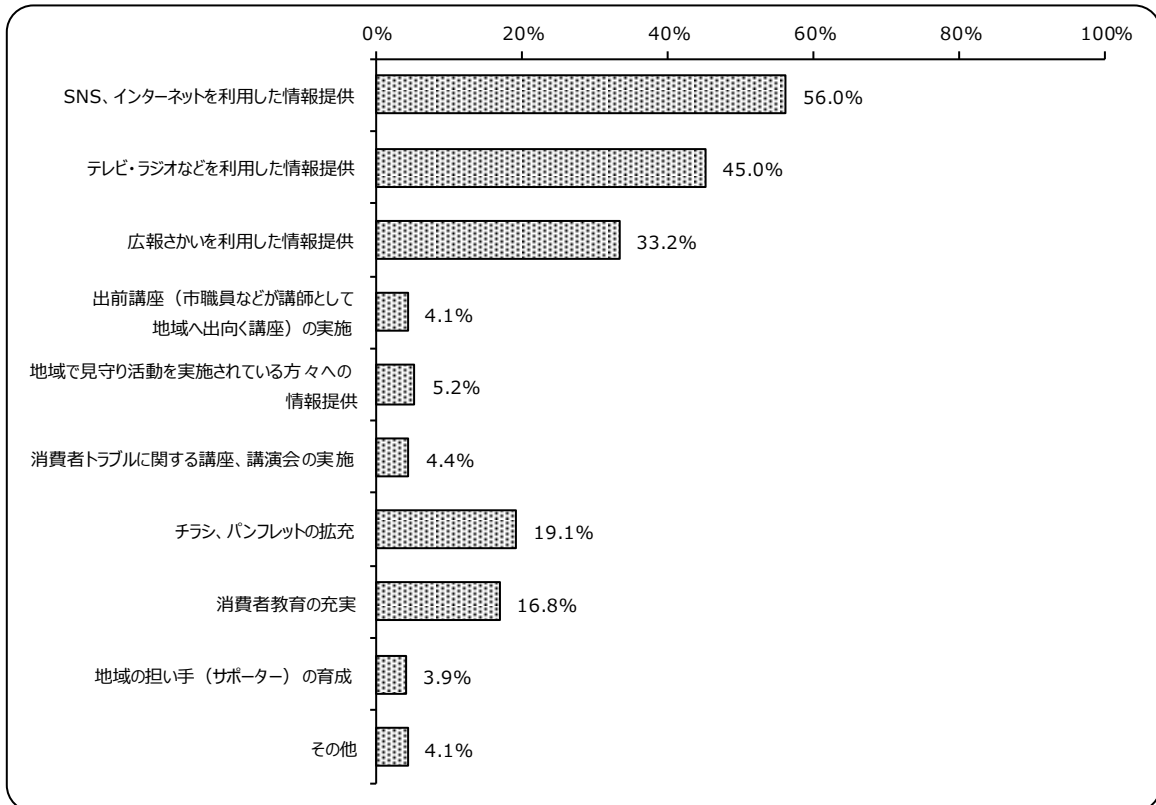
「SNS、インターネットを利用した情報提供」については、昨年度調査の 36.2%から 19.8 ポイント増えており、市民の関心、ニーズが増加していることから、今後も消費生活センターで開設している公式 Twitter などの SNS、インターネットを利用した啓発を推進していく必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	SNS、インターネットを利用した情報提供	270	56.0%
2	テレビ・ラジオなどを利用した情報提供	217	45.0%
3	広報さかいを利用した情報提供	160	33.2%
4	出前講座（市職員などが講師として地域へ出向く講座）の実施	20	4.1%
5	地域で見守り活動を実施されている方々への情報提供	25	5.2%
6	消費者トラブルに関する講座、講演会の実施	21	4.4%
7	チラシ、パンフレットの拡充	92	19.1%
8	消費者教育の充実	81	16.8%
9	地域の担い手（サポーター）の育成	19	3.9%
10	その他	20	4.1%
	計（回答総数）	925	191.9%

[10 その他]

【主な回答】

- 駅や地域など、人通りが多い場所に相談窓口の案内や消費生活情報を掲示
- LINE を活用した啓発
- 相談窓口の設置、周知



「消費者教育について特に重要だと思う分野」

問 8. 消費者教育の分野について、特にどれが重要だと思いますか。

【複数回答可：2 つまで】

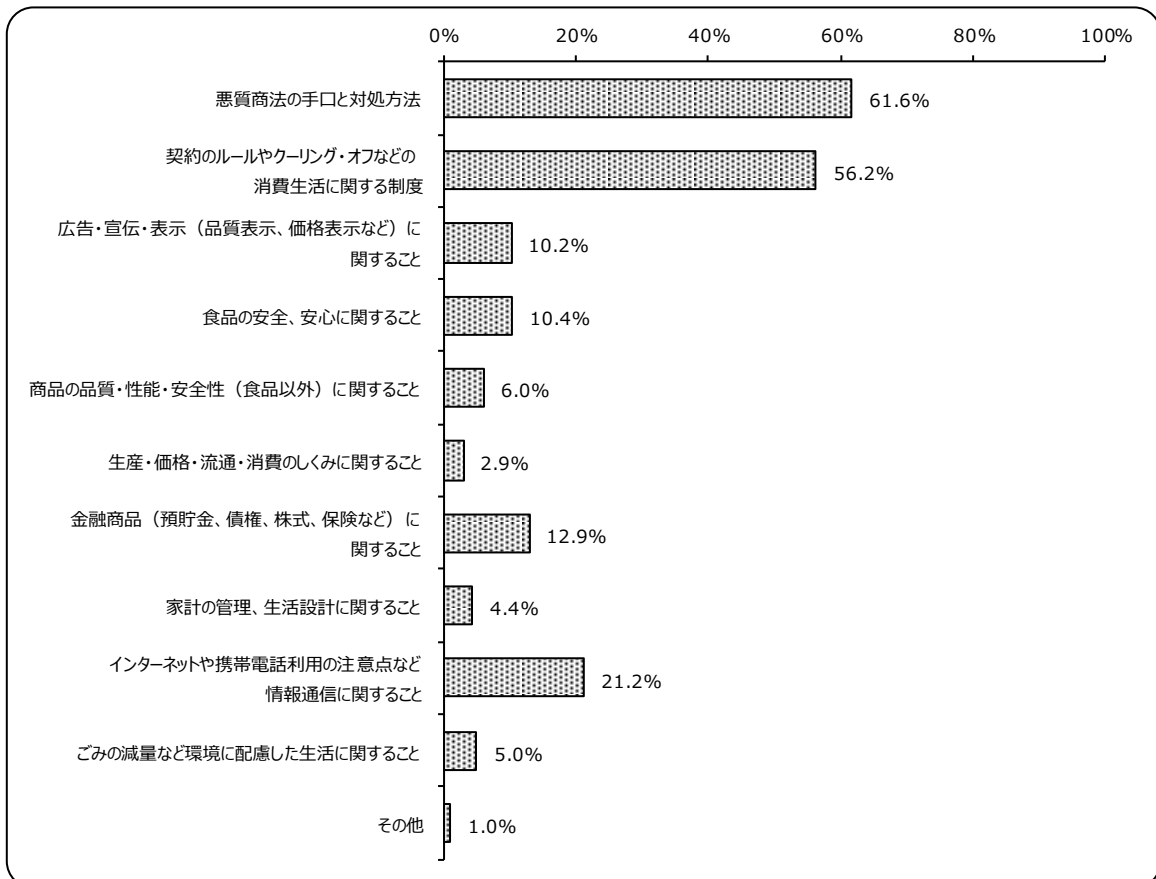
「悪質商法の手口と対処方法」が 61.6%、次いで「契約のルールやクーリング・オフなどの消費生活に関する制度」が 56.2%、「インターネットや携帯電話利用の注意点など情報通信に関すること」が 21.2%となっている。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	悪質商法の手口と対処方法	297	61.6%
2	契約のルールやクーリング・オフなどの消費生活に関する制度	271	56.2%
3	広告・宣伝・表示（品質表示、価格表示など）に関すること	49	10.2%
4	食品の安全、安心に関すること	50	10.4%
5	商品の品質・性能・安全性（食品以外）に関すること	29	6.0%
6	生産・価格・流通・消費のしくみに関すること	14	2.9%
7	金融商品（預貯金、債権、株式、保険など）に関すること	62	12.9%
8	家計の管理、生活設計に関すること	21	4.4%
9	インターネットや携帯電話利用の注意点など情報通信に関すること	102	21.2%
10	ごみの減量など環境に配慮した生活に関すること	24	5.0%
11	その他	5	1.0%
	計（回答総数）	924	191.7%

[11 その他]

【主な回答】

- 消費者教育に関わる教職員などの人材確保
- 悪質業者の会社名などを公表
- 悪質商法の実例を紹介



《消費者教育の担い手》

問 9. 消費者教育の担い手として特にどれが重要だと思いますか。

【複数回答可：2 つまで】

「学校」が 60.6%と最も割合が高く、次いで「家庭」が 51.5%、「行政機関（国・地方公共団体など）」が 45.6%であった。年代別にみると、「18 歳以上 30 歳未満」から「50 歳代」では「学校」及び「家庭」を選択した方が多く、「60 歳代」と「70 歳以上」では、「行政機関（国・地方公共団体など）」が多くなっている。

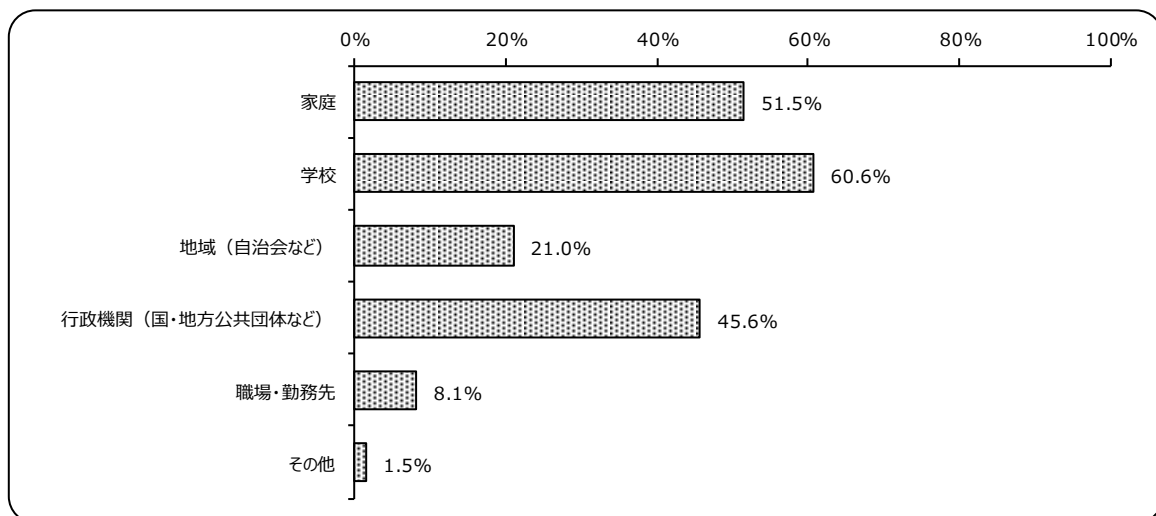
	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	家庭	248	51.5%
2	学校	292	60.6%
3	地域（自治会など）	101	21.0%
4	行政機関（国・地方公共団体など）	220	45.6%
5	職場・勤務先	39	8.1%
6	その他	7	1.5%
	計（回答総数）	907	188.2%

[6 その他]

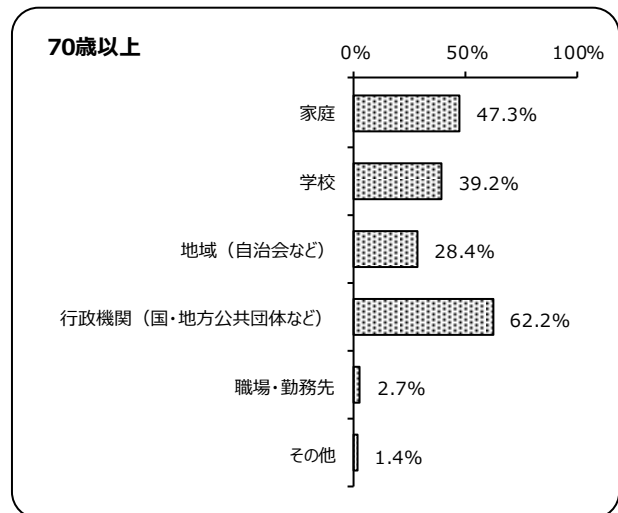
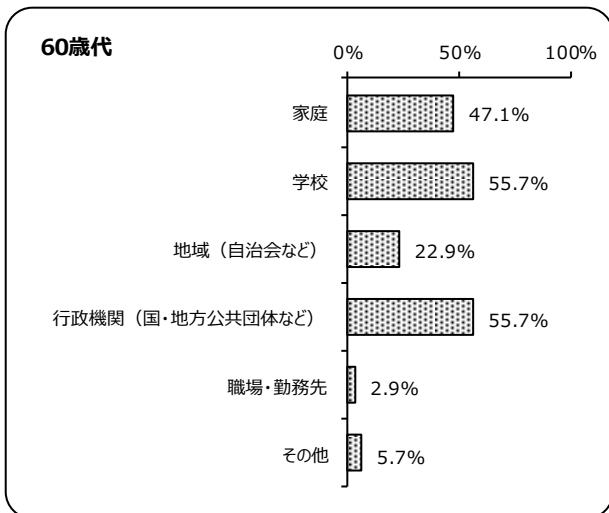
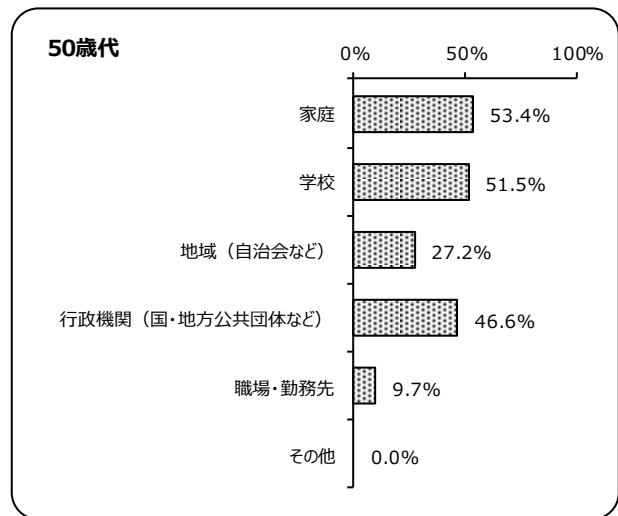
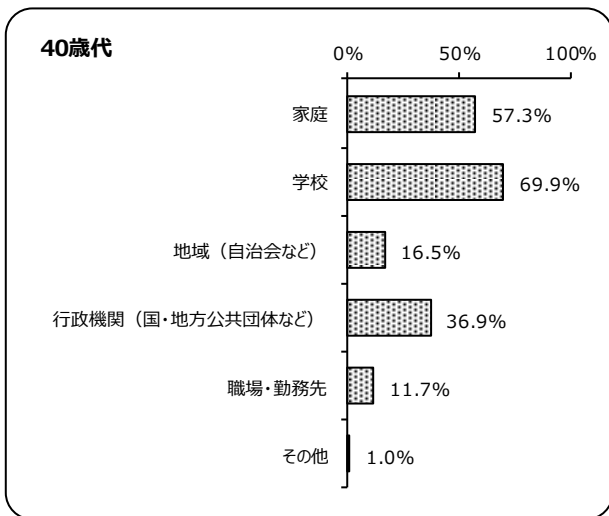
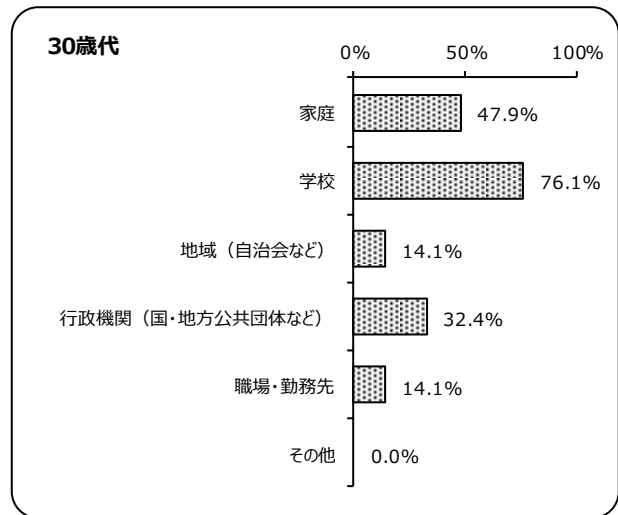
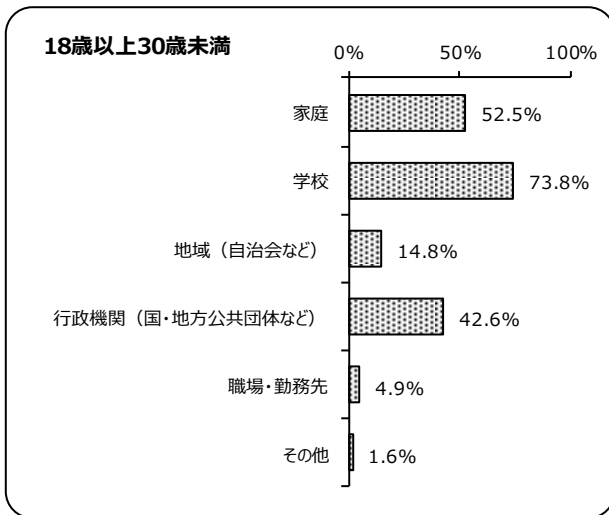
【主な回答】

- 企業、経団連、商工会議所
- インターネットを使った紹介
- タレントを起用したコマーシャル

《全体》



《年齢層別》



「消費生活に関して欲しい情報」

問 10. 消費生活に関してどのような情報が欲しいですか。

【複数回答可：いくつでも】

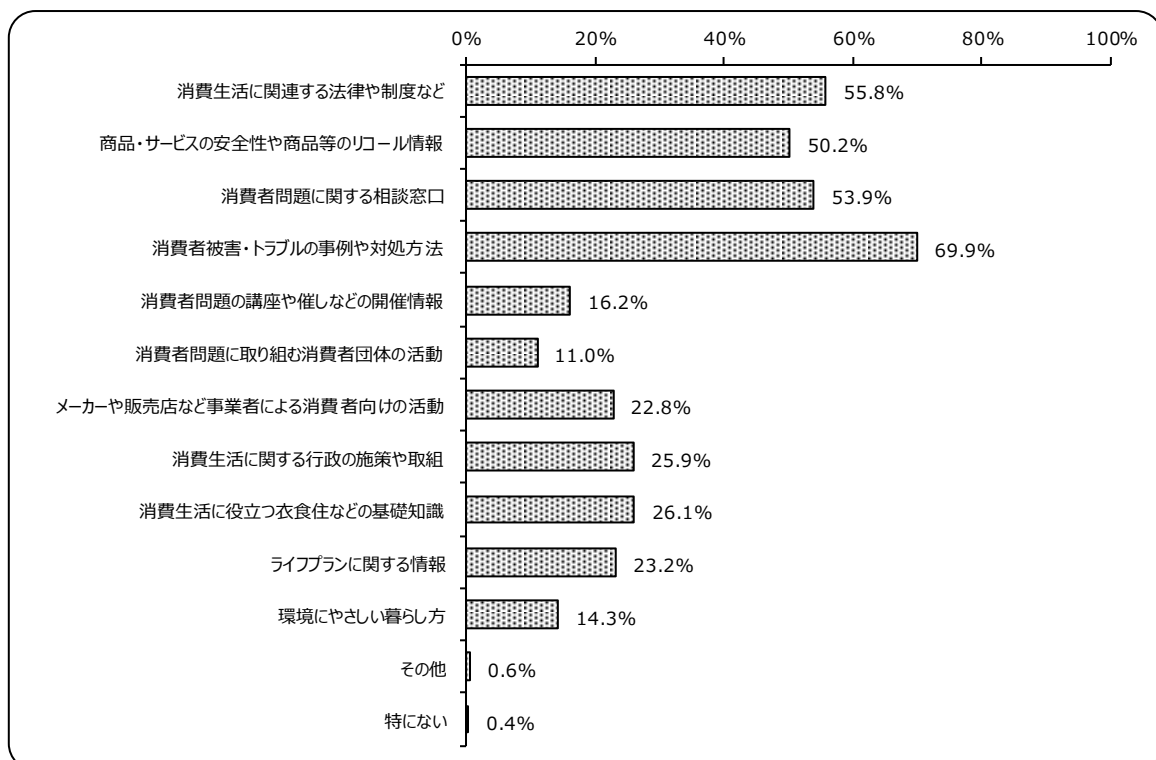
「消費者被害・トラブルの事例や対処方法」が 69.9%と最も割合が高く、次いで「消費生活に関連する法律や制度など」が 55.8%、「消費者問題に関する相談窓口」は 53.9%、「商品・サービスの安全性や商品等のリコール情報」が 50.2%となっている。昨年度調査でも同順位となっている。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	消費生活に関連する法律や制度など	269	55.8%
2	商品・サービスの安全性や商品等のリコール情報	242	50.2%
3	消費者問題に関する相談窓口	260	53.9%
4	消費者被害・トラブルの事例や対処方法	337	69.9%
5	消費者問題の講座や催しなどの開催情報	78	16.2%
6	消費者問題に取り組む消費者団体の活動	53	11.0%
7	メーカーや販売店など事業者による消費者向けの活動	110	22.8%
8	消費生活に関する行政の施策や取組	125	25.9%
9	消費生活に役立つ衣食住などの基礎知識	126	26.1%
10	ライフプランに関する情報	112	23.2%
11	環境にやさしい暮らし方	69	14.3%
12	その他	3	0.6%
13	特にない	2	0.4%
	計 (回答総数)	1,786	370.5%

[12 その他]

【主な回答】

- スーパーや掲示板などに、トラブル防止のポスターを掲示してほしい。
- 学校での消費生活に関する学習
- 断捨離の具体的な方法



(5) 計量について

◀定期検査合格ラベルの認知度▶

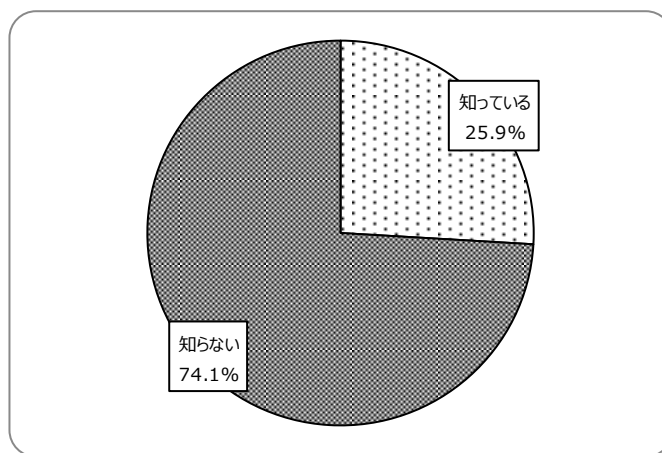
問 11. 安心して商品売り買いするためには、事業者は正確なはかりで適正に計測し、その内容量を正しく表記することが重要です。本市では、正確なはかりを確保するため、事業者に対し定期的に検査を行っています。

この検査に合格したはかりには「定期検査合格ラベル」が貼られていることを知っていますか。

※商取引又は証明行為に使用されるはかりは、定期的に検査を受けなければなりません。【選択は1つ】

「知らない」が74.1%、「知っている」が25.9%であった。今後も計量に関する豆知識や暮らしの中の身近な事例を紹介するなど、計量についての関心や知識を深めていただけるよう、広報活動のあり方を工夫する必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	知っている	125	25.9%
2	知らない	357	74.1%
	計(回答総数)	482	100.0%

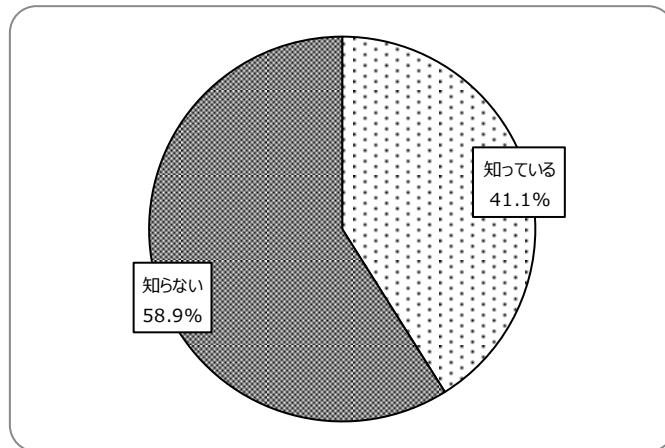


「風袋（ふうたい）の認知度」

問 12. 「風袋」とは、スーパーなどで買い物した時のパック商品のトレーやラップなどの包装、薬味、ワサビやタレ等の添え物のことをいいます。内容量には、風袋の重さを含まないことを知っていますか。 【選択は 1 つ】

「知らない」が 58.9%、「知っている」が 41.1%であった。「知っている」が昨年度調査に比べ 2.0 ポイント増えている。ホームページ等で「風袋」について掲載しているが、今後もより一層の周知が必要である。

選択項目(N=482)		回答数	構成比
1	知っている	198	41.1%
2	知らない	284	58.9%
計 (回答総数)		482	100.0%



(6) その他

≪市の取組として期待すること≫

問 13. 市民の消費生活の安定・向上のために、市の取り組みとして、どのようなことを期待しますか。

【複数回答可：いくつでも】

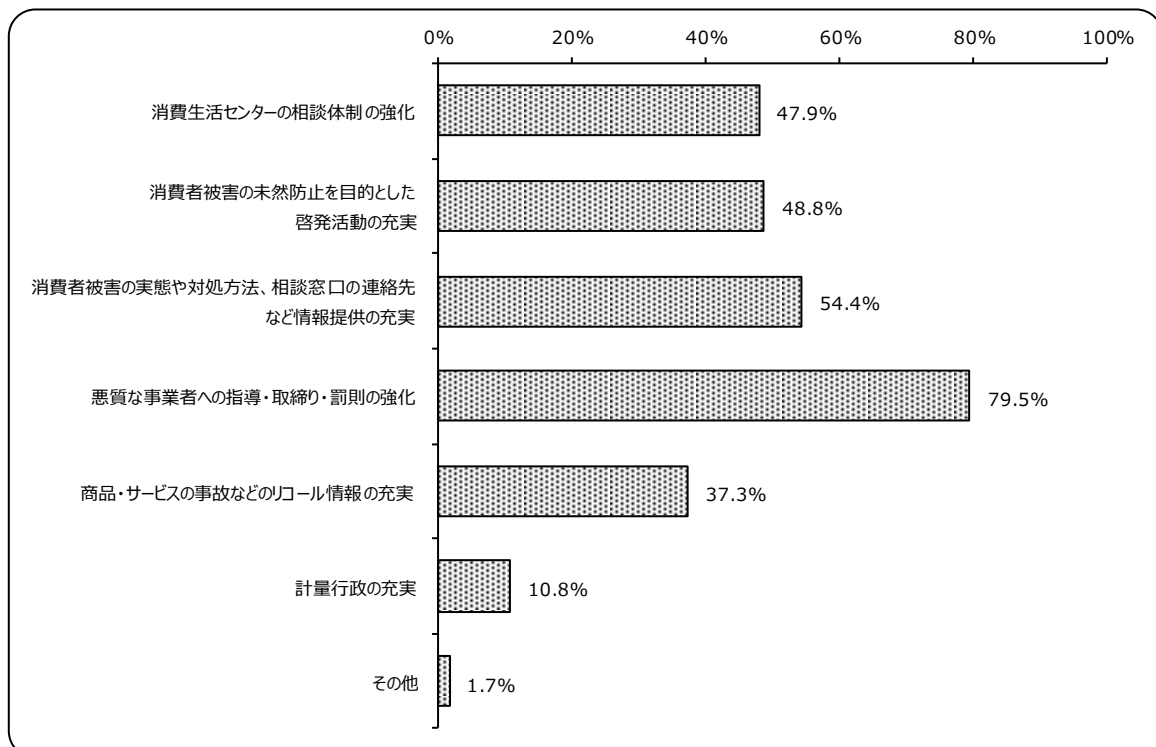
「悪質な事業者への指導・取締り・罰則の強化」が 79.5%と最も割合が高く、次いで「消費者被害の実態や対処方法、相談窓口の連絡先など情報提供の充実」が 54.4%、「消費者被害の未然防止を目的とした啓発活動の充実」が 48.8%となっている。昨年度調査でも「悪質な事業者への指導・取締り・罰則の強化」が 74.7%と最も割合が高かった。消費者被害の未然防止や救済のため、今後も取り組み内容の評価・検証を行い、不当な取引行為を行う事業者への対応や消費者教育を推進する必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	消費生活センターの相談体制の強化	231	47.9%
2	消費者被害の未然防止を目的とした啓発活動の充実	235	48.8%
3	消費者被害の実態や対処方法、相談窓口の連絡先など情報提供の充実	262	54.4%
4	悪質な事業者への指導・取締り・罰則の強化	383	79.5%
5	商品・サービスの事故などのリコール情報の充実	180	37.3%
6	計量行政の充実	52	10.8%
7	その他	8	1.7%
	計 (回答総数)	1,351	280.3%

[7 その他]

【主な回答】

- インターネットでの詐欺についてあきらめている人が多いと思うので、解決策があればわかりやすいところに掲示してほしい。
- 補助金の拡充
- 事例の公表
- 厳重な罰則



2. 自転車の利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について

(1) 「利用促進」について

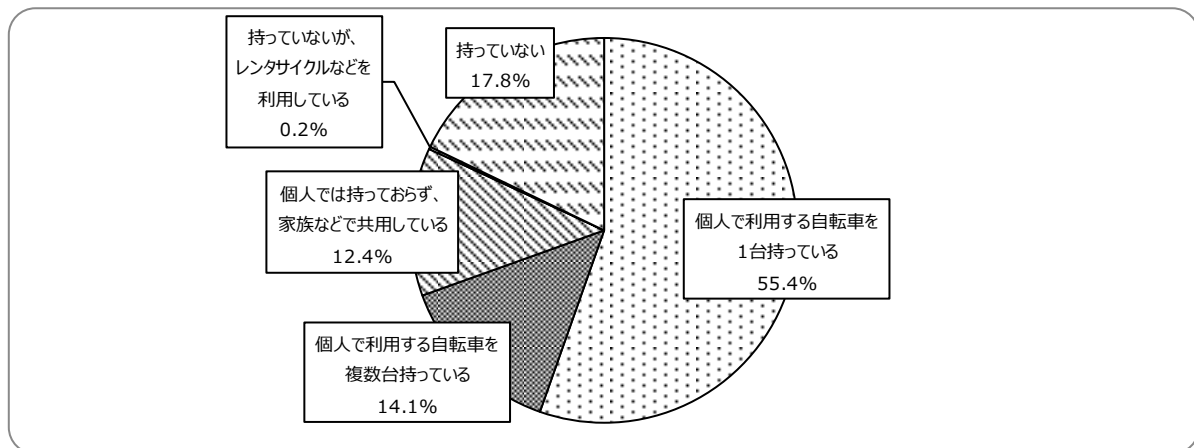
≪自転車の保有台数≫

問 14. 自転車を持っていますか。

【選択は1つ】

「個人で利用する自転車を1台持っている」が55.4%、「個人で利用する自転車を複数台持っている」が14.1%、「個人では持っておらず、家族などで共有している」が12.4%であり、約8割(81.9%)の方が何らかの形で自転車を保有していることが分かる。また、「持っていないが、レンタサイクルなどを利用している」が0.2%、「持っていない」が17.8%であった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	個人で利用する自転車を1台持っている	267	55.4%
2	個人で利用する自転車を複数台持っている	68	14.1%
3	個人では持っておらず、家族などで共有している	60	12.4%
4	持っていないが、レンタサイクルなどを利用している	1	0.2%
5	持っていない	86	17.8%
	計(回答総数)	482	100.0%



《自転車利用頻度》

問 15. 問 14 で「1 個人で利用する自転車を 1 台持っている」「2 個人で利用する自転車を複数台持っている」「3 個人では持っておらず、家族などで共用している」「4 持っていないが、レンタサイクルなどを利用している」と回答された方に伺います。

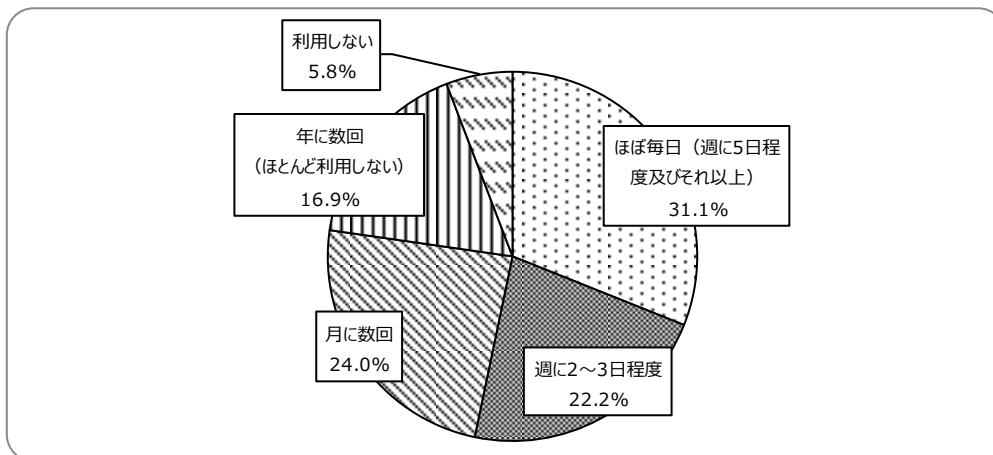
あなたはどれくらいの頻度で自転車を利用しますか。

【選択は 1 つ】

「ほぼ毎日(週に 5 日程度及びそれ以上)」が 31.1%、「週に 2～3 日程度」が 22.2%であり、約 5 割(53.3%)の方が恒常的に利用している。また、「月に数回」が 24.0%、「年に数回(ほとんど利用しない)」が 16.9%であり、約 4 割(40.9%)の方は限られた時のみ利用している。

自転車を保有しているが「利用しない」方は 5.8%であった。

	選択項目(N=396)	回答数	構成比
1	ほぼ毎日 (週に5日程度及びそれ以上)	123	31.1%
2	週に2～3日程度	88	22.2%
3	月に数回	95	24.0%
4	年に数回 (ほとんど利用しない)	67	16.9%
5	利用しない	23	5.8%
	計 (回答総数)	396	100.0%



《自転車利用方法》

問 16. 問 15 で「1 ほぼ毎日（週に 5 日程度及びそれ以上）」「2 週に 2～3 日程度」「3 月に数回」「4 年に数回（ほとんど利用しない）」と回答された方に伺います。

自転車をどのように利用していますか。

【複数選択可：いくつでも】

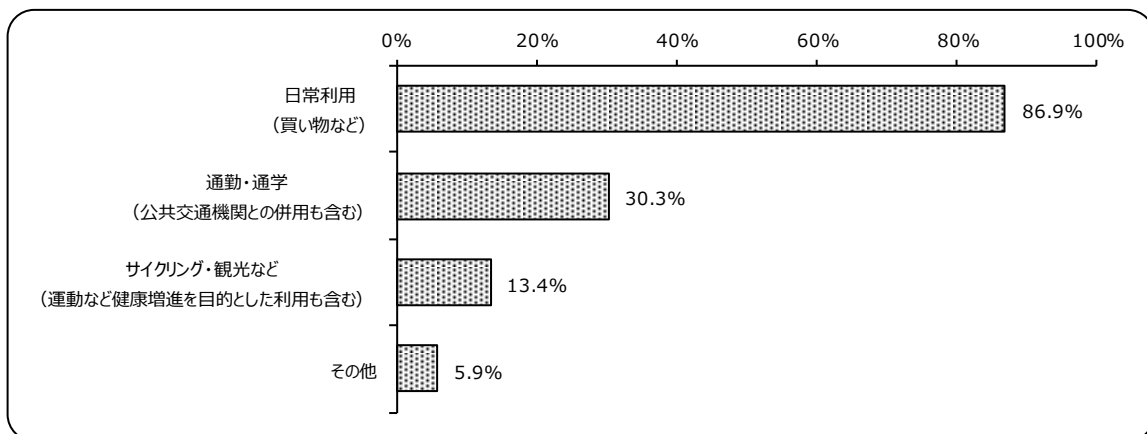
「日常利用(買い物など)」が 86.9%と、自転車を利用する方の主な目的であることが分かる。また、「通勤・通学(公共交通機関との併用も含む)」が 30.3%、「サイクリング・観光など(運動など健康増進を目的とした利用も含む)」が 13.4%であった。

	選択項目(N=373)	回答数	構成比
1	日常利用（買い物など）	324	86.9%
2	通勤・通学（公共交通機関との併用も含む）	113	30.3%
3	サイクリング・観光など（運動など健康増進を目的とした利用も含む）	50	13.4%
4	その他	22	5.9%
	計（回答総数）	509	136.5%

[4 その他]

【主な回答】

- 駐車場の確保が困難な時間帯や場所へ向かうとき
- 習い事、通い先など
- 歩くには遠く、車で行くには近い距離の場所へ向かうとき



◀堺市シェアサイクル実証実験の認知度と利用実績▶

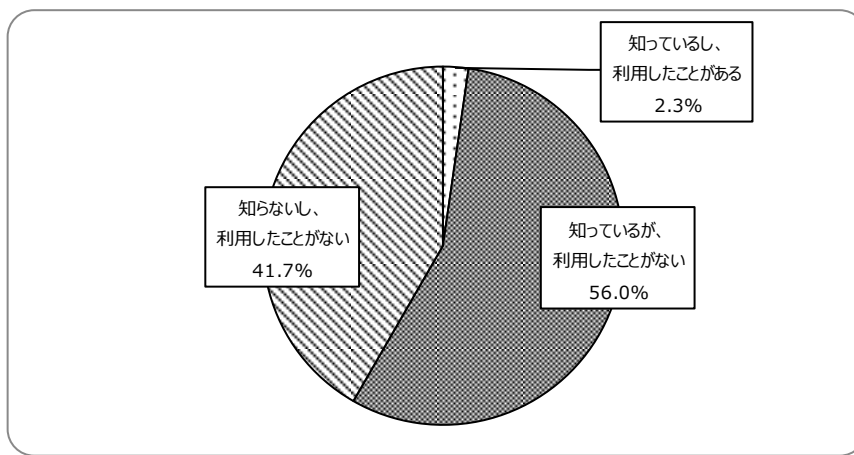
問 17. 「堺市シェアサイクル実証実験」をご存知ですか。

【選択は 1 つ】

「知っているが、利用したことがない」が 56.0%、「知っているし、利用したことがある」が 2.3%と、「堺市シェアサイクル実証実験」を知っている方は約 6 割(58.3%)である。

「知らないし、利用したことがない」が 41.7%であったため、利用者の増加及び認知度を高めるために広報などで周知を行っていく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	知っているし、利用したことがある	11	2.3%
2	知っているが、利用したことがない	270	56.0%
3	知らないし、利用したことがない	201	41.7%
	計 (回答総数)	482	100.0%



◀堺市シェアサイクル実証実験の利用希望▶

問 18. 問 17 で「2 知っているが、利用したことがない」「3 知らないし、利用したことがない」と回答された方に伺います。今後利用したいと思いますか。 【選択は 1 つ】

「関心はあるが、利用したいと思わない」が 25.3%、「関心があり、利用したいと思う」が 21.7%、「利用したいが、身近に利用できる場所にポートがない」が 18.9%と、約 7 割(65.9%)の方が関心を持っており、うち今後の利用について約 4 割(40.6%)の方が利用したいと考えていることが分かる。

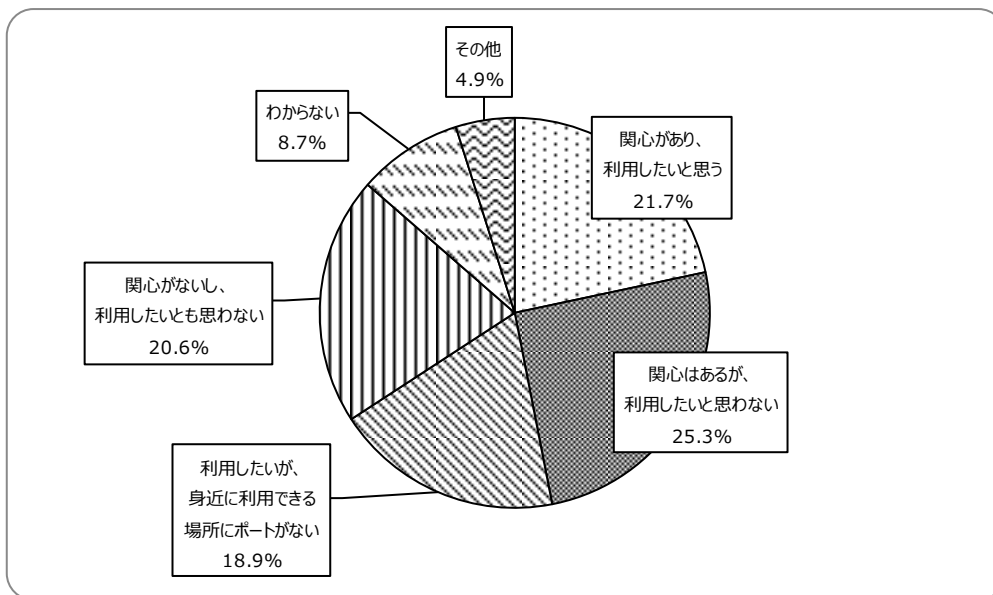
また、「関心がないし、利用したいと思わない」が 20.6%、「わからない」が 8.7%であった。

	選択項目(N=471)	回答数	構成比
1	関心があり、利用したいと思う	102	21.7%
2	関心はあるが、利用したいと思わない	119	25.3%
3	利用したいが、身近に利用できる場所にポートがない	89	18.9%
4	関心がないし、利用したいと思わない	97	20.6%
5	わからない	41	8.7%
6	その他	23	4.9%
計 (回答総数)		471	100.0%

[6 その他]

【主な回答】

- 小さい子どもがいるので、利用したいが一緒に乗れる自転車がなく利用できない。
- 関心はあるが、自転車を保有しているため利用する機会がない。
- 利用には専用のアプリを取る必要があることなど、利用方法がよくわからない。



「シェアサイクルの利便性向上」

問 19. 現在、シェアサイクルポートを拡充しています。今後、どのような場所に設置されていると利用しやすい、または利用してみたいと感じますか。 【複数選択可：いくつでも】

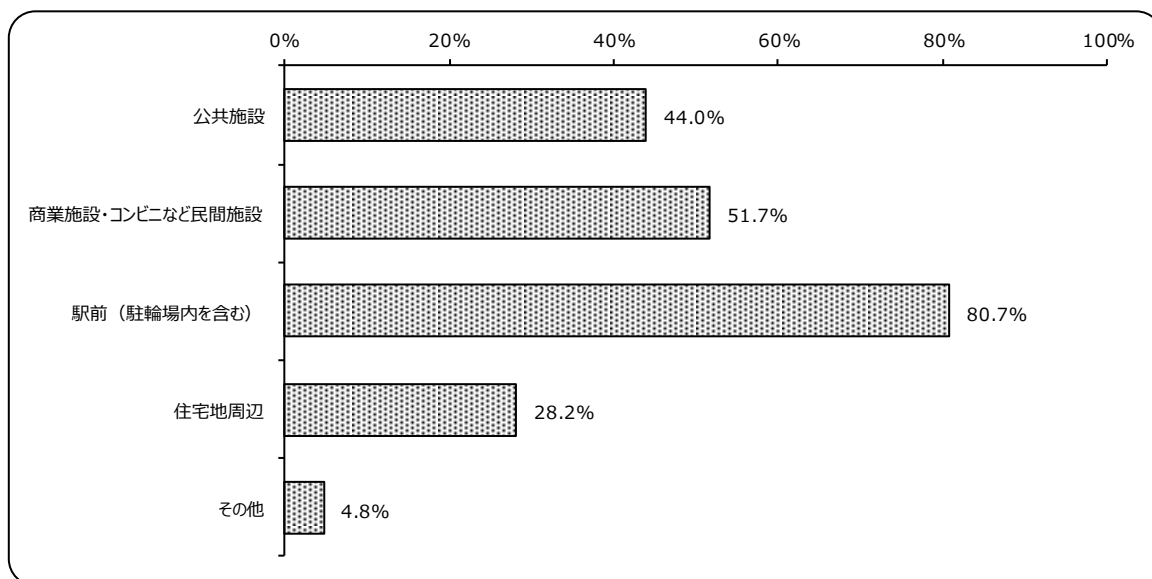
「駅前(駐輪場内を含む)」が 80.7%、「商業施設・コンビニなど民間施設」が 51.7%、「公共施設」が 44.0%、「住宅地周辺」が 28.2%であり、「駅前(駐輪場内を含む)」のシェアサイクルポートが拡充されると、利用しやすい、または利用してみたいと感じることが分かる。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	公共施設	212	44.0%
2	商業施設・コンビニなど民間施設	249	51.7%
3	駅前（駐輪場内を含む）	389	80.7%
4	住宅地周辺	136	28.2%
5	その他	23	4.8%
	計（回答総数）	1,009	209.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 広い公園
- 観光地
- バス停付近



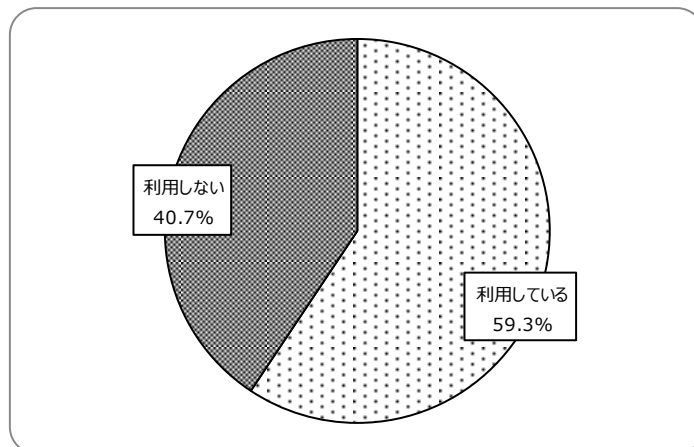
(2) 「安全利用」について

問 20. 普段から自転車を利用されていますか。

【選択は 1 つ】

「利用している」が 59.3%、「利用しない」が 40.7%であった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	利用している	286	59.3%
2	利用しない	196	40.7%
	計 (回答総数)	482	100.0%



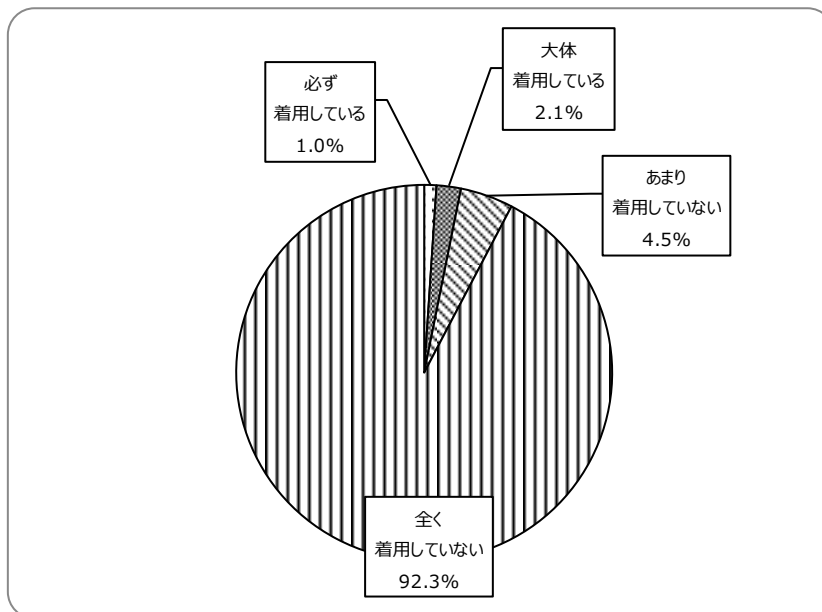
「ヘルメットの着用状況」

問 21. 問 20 で「1 利用している」と回答された方に伺います。日頃、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。 【選択は 1 つ】

「全く着用していない」が 92.3%、「あまり着用していない」が 4.5%、「大体着用している」が 2.1%、「必ず着用している」が 1.0%であり、「必ず着用している」、「大体着用している」の合計が 1 割未満(3.1%)と低い着用率となっているため、引き続きヘルメット着用に関する周知・啓発を行う必要がある。

また、昨年度の着用率は「必ず着用している」が 1.3%、「大体着用している」が 0.6%と合計が 1.9%であった。

	選択項目(N=286)	回答数	構成比
1	必ず着用している	3	1.0%
2	大体着用している	6	2.1%
3	あまり着用していない	13	4.5%
4	全く着用していない	264	92.3%
	計 (回答総数)	286	100.0%



≪自転車保険の加入状況≫

問 22. 問 20 で「1 利用している」と回答された方に伺います。自転車を利用中に加害事故を起こした場合の被害者への賠償に備えた保険（いわゆる自転車保険または個人賠償責任保険等）に加入していますか。

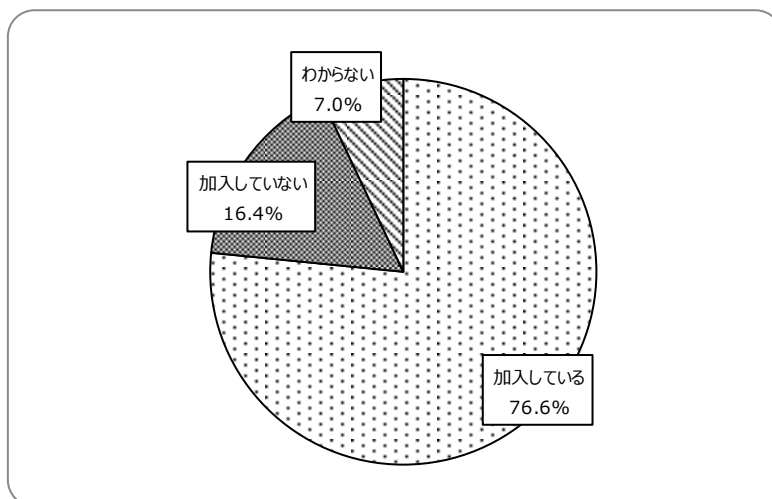
※平成 28 年 7 月より大阪府内で自転車を利用する場合、保険への加入が義務化されました。

【選択は 1 つ】

「加入している」が 76.6%、「加入していない」が 16.4%、「わからない」が 7.0%であり、「加入していない」、「わからない」の合計が 23.4%であった。

また、昨年度の加入率は 74.8%であったため増加していることがわかるが、保険への加入が義務化されているため引き続き周知・啓発を行う。

	選択項目(N=286)	回答数	構成比
1	加入している	219	76.6%
2	加入していない	47	16.4%
3	わからない	20	7.0%
	計 (回答総数)	286	100.0%



「自転車歩道通行可の標識走行」

問 23. 問 20 で「1 利用している」と回答された方に伺います。車の仲間である自転車が歩道を通行することが出来るのは、「自転車歩道通行可」の標識がある場所だけです。あなたは普段、この標識があることを意識して通行していますか。

※但し、13 歳未満の方や 70 歳以上の方、または身体の不自由な方が自転車を運転するときは例外的に通行できます。また工事等で車道走行できない場合なども通行できます。 【複数選択可：いくつでも】

「標識を意識して走っている。標識のない歩道では車道の左側を通行している」が 40.9%、「標識を意識して通行していない」が 26.9%、「標識の有無しに関係なく歩道を通行している」が 18.2%、「標識の有無しに関係なく車道を通行している」が 14.0%、「交差点に標識がないときは歩道を通行して良いかわからない」が 5.2%であった。

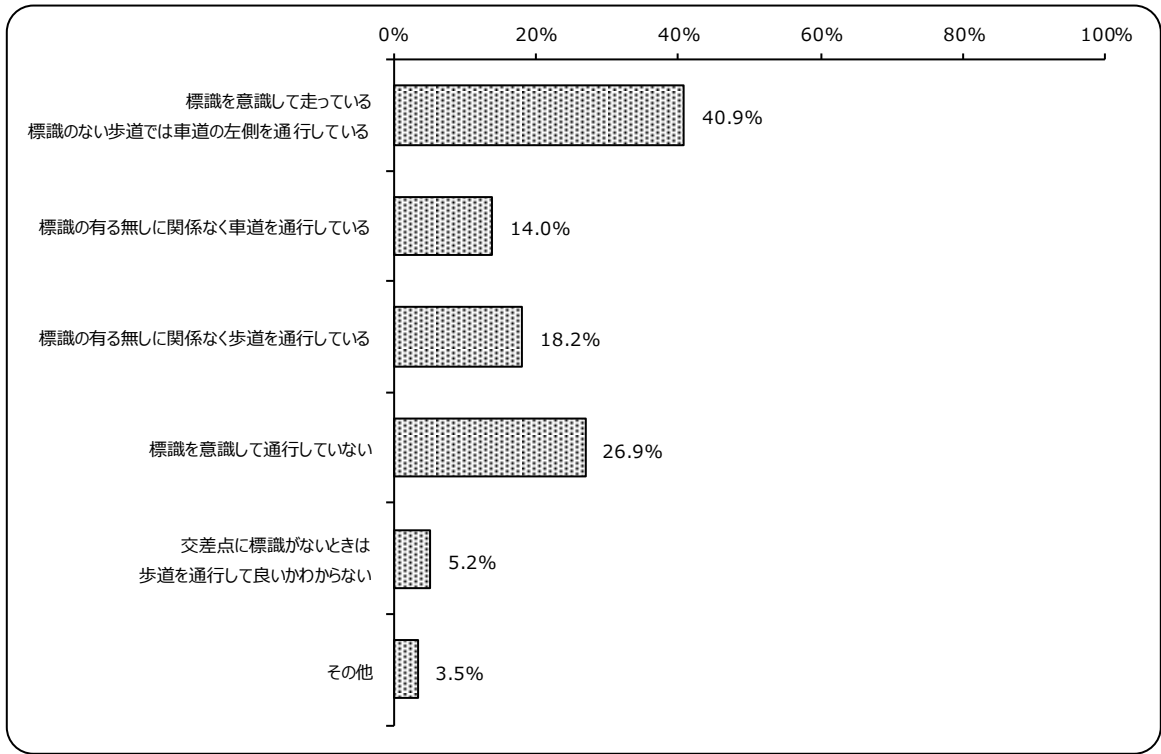
標識の有無を意識せずに走行している自転車の割合が半数を越えているが、「標識を意識して走っている。標識のない歩道では車道の左側を通行している」が約 4 割と項目の中で最も高く（昨年度 29.0%）、昨年度と比べるとルールが浸透してきているものとする。しかしながら、引き続き周知・啓発を行う必要がある。

	選択項目(N=286)	回答数	構成比
1	標識を意識して走っている標識のない歩道では車道の左側を通行している	117	40.9%
2	標識の有無しに関係なく車道を通行している	40	14.0%
3	標識の有無しに関係なく歩道を通行している	52	18.2%
4	標識を意識して通行していない	77	26.9%
5	交差点に標識がないときは歩道を通行して良いかわからない	15	5.2%
6	その他	10	3.5%
	計（回答総数）	311	108.7%

[6 その他]

【主な回答】

- 基本的には車と同じ向きで走っている。
- 子どもを自転車に乗せている時は車道を走る事に不安を感じることもあるため、時と場合による。
- 路上駐車などで危険な場合は、歩道を通行することもある。
- なるべく車道を走っているが、道路と歩道の整備をきちんとしてほしい。
- 70 歳以上なので、安全のため歩道を通行している。
- 標識の有無を意識しているが、標識がどこにあるか分かりづらい時や、車道が危険であるような場所は主に歩道を通行している。
- 出来る限り歩道を通行する。



≪自転車のあおり運転≫

問 24. 令和 2 年 6 月 30 日に道路交通法が改正され、自転車も「妨害運転」（「あおり運転」）として、罰せられるようになりました。次のような行為が自転車の「あおり運転」に当たります。

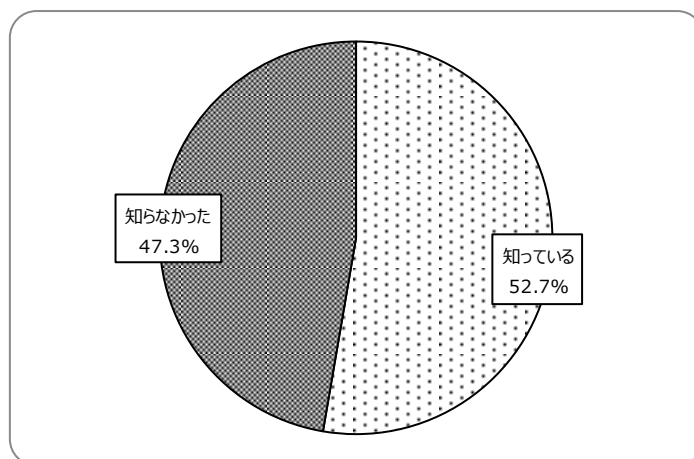
- ・逆走して進路をふさぐ
- ・急に割り込む(進路変更)
- ・幅寄せ
- ・不必要な急ブレーキ
- ・車間距離の不保持
- ・執拗にベルを鳴らす

このことをご存知でしたか。

【選択は 1 つ】

「知っている」が 52.7%、「知らなかった」が 47.3%と、割合はほぼ拮抗していることが分かる。
 昨年度（「知っている」が 45.5%、「知らなかった」が 54.5%）と比べると「知っている」と回答した方は増加しているが、ほぼ半数の方が「知らなかった」と回答していることから、引き続き周知・啓発を行う必要がある。

選択項目(N=482)		回答数	構成比
1	知っている	254	52.7%
2	知らなかった	228	47.3%
計 (回答総数)		482	100.0%



《ルール・マナーの順守について》

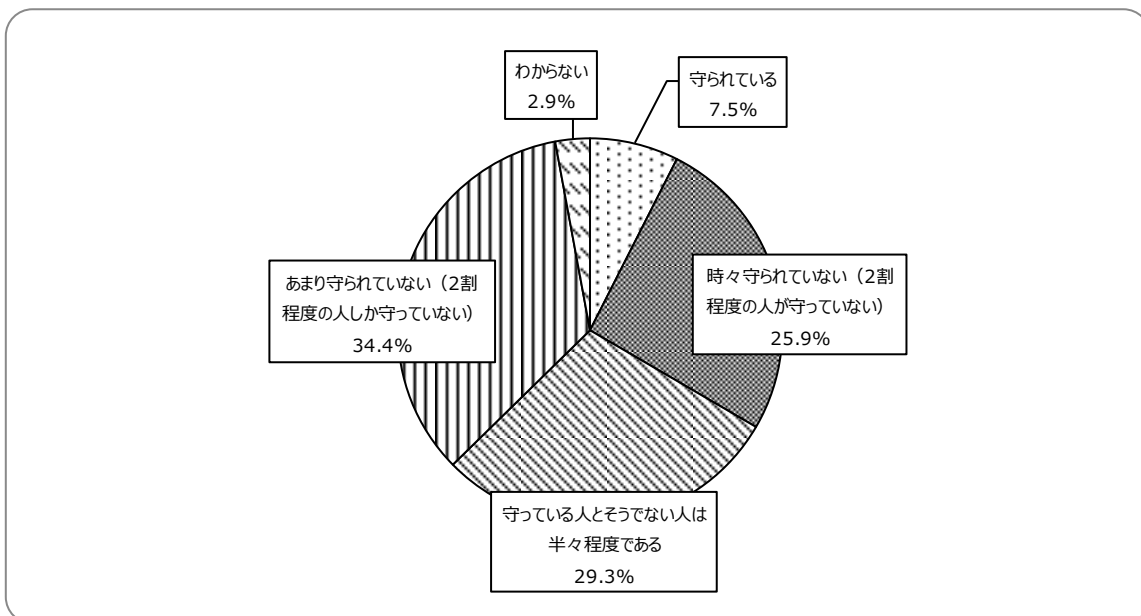
問 25. 日常生活において、街中で見て感じる自転車の交通ルール・マナーについて伺います。

自転車乗車中の交通ルール・マナーが守られていると思いますか。

【選択は 1 つ】

「あまり守られていない（2割程度の人しか守っていない）」が 34.4%、「守っている人とそうでない人は半々程度である」が 29.3%、「時々守られていない（2割程度の人が守っていない）」が 25.9%、「守られている」が 7.5%、「わからない」が 2.9%であり、「守っている人とそうでない人は半々程度である」、「あまり守られていない（2割程度の人しか守っていない）」で約 6 割の方が未だ交通ルール・マナーが守られていないと感じているため、今後も啓発を行う必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	守られている	36	7.5%
2	時々守られていない（2割程度の人が守っていない）	125	25.9%
3	守っている人とそうでない人は半々程度である	141	29.3%
4	あまり守られていない（2割程度の人しか守っていない）	166	34.4%
5	わからない	14	2.9%
	計（回答総数）	482	100.0%



《順守できていないルール・マナーについて》

問 26. 問 25 で「2 時々守られていない（2 割程度の人が守っていない）」「3 守っている人とそうでない人は半々程度である」「4 あまり守られていない（2 割程度の人が守っていない）」と回答された方に伺います。
それは具体的にどのような交通ルール・マナーのことですか。 【複数回答可：いくつでも】

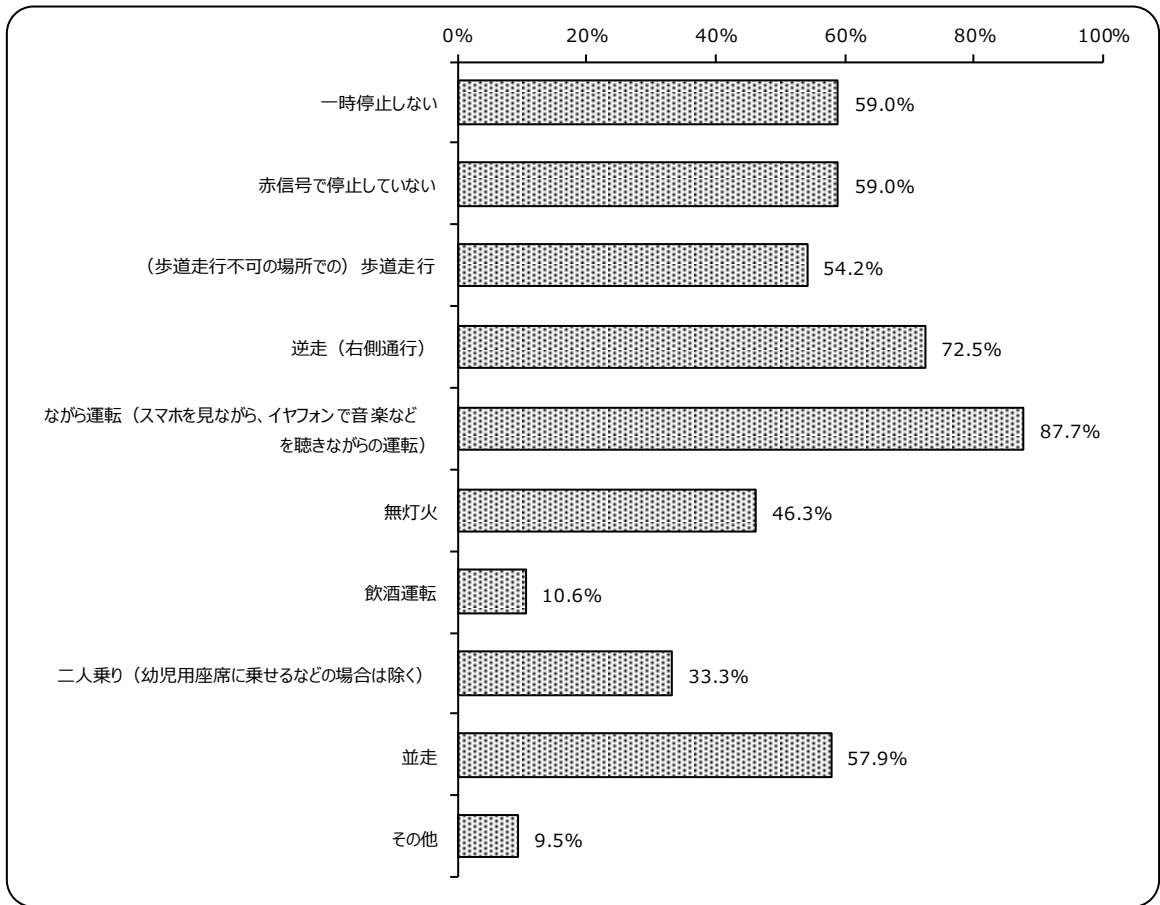
「ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽などを聴きながらの運転）」の 87.7%が最も割合が高く、順に「逆走（右側通行）」72.5%、「一時停止しない」59.0%、「赤信号で停止していない」59.0%、「並走」57.9%、「（歩道走行不可の場所での）歩道走行」54.2%、「無灯火」46.3%、「二人乗り（幼児用座席に乗せるなどの場合は除く）」33.3%、「飲酒運転」10.6%と、今後も交通ルール・マナーの順守のための周知・啓発を行う必要がある。

	選択項目(N=432)	回答数	構成比
1	一時停止しない	255	59.0%
2	赤信号で停止していない	255	59.0%
3	（歩道走行不可の場所での）歩道走行	234	54.2%
4	逆走（右側通行）	313	72.5%
5	ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽などを聴きながらの運転）	379	87.7%
6	無灯火	200	46.3%
7	飲酒運転	46	10.6%
8	二人乗り（幼児用座席に乗せるなどの場合は除く）	144	33.3%
9	並走	250	57.9%
10	その他	41	9.5%
	計（回答総数）	2,117	490.0%

[10 その他]

【主な回答】

- 通学路を小学生などの小さい子どもが歩いている時に、自動車などがスピードを出して危ないと感じることが多々ある。
- 自動車専用高架を自転車で走行すること
- 青色の自転車レーンは逆走してもいいと勘違いしている人が多く、非常に危ない。
- 横断歩道以外の場所で道路を横断
- 雨の日の傘はもちろん、日傘が邪魔で目に入りそうになり事故を起こしそうになった。
- 自転車レーンがあるのに、自転車で歩道を走っている。
- フルアシストの電動自転車で高速で走行する。
- 信号待ちをする際に、右左折する車に巻き込まれそうほど道路からはみ出した位置で一時停止している。
- 進路変更の時に後ろを確認しない。
- 逆走、並走、急な進路変更など、高校生の通学時のマナーが悪い。
- 歩行者に対してベルを鳴らす。



「安全教育や啓発事業の必要性について」

問 27. 自転車のルール・マナーを順守してもらうためには、どのような安全教育や啓発が必要だと考えますか。

【複数回答可：いくつでも】

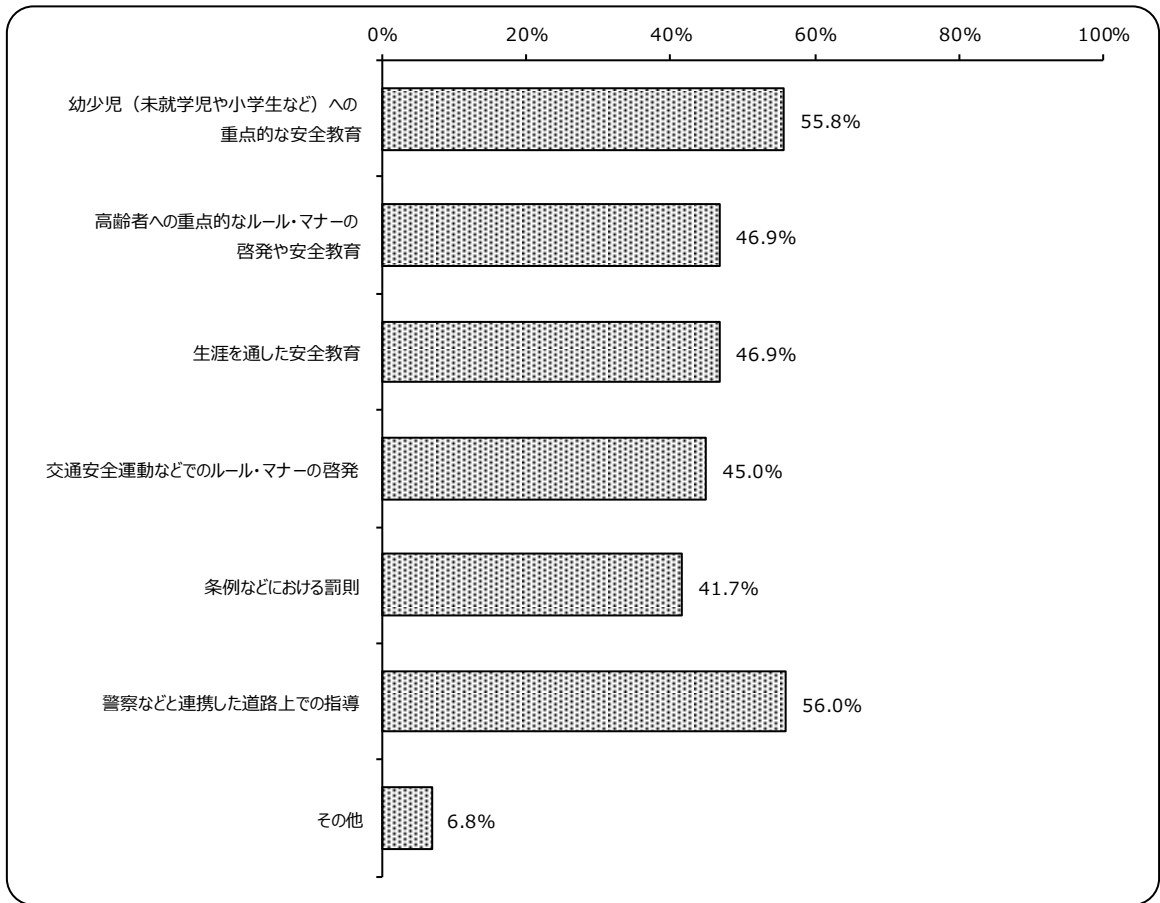
「警察などと連携した道路上での指導」が 56.0%、「幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育」が 55.8%、「高齢者への重点的なルール・マナーの啓発や安全教育」が 46.9%、「生涯を通じた安全教育」が 46.9%、「交通安全運動などでのルール・マナーの啓発」が 45.0%、「条例などにおける罰則」が 41.7%であった。「警察などと連携した道路上での指導」、「幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育」が必要と考えている方が多くいることから、今後も警察等と連携した指導・啓発を行っていく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	幼少児（未就学児や小学生など）への重点的な安全教育	269	55.8%
2	高齢者への重点的なルール・マナーの啓発や安全教育	226	46.9%
3	生涯を通じた安全教育	226	46.9%
4	交通安全運動などでのルール・マナーの啓発	217	45.0%
5	条例などにおける罰則	201	41.7%
6	警察などと連携した道路上での指導	270	56.0%
7	その他	33	6.8%
	計（回答総数）	1,442	299.2%

[7 その他]

【主な回答】

- 違反者への罰則強化
- 自転車レーンの充実
- サイクリングなど楽しみながら乗車マナーを身につけてもらう。
- 中・高生の免許を持たない子どもに、車側から見た自転車運転の危険さを知ってもらいたい。
- 高校生含む若い世代への安全教育
- 中・高生のいわゆる「ながら運転」が多いため、学校での安全教育が必要
- 過去に違反歴がなければ、自転車保険が割引になるなどのインセンティブ
- 表彰制度・コンテスト
- 自転車通学を許可している学校での指導、教育
- 自転車講習の義務化
- 歩行者・自転車・自動車用道路の完全な分離



(3) 「通行環境」について

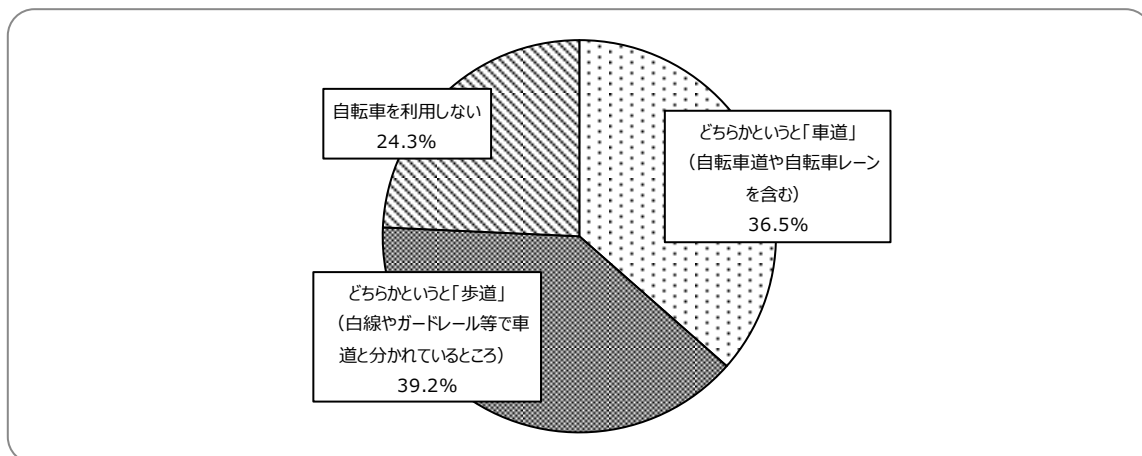
≪自転車の通行位置≫

問 28. あなたは、自転車で主にどこを通行していますか。

【選択は 1 つ】

どちらかという「車道」を通行する方の割合は 36.5%(昨年度 33.5%)、どちらかという「歩道」を通行する方の割合は 39.2%(昨年度 43.2%)となっている。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	どちらかという「車道」(自転車道や自転車レーンを含む)	176	36.5%
2	どちらかという「歩道」(白線やガードレール等で車道と分かれているところ)	189	39.2%
3	自転車を利用しない	117	24.3%
	計(回答総数)	482	100.0%



《自転車通行におけるルール・マナー》

問 29. 問 28 で「1 どちらかというと「車道」」、「2 どちらかという「歩道」と回答された方に伺います。

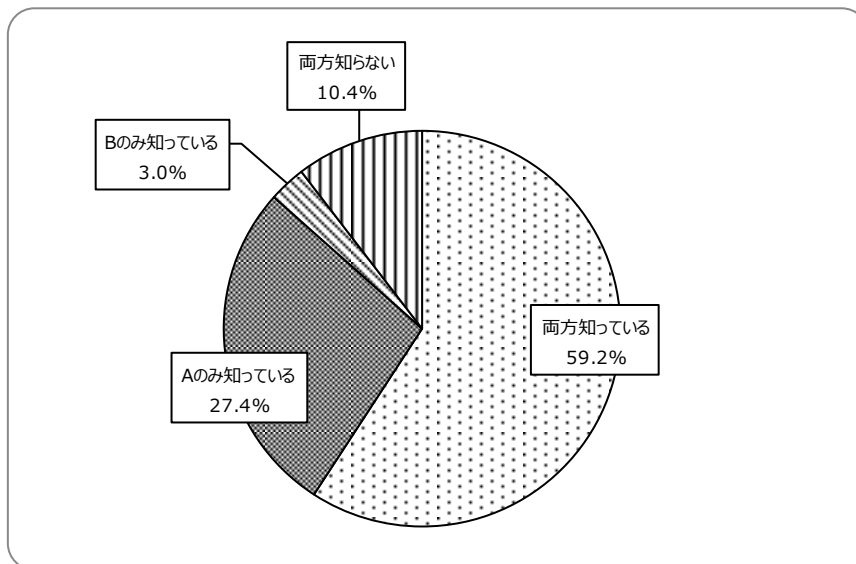
自転車に乗るときの次の 2 つのルールをご存知ですか。

A. 自転車は車道の左側を通行（左側通行）する。

B. 自転車は原則車道通行だが、「自転車歩道通行可」の標識のある歩道を通行する際は、車道寄りを徐行しなければならない。また、歩行者優先のため、その通行を妨げることになる場合は一旦停止をしなければならない。 【選択は 1 つ】

「両方知っている」(59.2%)、「A のみ知っている」(27.4%)と「B のみ知っている」(3.0%)を合わせると 89.6%(昨年度 90.1%)の方が自転車は原則車道通行であることを知っている。一方、「両方知らない」方は 10.4%(昨年度 9.9%)であり、引き続き周知・啓発を行っていく。

	選択項目(N=365)	回答数	構成比
1	両方知っている	216	59.2%
2	Aのみ知っている	100	27.4%
3	Bのみ知っている	11	3.0%
4	両方知らない	38	10.4%
	計 (回答総数)	365	100.0%



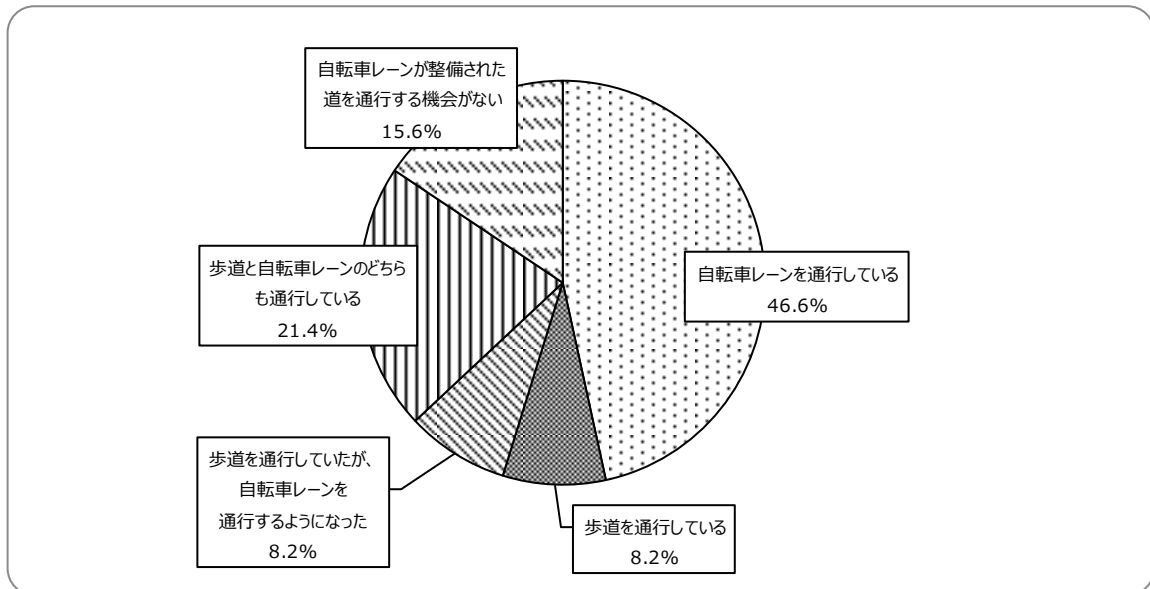
《自転車レーンの通行頻度》

問 30. 問 28 で「1 どちらかというと「車道」」「2 どちらかという「歩道」と回答された方に伺います。

本市では車道に青色サインを施した自転車レーンの整備を推進しています。あなたは、整備された自転車レーンを通行するようになりましたか。 【選択は 1 つ】

「自転車レーンを通行している」の割合は 46.6%、「歩道を通行していたが、自転車レーンを通行するようになった」の割合は 8.2%であり、合わせると 54.8%(昨年度 60.1%)の方が自転車レーンを通行している。一方、自転車レーン整備後も「歩道と自転車レーンのどちらも通行している」の割合は 21.4%、「歩道を通行している」の割合は 8.2%であり、合わせると 29.6%(昨年度 38.7%)の方が自転車レーン整備後も歩道を通行している。

	選択項目(N=365)	回答数	構成比
1	自転車レーンを通行している	170	46.6%
2	歩道を通行している	30	8.2%
3	歩道を通行していたが、自転車レーンを通行するようになった	30	8.2%
4	歩道と自転車レーンのどちらも通行している	78	21.4%
5	自転車レーンが整備された道を通行する機会がない	57	15.6%
	計 (回答総数)	365	100.0%



《生活道路における自転車通行環境整備について》

問 31. 市内の生活道路では、自転車の逆走や夜間の無灯火などが多いことから、左側通行などの走行マナーの向上を図ることで事故防止につながると考えております。

あなたは、生活道路において自転車の左側通行を促進する路面標示により、自転車通行環境を整備することについてどうお考えですか。 【選択は 1 つ】

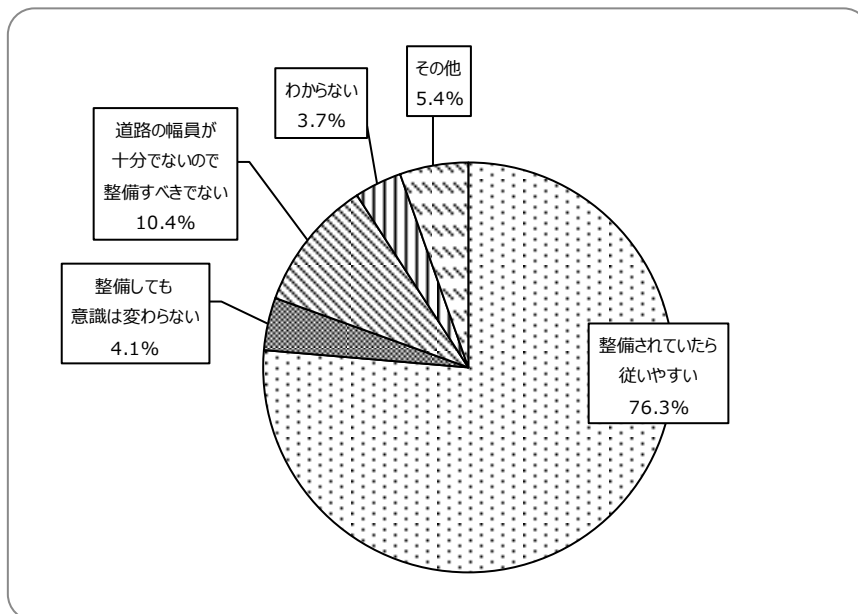
「整備されていたら従いやすい」と考えている方 76.3%に対して、「整備しても意識は変わらない」と「道路の幅員が十分でないので整備すべきでない」と考えている方は合わせて 14.5%であり、生活道路における自転車通行環境整備について肯定的な方が多い。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	整備されていたら従いやすい	368	76.3%
2	整備しても意識は変わらない	20	4.1%
3	道路の幅員が十分でないので整備すべきでない	50	10.4%
4	わからない	18	3.7%
5	その他	26	5.4%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 整備されても啓発されなければ気づかないと思う。
- 整備は必要と思いますが道幅が狭い場所も多いので乗る人の意識を変えることが重要かと思う。
- 危険なのでやめるべき
- 車と自転車が同じ道を走ることに納得していない。



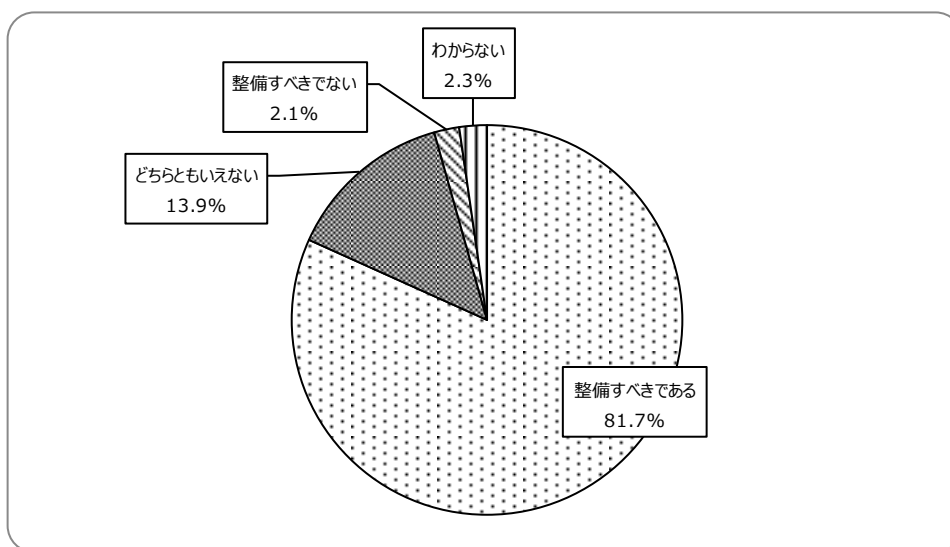
「自転車通行環境整備の推進について」

問 32. あなたは、今後も自転車道や自転車レーンなどの自転車通行環境の整備をすることについてどうお考えですか。

【選択は 1 つ】

「推進すべきである」と考えている方が昨年度の 78.0%に対して、今年度は 81.7%、「推進すべきでない」と考えている方は昨年度の 3.5%に対して、今年度は 2.1%であり、ともにほぼ横ばいであるが、「推進すべきである」は増加、「推進すべきでない」は減少している。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	整備すべきである	394	81.7%
2	どちらともいえない	67	13.9%
3	整備すべきでない	10	2.1%
4	わからない	11	2.3%
	計 (回答総数)	482	100.0%



(4)「駐輪環境」について

◀ 駅前の放置自転車台数について ▶

問 33. あなたが普段よく利用する（目にする）駅前の歩道及び車道について、放置自転車が何台あるイメージをお持ちですか。

選択肢 4 を選択した場合は、具体的な場所をお書きください。

【選択は 1 つ】

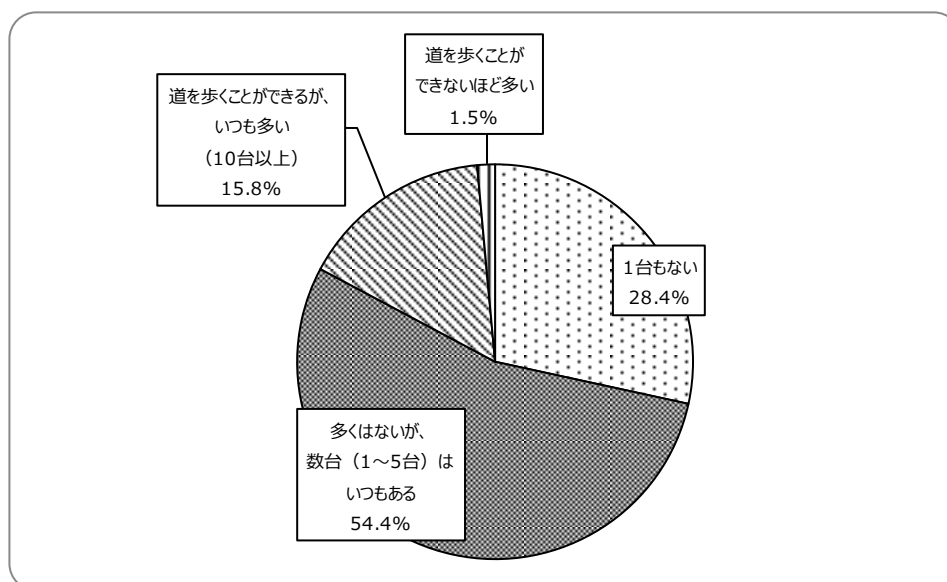
「1 台もない」が 28.4%、「多くはないが、数台（1～5 台）はいつもある」が 54.4%であり、約 8 割(82.8%)の方が駅前の歩道及び車道について放置自転車が少ないイメージを持っていることが分かる。しかしながら、「道を歩くことができるが、いつも多い（10 台以上）」が 15.8%、「道を歩くことができないほど多い」も 1.5%となっており、未だ常態的に自転車が放置されている場所があることから、今後もそのような場所を中心に対策を行っていく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	1台もない	137	28.4%
2	多くはないが、数台（1～5台）はいつもある	262	54.4%
3	道を歩くことができるが、いつも多い（10台以上）	76	15.8%
4	道を歩くことができないほど多い	7	1.5%
	計（回答総数）	482	100.0%

[4 具体的な場所]

【回答一覧】

- 堺東駅
- 中百舌鳥駅
- 鳳駅
- 泉ヶ丘駅



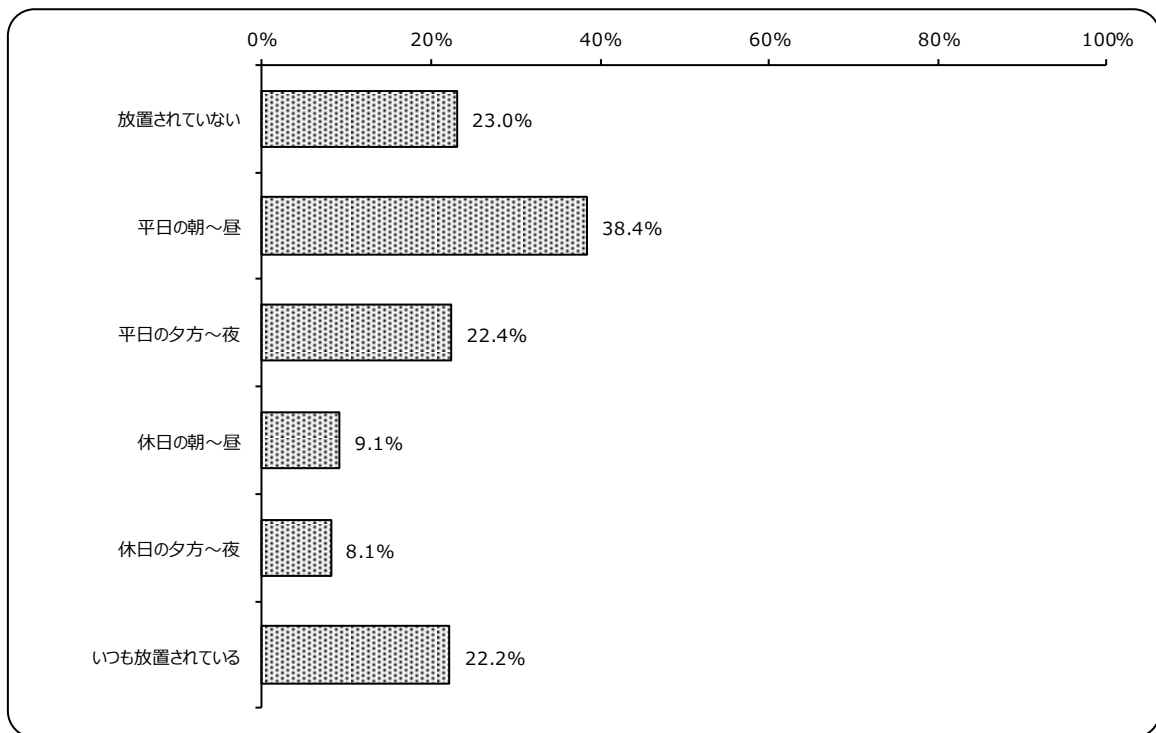
《駅前での放置自転車状況時間帯について》

問 34. 堺市内の各駅前の歩道及び車道について、特に放置自転車が多い時間帯はいつだと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

「平日の朝～昼」が 38.4%、「平日の夕方～夜」が 22.4%、「休日の朝～昼」が 9.1%、「休日の夕方～夜」が 8.1%、となっており、休日よりも平日の方が、また夜間よりも日中の方が、放置自転車が多いと認識していることが分かる。なお、「放置されていない」は 23.0%で、「いつも放置されている」は 22.2%となっており、概ね拮抗している。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	放置されていない	111	23.0%
2	平日の朝～昼	185	38.4%
3	平日の夕方～夜	108	22.4%
4	休日の朝～昼	44	9.1%
5	休日の夕方～夜	39	8.1%
6	いつも放置されている	107	22.2%
	計 (回答総数)	594	123.2%



≪ 駅前の駐輪場について ≫

問 35. 堺市内の各駅前について、駐輪場は充足していると感じますか。

選択肢 2 を選択した場合は、具体的な駅名などをお書きください。

【選択は 1 つ】

「充足している」が 85.9%となっており、多くの方が各駅前の駐輪場は充足していると認識していることが分かる。一方で「充足していない」が 14.1%あり、最も回答が多かったのが中百舌鳥（なかもず）駅で、次いで堺東駅、堺駅となっていた。

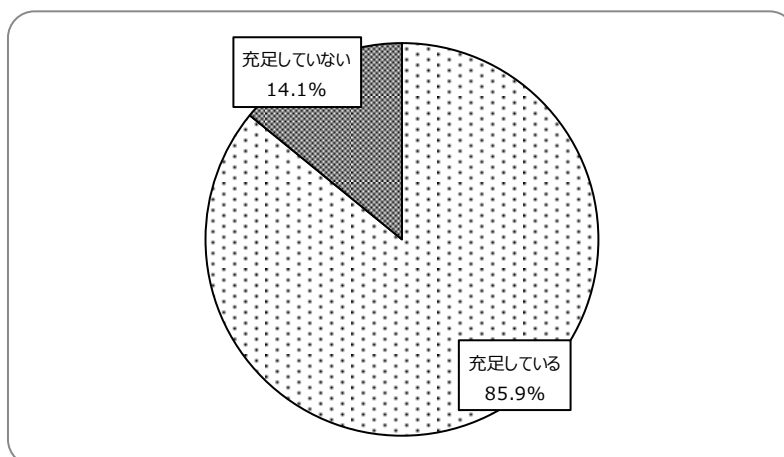
中百舌鳥駅は市内鉄道駅の中で最も自転車が集中している駅であり、今後も駅周辺の開発により駐輪場利用者が増加する可能性があることから、駐輪場の利用状況を注視していく必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	充足している	414	85.9%
2	充足していない	68	14.1%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[2 具体的な駅名]

【回答一覧】（回答数が多かった順）

- 中百舌鳥（なかもず）駅
- 堺東駅
- 堺駅
- 泉ヶ丘駅
- 三国ヶ丘駅
- 北花田駅
- 新金岡駅
- 鳳駅
- 百舌鳥駅
- 初芝駅
- 北野田駅
- 深井駅
- 榎・美木多駅
- 阪堺線の駅



≪駐輪場のサービスについて≫

問 36. 堺市の駐輪場に希望するサービスはありますか。

【複数選択可：いくつでも】

「短時間（1～2 時間程度）無料駐輪場の設置」が 65.6%と最も多く、駅周辺の商業施設や店舗への買い物など、駐輪時間が比較的短時間で済む方向への駐輪場が求められていることが分かる。次いで「利用料金などのキャッシュレス化」が 47.7%となっているほか、「定期申請のオンライン化」が 28.6%、「駐輪場の無人化（機械化）」も 25.3%であることから、支払い方法の多様化だけでなく、非接触型サービスのニーズもあることが伺える。

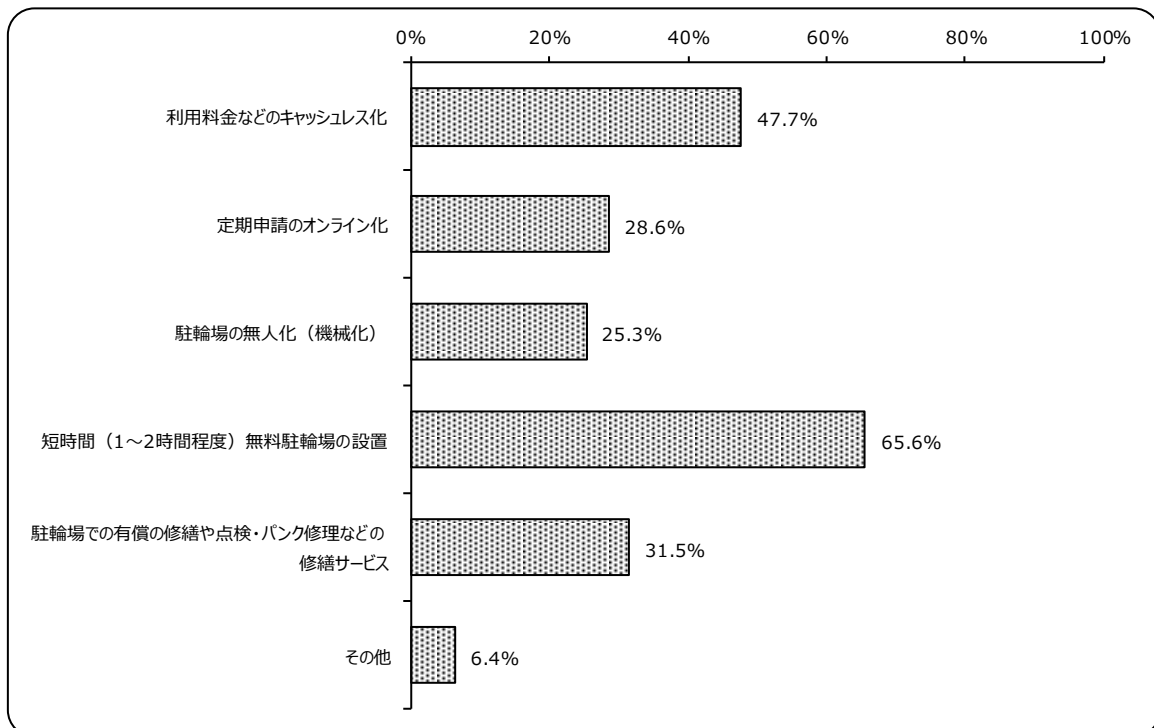
また「駐輪場での有償の修繕や点検・パンク修理などの修繕サービス」も 31.5%となっており、駐輪場における付加価値も求められていることから、多様な利用形態に対応できる駐輪場をめざしていく必要がある。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	利用料金などのキャッシュレス化	230	47.7%
2	定期申請のオンライン化	138	28.6%
3	駐輪場の無人化（機械化）	122	25.3%
4	短時間（1～2時間程度）無料駐輪場の設置	316	65.6%
5	駐輪場での有償の修繕や点検・パンク修理などの修繕サービス	152	31.5%
6	その他	31	6.4%
	計（回答総数）	989	205.2%

[6 その他]

【主な回答】

- 駐輪場の無料化
- 屋根付きや屋内など、雨天でも使える駐輪場の設置
- 自転車整備士による巡回やパンク修理



≪本市の自転車施策に対する満足度及び自由意見など≫

問 37. 本市での自転車の利用環境、安全利用、自転車の通行環境及び駐輪環境などについて、以下の項目に対する満足度をお答えください。また、ご意見などございましたらご自由にお書きください。

【各項目】

① 利用促進

⇒コミュニティサイクルなどの貸自転車が使いやすい環境やマイ自転車（※個人などで所有している自転車）においても通勤、通学や観光利用など手軽に楽しく自転車を利用できる環境ですか。

② 安全利用

⇒信号を守り、左側通行するなど自転車の交通ルール・マナーが順守されている状況ですか。

③ 通行環境

⇒あなたがお住まいの地域の道路は、自転車で走りやすい状況ですか。

④ 駐輪環境

⇒通勤通学時などで利用する駅前駐輪場は停めたいときに止められるなど使いやすい状況ですか。

【選択肢は各項目 1 つ：自由記述】

「①利用促進」についての満足度は、「おおむね満足している」が 28.8%、「満足している」が 8.7%と、約 4 割 (37.5%)の方が満足していることが分かる。「あまり満足していない」が 11.8%、「不満がある」が 5.4%と、約 2 割 (17.2%)の方が、現状の利用促進では不十分であることが分かる。

「②安全利用」についての満足度は、「おおむね満足している」が 21.8%、「満足している」が 4.8%と、約 3 割 (25.6%)の方が満足していることが分かる。「あまり満足していない」が 22.2%、「不満がある」が 19.7%と、約 4 割 (41.9%)の方が、自転車の安全利用について満足しておらず、さらなる自転車の交通ルール・マナーの周知・啓発が必要である。

「③通行環境」についての満足度は、「おおむね満足している」が 27.0%、「満足している」が 4.4%と、約 3 割 (31.4%)の方が満足していることが分かる。「不満がある」が 22.6%、「あまり満足していない」が 18.9%と、約 4 割 (41.5%)の方が、通行環境に満足していない。

「④駐輪環境」についての満足度は、「おおむね満足している」が 29.7%、「満足している」が 13.5%であり、約 4 割 (43.2%)の方が満足していることが分かる。駐輪場のキャッシュレス化など、多様な利用形態に対応できる駐輪場を目指し、より一層利用者サービスの向上に努める。

選択項目(N=482)	満足している	おおむね満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	不満がある	わからない	計(回答総数)
① 利用促進	42 8.7%	139 28.8%	152 31.5%	57 11.8%	26 5.4%	66 13.7%	482 100.0%
② 安全利用	23 4.8%	105 21.8%	122 25.3%	107 22.2%	95 19.7%	30 6.2%	482 100.0%
③ 通行環境	21 4.4%	130 27.0%	101 21.0%	91 18.9%	109 22.6%	30 6.2%	482 100.0%
④ 駐輪環境	65 13.5%	143 29.7%	93 19.3%	59 12.2%	45 9.3%	77 16.0%	482 100.0%

【「①利用促進」についての主な回答一覧】

- コミュニティサイクルなど貸自転車のことを今回のアンケートで初めて知ったため、そういったものはもっとPRしていくべき。
- レンタサイクルの推進
- コミュニティサイクルは貸出、返却場所が限られており使いにくい。
- レンタサイクルは市内の全てのコンビニと連携を取るべき。
- シェアサイクルの料金を下げて、利用者の増加を促進してはどうか。
- コミュニティサイクルは子育て世代には使いにくく、利用できる人が限られているため多様性に欠ける。子連れや子どもにとって使いやすい自転車を置いてほしい。
- 自転車タクシーが普及すればよいと思う。

【「②安全利用」についての主な回答一覧】

- 通学時間に複数の自転車がかなりのスピードで歩道を走るため、目線の低い子ども達が危険だと感じている。
- 信号無視や車道逆走、ながら運転などの悪質な運転に対して、警察署等と連携しながら取締を強化してほしい。
- 自転車レーンがあっても、道路自体の幅が狭いと恐くて走行できない。
- 高校生同士が自転車レーンを並走していると危ないと感じる。高校生にマナーを教えてほしい。
- 学生や高齢者など年代問わず、自転車のマナーが悪いので、ベビーカーを押しているときに怖いと感じたことが何度もある。

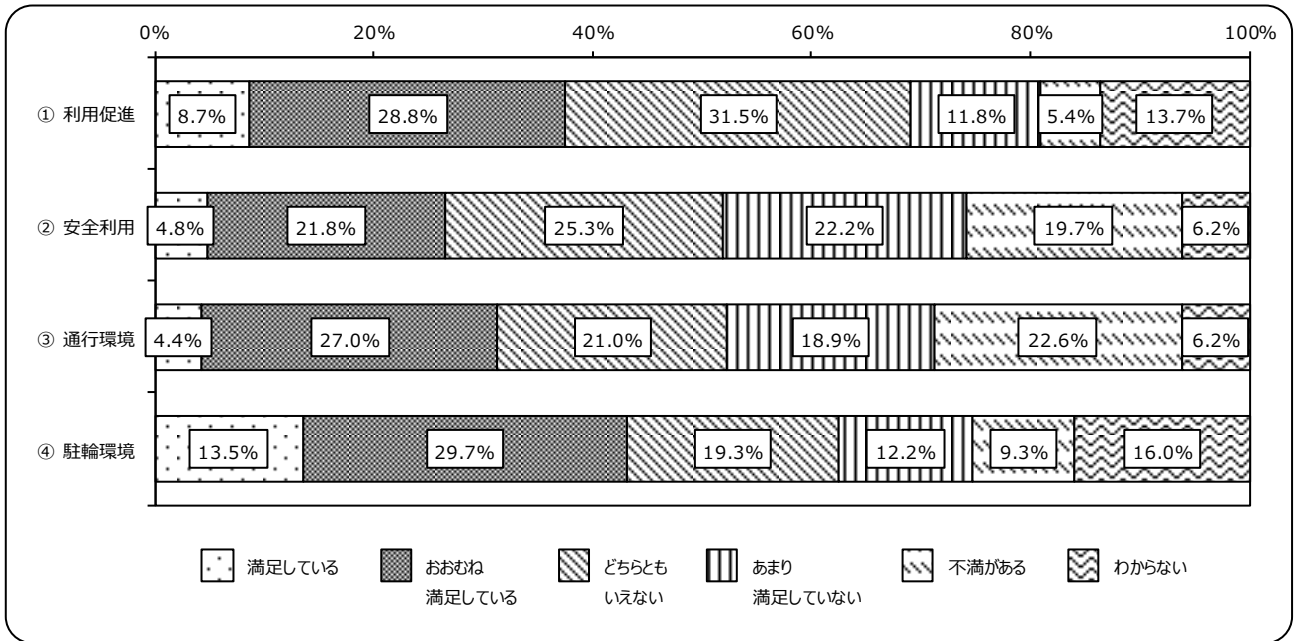
【「③通行環境」についての主な回答一覧】

- 自転車レーンがあっても利用されているところをみたことがない。歩道を走る自転車が多くの幼児連れにはかなりの危険を感じることが多々ある。条例で罰則を設けるなどしてルールを守る意識を啓発してほしい。
- せっかく自転車レーンが設置されていても、道幅が狭く道のデコボコが多いと子どもを乗せている時は転倒する不安があるため利用しない。自転車レーンの設置と並行して、道のデコボコを改善してほしい。
- 車道に自転車レーンを作られているのは、道幅が広ければよいが、狭い車道では怖いので、歩道を走ってしまいます。
- 自転車レーンの整備により、自転車で走りやすくなったとは感じるが、自転車レーンが路上駐車や停車で塞がれていることが多く、結局車道にはみ出すか歩道に乗り上げて走行することになる。これらの自動車を厳しく取り締まってほしい。
- 自転車レーンに街路樹がかかり車道に大きくはみ出さないと通行できない所がある。
- 自転車が通りやすいように道路が整備されてきているが、まだ通りにくい道もあるので、これからも整備を続けてほしい。
- 自転車レーンの全市ネットワーク構築など、大胆な自転車行政を期待している。
- 自転車レーンの表示区間を増加させる行政努力は評価できる。
- 自転車でこどもの保育園の送り迎えをしているが、みんな自転車レーンを走行するなどルールを守れていると思う。

【「④駐輪環境」についての主な回答一覧】

- 無料駐輪場（短時間無料を含む）を増やしてほしい。
- 市がお金をかけなくても、REIT（不動産投資信託）などの方法を使って駐輪場を増やせるのではないかな。
- 他の駐輪場と相互利用が出来れば嬉しい。
- 堺東駅前などにある銀行の店先に、利用者のみでもよいので一時的に駐輪できるようにしてほしい。
- 立体駐輪場を利用すると、幅が狭くて自転車が入らないことがある。停めている間に傷だらけになってしまうので、どんなデザインでも利用できるような、立体駐輪場を作る時は十分な幅をとってほしい。
- 店舗利用の自転車と放置自転車は区別してほしい。
- 駐輪場をもう少しコンパクトにし、使い勝手を良くしてほしい。
- 堺東駅は管理員がきちんと見ているので放置自転車が少ない。
- 大阪市と比べて放置自転車がとても少ないため、通りやすい歩道が多くあり嬉しい。

- 雨の日に駐輪場を利用する際、濡れた雨合羽を保管しておけるように、一時保管場所を設置してほしい。
- 駅前の駐輪場は高齢者が働く場として必要であるため、無人化しないほうが良い。
- 駐輪場を利用する人が多い割にスペースが狭いので、自転車をとめる時や出る時は人に配慮しないとけない。
- 駅前の駐輪場には朝早くから常勤の管理員がいるので、安心して利用できる。
- 駅中や駅前のお店や病院に用事があるときに少し停めておきたいだけなのに、放置禁止や駐輪禁止などの張り紙があると停めにくくて利用を控えたり、やむを得ず停めたときも撤去されないかとか冷や冷やする。店舗など利用の証明ができれば1～2時間無料で止められる場所を、できれば一駅につき複数箇所設置してほしい。
- 中百舌鳥駅の駐輪場で通学用の定期利用の申し込みをしたが、6ヶ月待ちで利用ができなかった。
- 放置自転車が邪魔で通行の妨げになっている。高齢者の方がマナーが悪い。
- 駐輪場の定期利用の申し込みをするために直接行かないといけないのは不便だと思う。ホームページで空き状況がわかるようになっているが、情報がタイムリーに反映されていない。
- 回収した自転車の保管場所について、自転車を引き取りに行こうと思っても、交通が不便なので保管場所まで行けない。また、回収されたことがわからない。
- 駅前の駐輪環境は、他市に比べ整っており有難い。
- 駐輪場の職員の方が親切で、安心出来る。
- 駐輪場の定期利用をしているが、申し込み等手続きをする場所が遠いため面倒に感じる。また、定期利用のシールを自転車に貼り付ける現行のやり方を、スマホを使用するなどしてなんとか刷新できないか。
- 駐輪場を不正利用している自転車をみかけるので、不公平が出ないように取り締まってほしい。
- 駐輪場にメンテナンスやトラブルに対応してくれる施設を置いてほしい。
- 駐輪場の管理員の人数が多いと思う。配置人数を減らして、駐輪場の利用料を下げてほしい。
- 数十年前は駅周辺などで放置自転車を目にする機会も多かったが、今はかなり整備されていると思う。
- 泉ヶ丘駅の有料駐輪場での盗難対策を強化してほしい。
- 泉ヶ丘駅北側の一時利用駐輪場を無人化してほしい。
- 泉ヶ丘駅で学校が休みの日は歩道や道をふさぐように自転車でいっぱいになっている。市が撤去してくれたらしばらく停める人が減るので、撤去する回数を増やせば違法駐輪が減るように思う。
- 泉ヶ丘駅前の駐輪場を原付バイクで利用するが、一日利用料金の設定しかないので短時間利用だと損した気分になる。
- 泉ヶ丘駅北側に機械式の駐輪場を設置してほしい。短時間利用したい場合、反対側まで回るのが不便。
- 近隣の駅付近の有料駐輪場は需要と供給のバランスが釣り合っていないのか、がら空きの状態。
- 駐輪場の定期利用を希望して順番待ちをしている人が何十人といるので、近隣の他施設と連携して駐輪場を拡充してほしい。
- 駐輪場の1台あたりのスペースが狭く、駐輪しづらい。
- 駐輪場が空き状況をネットで確認できれば便利。
- 百舌鳥駅の駐輪場が少ないので、一時利用が不便。
- 中百舌鳥駅の地下鉄側の駐輪場を利用すると、帰宅時に踏切の閉まる時間が長くなり、たくさんの自転車が踏切前にあふれている。踏切が開くと同時に一斉に自転車が動くので、年配の歩行者には危険だと感じる。
- 駅周辺の家と家の隙間に、自転車が止められている。徹底した取り締まりをしてほしい。
- すべての駐輪場に屋根をつけてほしい。利用料金は安く設定してほしい。駐輪場の位置が駅から遠いと意味がないと思う。



3. 堺市博物館の今後のあり方について

◀堺市博物館への関心度▶

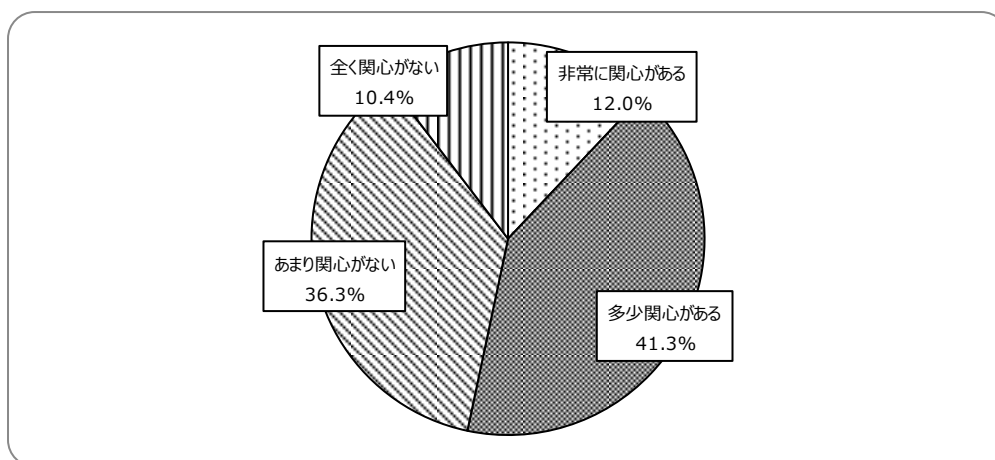
問 38. あなたは堺市博物館にどの程度関心がありますか。

【選択は1つ】

堺市博物館について、関心がある方が53.3%（項目1と2と回答した方の合計）、関心がない方が46.7%（項目3と4と回答した方の合計）となっており、関心がある方が少し多い結果となった。

今後、堺市博物館に関心のある方が増えるよう、展示内容や体験事業などの充実に取り組んでいく。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	非常に関心がある	58	12.0%
2	多少関心がある	199	41.3%
3	あまり関心がない	175	36.3%
4	全く関心がない	50	10.4%
	計(回答総数)	482	100.0%



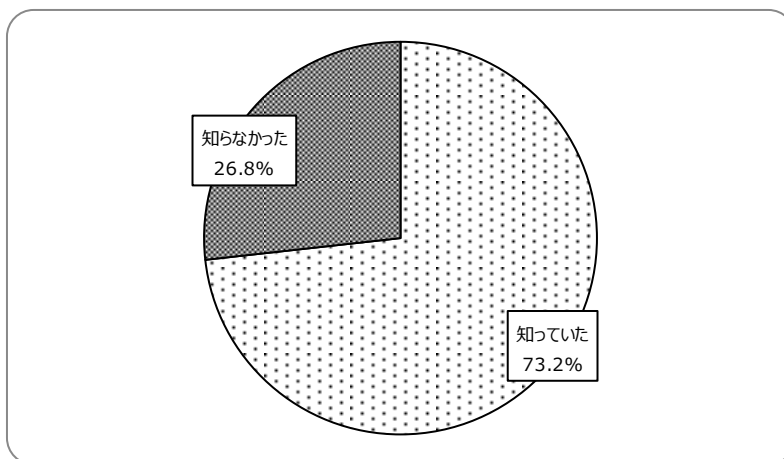
◀堺市博物館に対する認知度▶

問 39. あなたは堺市に博物館があることをご存知でしたか。

【選択は 1 つ】

「知っていた」と回答した方の割合が 73.2%と高かった。「知らなかった」と回答した方の割合が 26.8%で、堺市博物館の認知度は比較的高いことが伺える結果となった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	知っていた	353	73.2%
2	知らなかった	129	26.8%
	計 (回答総数)	482	100.0%



◀◀堺市博物館に関する情報の入手方法▶▶

問 40. 問 39 で「1 知っていた」と回答された方に伺います。

あなたは普段、堺市博物館に関する情報を何によって入手されていますか。

【選択は 1 つ】

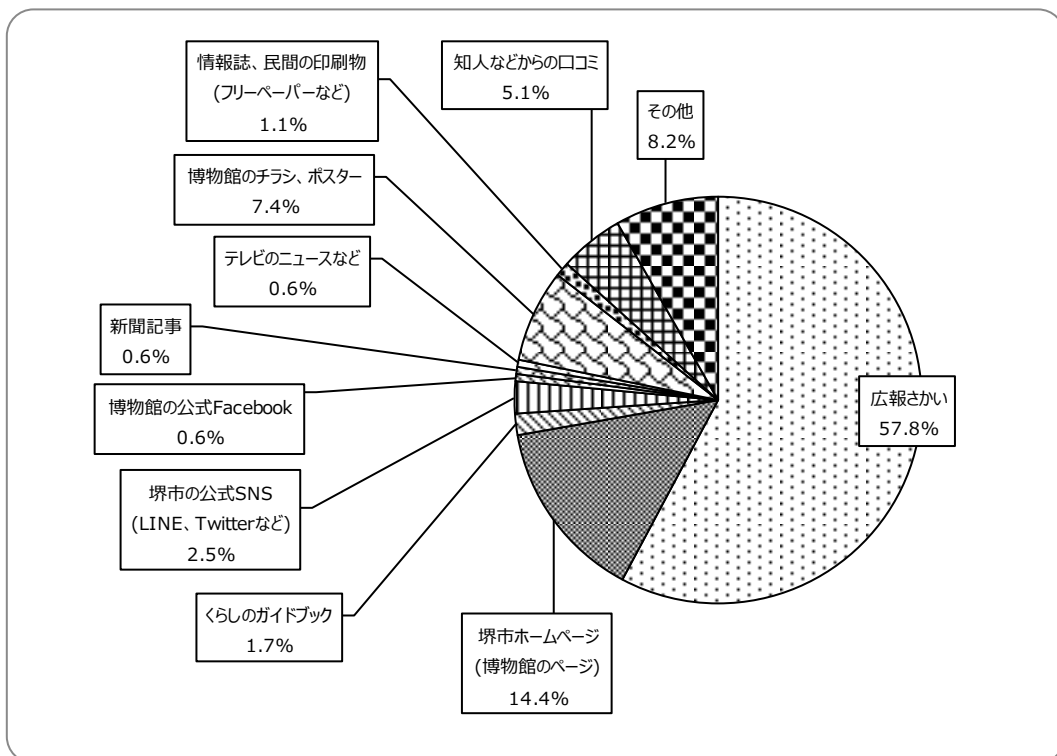
「広報さかい」が 57.8%で最も割合が高く、次いで「堺市ホームページ（博物館のページ）」が 14.4%であった。「堺市博物館の公式 Facebook」が 0.6%と最も低く、他の SNS の活用も含めてより効果的な情報発信の方法を検討していく。

	選択項目(N=353)	回答数	構成比
1	広報さかい	204	57.8%
2	堺市ホームページ(博物館のページ)	51	14.4%
3	くらしのガイドブック	6	1.7%
4	堺市の公式SNS(LINE、Twitterなど)	9	2.5%
5	博物館の公式Facebook	2	0.6%
6	新聞記事	2	0.6%
7	テレビのニュースなど	2	0.6%
8	博物館のチラシ、ポスター	26	7.4%
9	情報誌、民間の印刷物(フリーペーパーなど)	4	1.1%
10	知人などからの口コミ	18	5.1%
11	その他	29	8.2%
	計(回答総数)	353	100.0%

[11 その他]

【主な回答】

- 大仙公園に立っている看板
- 学校



◀堺市博物館へ行った回数▶

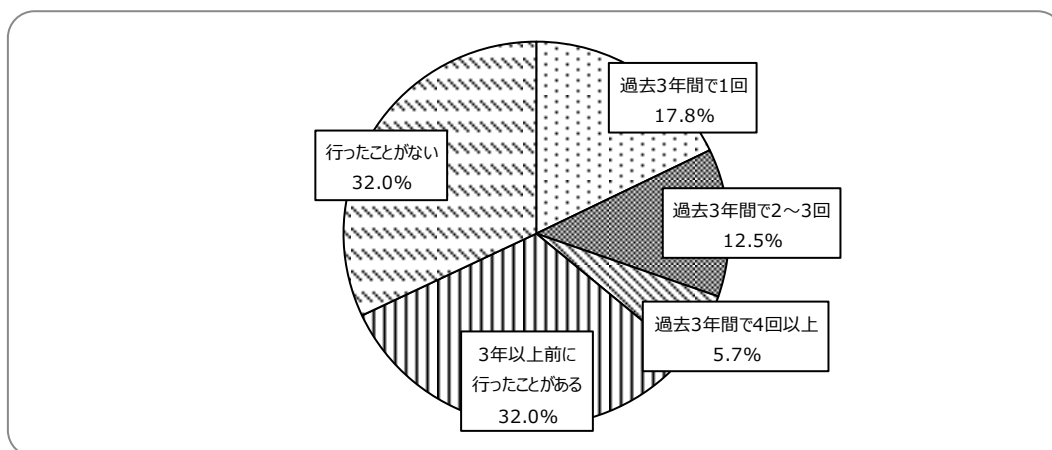
問 41. 問 39 で「1 知っていた」と回答された方に伺います。

あなたは今までに堺市博物館に行ったことがありますか。

【選択は 1 つ】

「3年以上前に行ったことがある」が 32.0%、「行ったことがない」が 32.0%と割合が高かった。次いで「過去 3 年間で 1 回」が 17.8%であった。今まで堺市博物館に行ったことがある方の割合は 68.0%（項目 1～4 と回答した方の合計）であった。

	選択項目(N=353)	回答数	構成比
1	過去3年間で1回	63	17.8%
2	過去3年間で2～3回	44	12.5%
3	過去3年間で4回以上	20	5.7%
4	3年以上前に行ったことがある	113	32.0%
5	行ったことがない	113	32.0%
	計 (回答総数)	353	100.0%



◀堺市博物館へ行った目的▶

問 42. 問 41 で今までに堺市博物館に行ったことがあると回答された方に伺います。

堺市博物館に行かれた目的は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

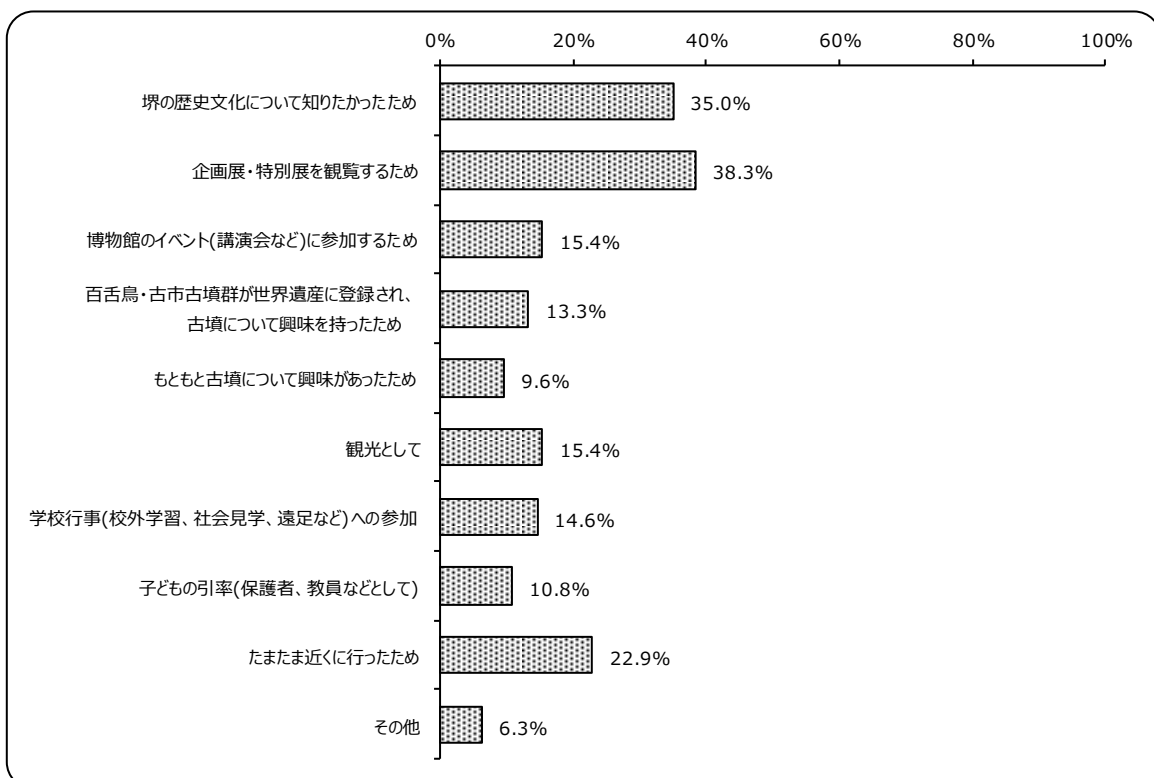
「企画展・特別展を観覧するため」が 38.3%、「堺の歴史文化について知りたかったため」が 35.0%と割合が高く、展示内容や堺の歴史文化に興味のある方が堺市博物館を訪れていることが読み取れる。また、古墳に興味があり堺市博物館を訪れた方が 22.9%（項目 4 と 5 と回答した方の合計）で、次いで「たまたま近くに行ったため」が 22.9%であり、大仙公園を訪れた際に堺市博物館に立ち寄った方もいると考えられる。

	選択項目(N=240)	回答数	構成比
1	堺の歴史文化について知りたかったため	84	35.0%
2	企画展・特別展を観覧するため	92	38.3%
3	博物館のイベント(講演会など)に参加するため	37	15.4%
4	百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録され、古墳について興味を持ったため	32	13.3%
5	もともと古墳について興味があったため	23	9.6%
6	観光として	37	15.4%
7	学校行事(校外学習、社会見学、遠足など)への参加	35	14.6%
8	子どもの引率(保護者、教員などとして)	26	10.8%
9	たまたま近くに行ったため	55	22.9%
10	その他	15	6.3%
	計(回答総数)	436	181.7%

[10 その他]

【主な回答】

- 友人が遊びに来た際に、堺市観光の一環として案内した。
- 無料のイベントがあったため
- 博物館へ行く事が好きで、学芸員の勉強をしていたため
- 売店の商品を購入するため



◀◀堺市博物館へ行ったことがない理由▶▶

問 43. 問 41 で「5 行ったことがない」と回答された方に伺います。

行ったことがない理由は何ですか。

【選択は 1 つ】

「行きたいと思っていたが、行く機会に恵まれなかったから」が 52.2%と最も割合が高い。堺市博物館に行ったことがない方のうち、半数以上の方が堺市博物館に興味や関心があるものの、きっかけがないため訪れていないと考えられる。また、次いで「観たいものがないから」が 26.5%、「自宅からの交通が不便だから」が 12.4%という結果となった。

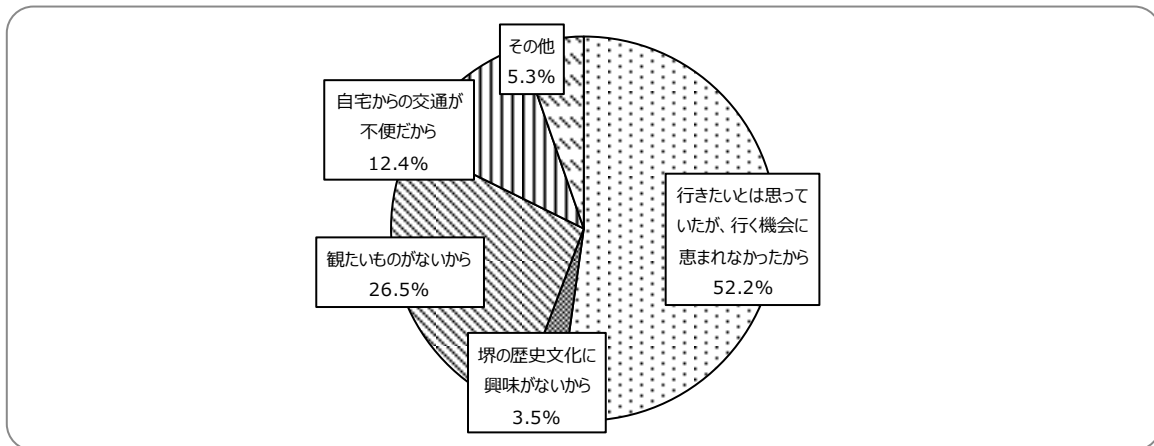
今後、堺市博物館に来館いただく方が増えるよう、展示内容等の充実に努めていく。

	選択項目(N=113)	回答数	構成比
1	行きたいとは思っていたが、行く機会に恵まれなかったから	59	52.2%
2	堺の歴史文化に興味がないから	4	3.5%
3	観たいものがないから	30	26.5%
4	自宅からの交通が不便だから	14	12.4%
5	その他	6	5.3%
	計 (回答総数)	113	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 多忙のため。時間にゆとりができれば行きたい。
- 歩行が困難だから
- 堺に引っ越してきて間もないから



◀堺市博物館の展示について▶

問 44. 問 39 で「1 知っていた」と回答された方に伺います。

堺市博物館の展示で特に興味のあるもの、充実させてほしいものはありますか。（新たに展示を希望するものなどがあれば、その他にご記入ください。）
【複数選択可：2 つまで】

「堺の通史全体の展示」が 51.6%、「古代（古墳など）に関する展示」が 49.9%と高い割合であった。また、これらの次に多い割合としては、「近世・近代(江戸時代以降)の堺の展示」22.9%、「中世（鎌倉、室町時代）の堺の展示」18.7%という結果となった。

	選択項目(N=353)	回答数	構成比
1	堺の通史全体の展示	182	51.6%
2	古代(古墳など)に関する展示	176	49.9%
3	中世(鎌倉、室町時代)の堺の展示	66	18.7%
4	近世・近代(江戸時代以降)の堺の展示	81	22.9%
5	堺の偉人の展示	15	4.2%
6	その他	36	10.2%
	計(回答総数)	556	157.5%

[5 堺の偉人の展示]

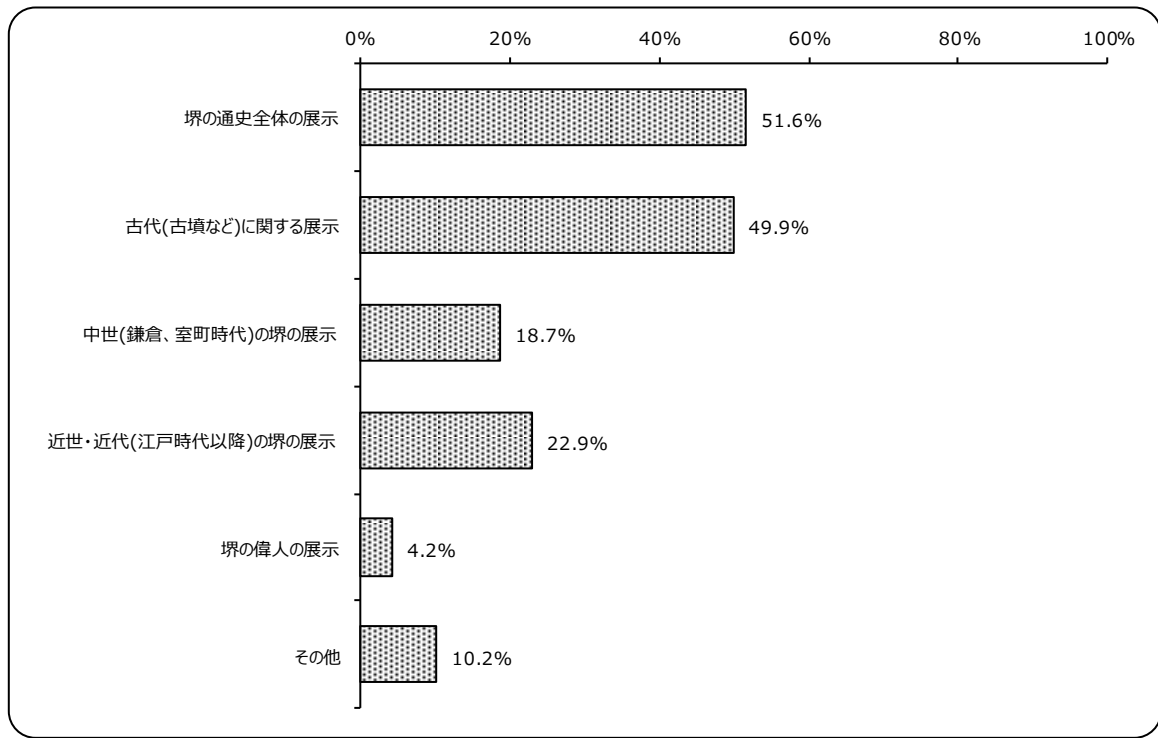
【回答一覧】

- 千利休
- 与謝野晶子
- 豊臣秀吉
- 行基（堺出身の僧侶）
- 河口慧海（堺出身の僧侶、チベット探検家）
- 今井宗久（堺の商人、茶人）
- 中江兆民（思想家、政治家）
- 阿佐井野宗瑞（堺の出版人、商人）
- 呂宋助左衛門（納屋助左衛門）（堺出身の貿易商人）
- 鳥井駒吉（堺出身の現アサヒビール株式会社の初代社長）
- オリンピック選手や起業した社長など、小学生に夢を与えられるような人
- 展示する偉人を時々変えてほしい

[6 その他]

【主な回答】

- 特産物の展示
- 子どもでも楽しめる展示
- 時代毎の地図の展示
- 地場産業の歴史などの展示



◀堺市博物館で、展示以外に期待する取組・役割▶

問 45. 資料の展示以外で堺市博物館の取組や果たす役割として期待するものは何ですか。

【複数選択可：2 つまで】

「堺の歴史・文化の研究や情報提供、情報発信」が 44.6%と最も割合が高く、堺の歴史・文化に関する情報発信について、より効果的な手法を検討する必要があると考える。

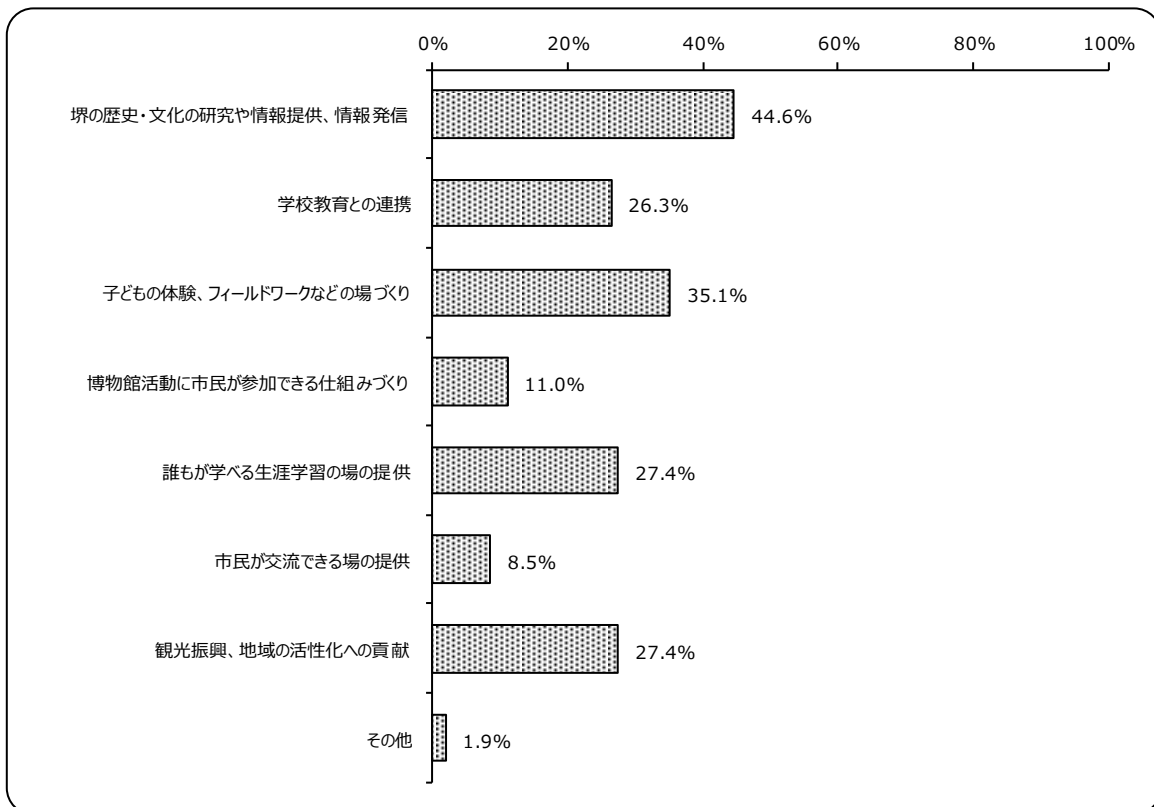
次いで、「子どもの体験、フィールドワークなどの場づくり」が 35.1%、「誰もが学べる生涯学習の場の提供」が 27.4%、「観光振興、地域の活性化への貢献」が 27.4%と割合が高い。子どもの体験学習や生涯学習の場を求める意見が多いことが伺える結果となった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	堺の歴史・文化の研究や情報提供、情報発信	215	44.6%
2	学校教育との連携	127	26.3%
3	子どもの体験、フィールドワークなどの場づくり	169	35.1%
4	博物館活動に市民が参加できる仕組みづくり	53	11.0%
5	誰もが学べる生涯学習の場の提供	132	27.4%
6	市民が交流できる場の提供	41	8.5%
7	観光振興、地域の活性化への貢献	132	27.4%
8	その他	9	1.9%
	計 (回答総数)	878	182.2%

[8 その他]

【主な回答】

- 学びだけではなく遊びの場としての利用
- 文化的な行事との連携



◀堺市博物館に期待する施設・環境▶

問 46. 堺市博物館の施設・環境に関して期待するものは何ですか。

【複数選択可：2 つまで】

「体験学習ができる空間」が 41.3%と最も割合が高い。次いで「公共交通機関での訪れやすさ」が 23.0%と高い割合であり、問 43 で堺市博物館へ行ったことがない方のうちその理由を「自宅からの交通が不便だから」と回答された方の割合が 12.4%であったことから、訪れやすい環境を整えるうえで、交通の便の良さを望む声があることが見て取れる。

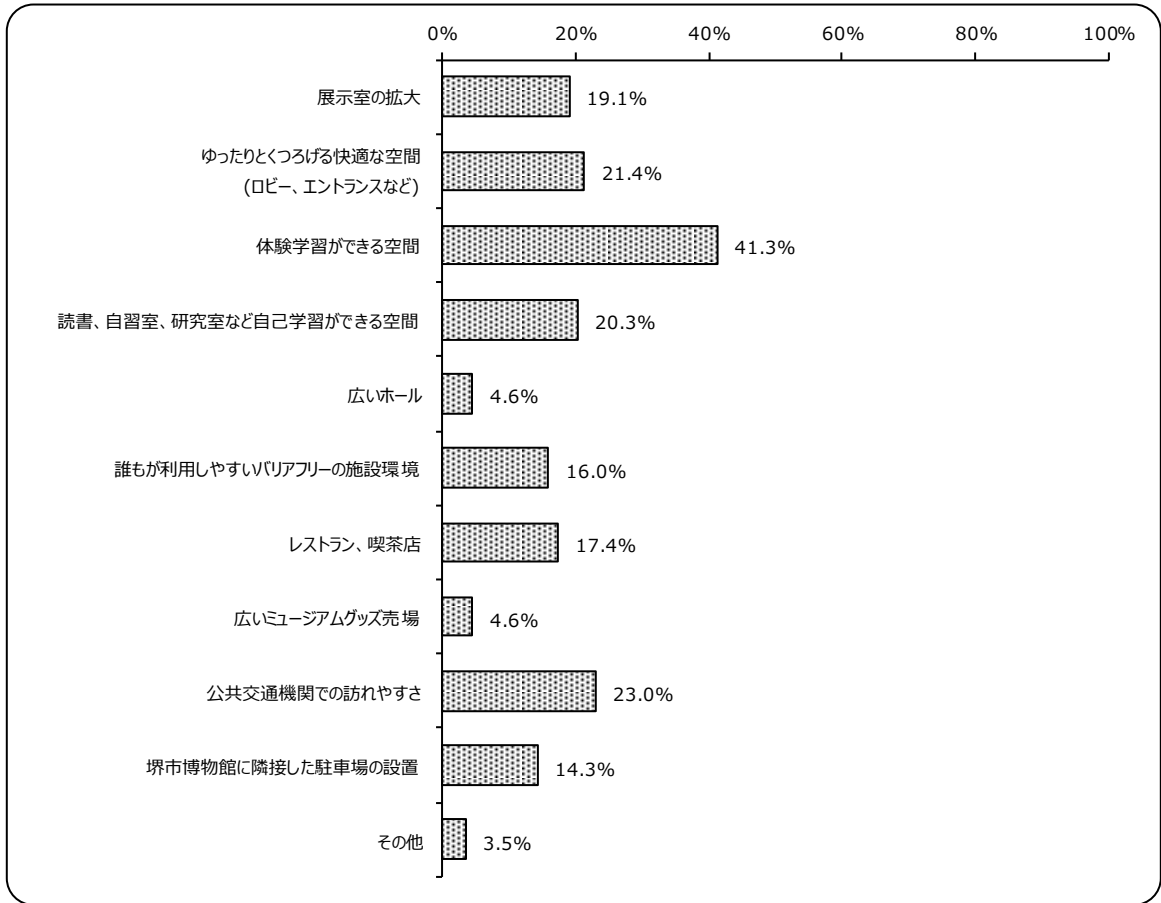
また、「ゆったりとくつろげる快適な空間（ロビー、エントランスなど）」が 21.4%、「読書、自習室、研究室など自己学習ができる空間」が 20.3%、「展示室の拡大」が 19.1%であり、展示室の拡大のほか、憩いの場や自己学習ができる場を望む声も多かった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	展示室の拡大	92	19.1%
2	ゆったりとくつろげる快適な空間(ロビー、エントランスなど)	103	21.4%
3	体験学習ができる空間	199	41.3%
4	読書、自習室、研究室など自己学習ができる空間	98	20.3%
5	広いホール	22	4.6%
6	誰もが利用しやすいバリアフリーの施設環境	77	16.0%
7	レストラン、喫茶店	84	17.4%
8	広いミュージアムグッズ売場	22	4.6%
9	公共交通機関での訪れやすさ	111	23.0%
10	堺市博物館に隣接した駐車場の設置	69	14.3%
11	その他	17	3.5%
	計（回答総数）	894	185.5%

[11 その他]

【主な回答】

- 無料の駐車場
- 堺市に美術館がないので、体験型の美術館をつくってほしい。
- 自然史系の博物館をつくってほしい。
- 遊び場



「堺市博物館に期待する活動・イベント」

問 47. 堺市博物館で行う活動・イベントなどに関して充実を期待するものは何ですか。 【複数選択可：2 つまで】

「体験型イベント」が 41.5%と最も割合が高く、問 45 の堺市博物館の取組や果たす役割として期待するものとして「子どもの体験、フィールドワークなどの場づくり」が 35.1%、問 46 の堺市博物館の施設に関して期待するものとして「体験学習ができる空間」が 41.3%と割合が高く、体験施設や体験型イベントを期待する回答が多い。

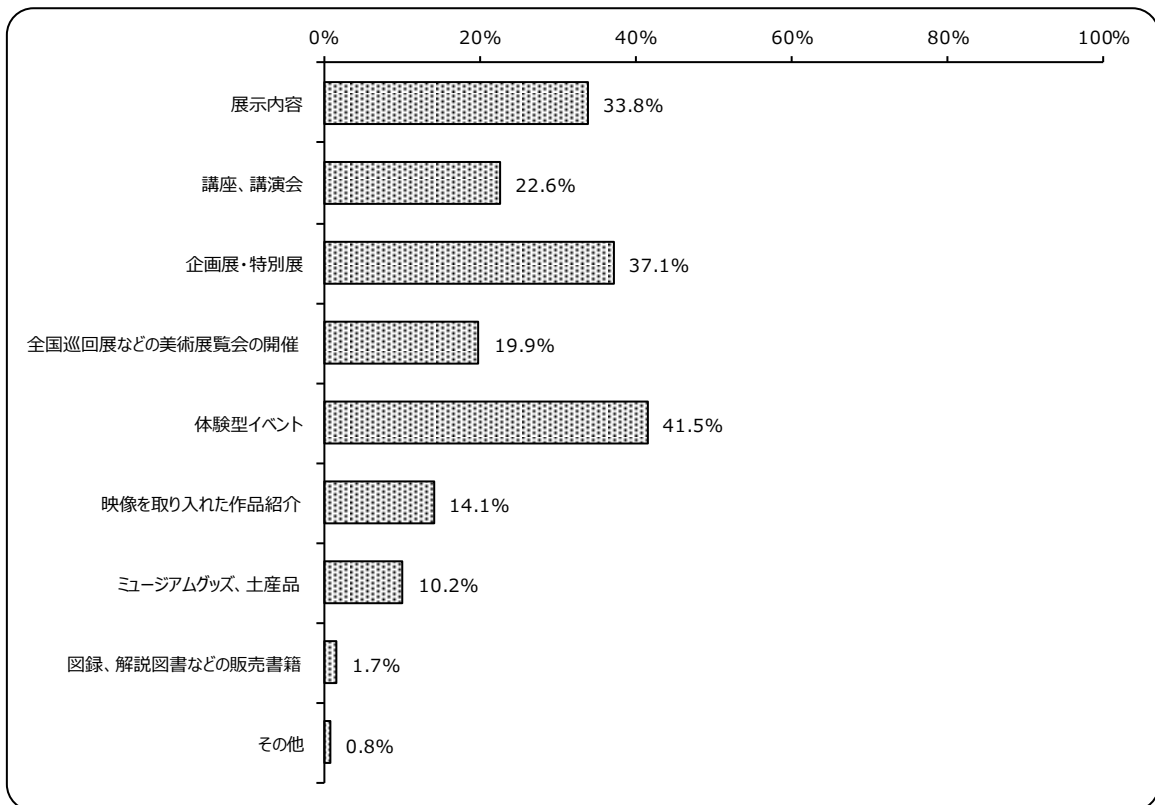
次いで「企画展・特別展」が 37.1%。「展示内容」が 33.8%であり、展示内容の充実を期待する回答についても多い。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	展示内容	163	33.8%
2	講座、講演会	109	22.6%
3	企画展・特別展	179	37.1%
4	全国巡回展などの美術展覧会の開催	96	19.9%
5	体験型イベント	200	41.5%
6	映像を取り入れた作品紹介	68	14.1%
7	ミュージアムグッズ、土産品	49	10.2%
8	図録、解説図書などの販売書籍	8	1.7%
9	その他	4	0.8%
	計 (回答総数)	876	181.7%

[9 その他]

【主な回答】

- ボランティアの充実
- 市民は無料で観覧できる仕組み



「堺市博物館に関する自由意見」

問 48. 堺市博物館に、あなたが必要と考えるサービス、施設・設備などについて、ご意見・ご提案などがあれば自由にご記入ください。 【自由記述】

【1 子どもが興味を持つ展示・イベントの実施や空間づくりについて】

- 子ども向けの展示やイベントの充実
- 子ども向けの体験型の施設を作してほしい。
- 子どもが友達とゲーム感覚で競い合えるアイテムを用意するなど、もっと利用率をあげる取り組みをしてほしい。
- 小学生がもっと行きたくなるような施設にすれば、夏休みや校外学習などで訪れる機会が増えるのではないかな。
- 子ども用のトイレ設備の充実
- 図書館のように身近な存在であれば利用頻度も上がる。
- 子どもに交通ルールを使って自転車を実際に乗ってもらえるスペースを作してほしい。
- 現在の堺市博物館は、何をメインに扱っている博物館なのかが名前からはわからない。地域の歴史博物館のようだが、人文歴史を取り扱うだけでは来館者の興味がわきにくい。人文科学コーナーと科学・工業コーナーを両立することで、子どもたちの関心が高まり、その中で堺をアピールできたら良い。
- 一度行った事があるが、すぐつまらなかった。もっと子どもが喜ぶ体験型の施設にすべき。公園もあるので相性が良いのではないかな。
- 遺跡などの実物大の模型などを展示することで、迫力ある体験を子どもたちに提供できれば地域愛が拡大するだろうし、地域経済の発展につながるのではないかな。

【2 あらゆる人が楽しめる展示・イベントの実施や空間づくりについて】

- 博物館が、幅広い世代にとってもっと身近で楽しい施設だと嬉しい。来館のきっかけ作りのため、大道芸や移動動物園、高齢者向けの社会見学会などのイベントの実施や、展示資料を使った“映える”写真撮影に関する取組などを行う。
- 突拍子もない展示やレストスペースなど、若者の話題になりそうな設備があると人々の目にとまるのではないかな。現に、Twitter などで話題となったものには年齢問わず多くの関心が寄せられている。何か話題になりそうなものを取り入れてみてはどうか。
- Vtuber などを利用した若者層へのアプローチ
- 若者にとっても親しみやすい、時代に合った取組をするべき。
- クイズラリーやキャラクターによる展示説明、ボタンを押したり触ったりできる体験型の展示物などがあると子どもが行ってみたいと思えるし、大人も楽しいと思う。博物館は歴史、美術、民族などの分野に興味がある人しか行かないと思うし、興味がなくて行ったとしてもその一度きりになる。
- 高校生くらいの年齢の子どもが参加できるイベントがあれば良い。
- チラシなど資料の内容には、カタカナ語はなるべく使用しないでほしい。高齢者や子どもを対象とした資料の作成に力を入れてほしい。
- 歴史等にあまり興味がない人でも訪れてみたくなるようなおしゃれな空間や、子どもも楽しめる写真スポットなどがあると行ってみたい。
- 今の博物館は、小学校の課外授業で行くイメージがあるが、それ以外で利用したいとは思わない。休日に家族で行けるような、子どもから大人まで楽しめる内容にしてほしい。
- 生涯学習の拠点となるよう、アクセスのしやすさや講演会などを充実させてほしい。
- スタンプラリーのようなイベント
- 老若男女参加できるような体験型イベント

【3 展示内容、企画展・特別展について】

- MR(複合現実。現実世界（視界全面）に仮想の情報を重ね合わせる技術)などを利用したオンラインでの博物館の閲覧
- 世界的な美術品を期間限定での展示
- 展示内容を古墳と中世に特化して、京都や奈良の博物館との差別化を図ってはどうか。
- 年数回の企画展、特別展の実施。
- 他府県の博物館のように、観たいと思うような企画展示をしてほしい。
- 展示内容に堺の武将や偉人、恩人の特集を取り入れてはどうか。
- 教育的展示の要素に加えて、芸術的な展示も加えると良い。博物館は世界遺産の隣にあり、立地環境が良いだけに、展示内容の印象が弱いのがもったいない。
- 博物館は元々地味な所なので、近所にあっても立ち寄りたとは思わない。展示物が変わらないように思う。
- 展示物の製作方法、保存方法、昔の人の動きそして遷移図などを VR(仮想現実。現実世界の情報は遮断して、仮想世界のみを描く技術)で見たい。
- 所蔵品を充実させてほしい。現在では他市に誇れるような所蔵品が少ない。
- 全国巡回展などの美術展覧会の開催などがあれば、とても魅力的であり、今までより多くの方々が来館されるきっかけとなり良いのではないかな。
- インターネット上で展示を見ることができるようにしてほしい。
- 世界に発信できる展示等の内容の充実
- 他の博物館と提携して、集客を見込める企画展を実施する必要がある。出土したはにわを並べるだけではなく、「全国のはにわ展」など面白いのではないかな。
- 堺が全国の都市と違い何が優れているか、どういう素晴らしい企業があるかを展示してほしい。
- 世界遺産に関連した情報など、全国から興味を持たれる展示をしてほしい。
- 大阪市にある美術館等に比べて、建屋のスケールも劣るうえ、特別展等の開催内容・と頻度が圧倒的に少ない。
- 堺発祥のもの、堺らしい歴史の展示。
- 展示物、展示方法の工夫。
- 博物館で何を展示しているのかわからないので行く機会が無い。堺の歴史、特に江戸から明治への歴史に関する物や人物の紹介をしてはどうか。
- 古墳以外の展示の印象がない。古墳時代などに興味がなければ、わざわざ博物館に行く目的がない。定期的に一部展示内容が変更されることがあれば見に行くかもしれない。

【4 展示以外の事業（イベント、講座、シアター、案内ガイド、グッズ販売等などについて）】

- 市民や学校行事向けの施設とするか、観光客向けの施設とするか、ターゲットをある程度絞ったほうが構想しやすいのではないかな。規模からしても、市民や学校行事向けの施設として、広い大仙公園も活用した体験型イベントなどをするほうがよいのではないかな。観光客向けの施設は、中身の充実もさることながら、施設の見え方や規模のインパクトも必要と思うので、現在の堺市博物館では難しいのではないかな。
- 足を運ぶきっかけとなる講演会などあれば良い。
- 観光資源として国内の観光客を呼び込めるようなコンテンツがあると良い。さかい利晶の杜との距離が遠いので、観光客の移動にセグウェイを使って、モデルコースを移動しながら楽しめるサービスなどを実施してはどうか。
- 年間パスポートとそれに付随する講座、イベントの充実
- 土産品の開発、古墳グッズの販売、お菓子等の企画の充実
- 上映時間が長く、ストーリー性のあるバーチャル映像を充実させてほしい。
- 工芸体験

- 市内の老舗和菓子屋のアイデアによる、SNS で話題になるようなスイーツの販売や、若い人でも興味を持ってもらえるような、歴史をテーマとしたアニメの関連イベントなどを開催してはどうか。
- 展示の観覧だけでなく、いつ行っても楽しくゆったりと過ごせるような身近な空間になればいいと思う。
- 茶の湯体験を充実させてほしい。
- 観光に立ち寄りたくなる資料の充実
- 古墳シアターが大変興味深かったので、また訪ねたい。
- 百舌鳥古墳群の紹介について、全ての古墳名を入れた空撮の映像を製作してほしい。
- シアターで上映するの映像コンテンツの数を増やしてほしい。
- 展示されているクイズやパズルの内容がいつも同じなので、バリエーションを増やしてほしい。
- 館内スタンプラリーなど、何度行っても楽しめる取り組みがあるとよい。
- 資料のみの展示だけでは客層に限られる。美術展など堺にあまり関係の無いさまざまな内容のイベントを定期的に開催することで、堺に興味がなかった観光客が、ついでに博物館を見学して関心を持ってくれるかもしれない。
- ハニワ部長が、堺の歴史に詳しい人と漫談してはどうか。磯田道史先生などと呼んでほしい。
- 社会人でも参加できる生涯学習講座を多く実施してほしい。時間などを気にせずに参加できるようにオンライン講座などもあれば参加してみたい。
- 堺の歴史が身近にわかるような仕組みがほしい。
- コンサートホールのようなイベント施設を併設して、他府県や府内から初めて訪れる人にも立ち寄ってもらえるような場にしてほしい。見てもらえればもっと興味をもってもらえるのに、わざわざ訪ねる人にしか見てもらえないのはもったいない。
- 美術館や博物館でのマナーを知らない人もいるので、そういった啓蒙活動も取り入れてほしい。
- 歴史学者や学芸員を中心とした、市民参加可能なミニ研究会を分野毎に適宜開催してほしい。
- 博物館学芸員の方の研究課題の講演・著作物の公表などがあれば利用したい。
- 今流行りのドローンを使った、自分が小型飛行機やヘリコプターから見ているかのような体験ができるコーナーなど、世界遺産の古墳を堪能できたと実感できる取り組みを実施してほしい。
- 織田信長や徳川家康なども堺を訪問しているので、堺での活動などを見聞できるようなテーマも扱ってほしい。
- 著名人の講座
- 館内を案内するボランティアガイドは必要ない。
- 解説してくれる人がいてくれるのが一番ありがたいと思うが、オーディオブックを使った詳しい解説がほしい。または、MR(複合現実。現実世界(視界全面)に仮想の情報を重ね合わせる技術)や AR(拡張現実。現実世界(一部)に仮想の情報を重ね合わせる技術)を使って、スマホ世代や活字を読むことに抵抗がある人にも分かりやすくしてはどうか。

【5 情報発信、広報】

- 大仙公園の中の博物館というイメージが強いので、公園と博物館という独立した形で、両方の施設がしっかりと広報活動をしてほしい。
- 情報発信が少なく、今のような展示がされているかなど市民から情報を取りにいかないといけないと知ることができないため、より積極的に情報発信してほしい。
- 堺市の文化・歴史の PR に力を入れてほしい。
- 館内の混雑状況をリアルタイムに知りたい。
- 大仙公園内において、博物館への案内表示が分かりにくい。
- 企画の内容の明確さと宣伝力が必要ではないか。
- 百舌鳥古墳群がなぜ貴重なのか(なぜ世界遺産に登録されたのか)を周知、アピールしてほしい。
- 堺市の中小企業の情報発信をしてはどうか。
- ホームページをもう少し見やすくしてほしい。コロナ禍で開催されたオンラインでの展示紹介は素晴らしかった。

- 市のホームページで、展示内容の変更案内などをしてほしい。
- 博物館の広報活動の一環としてホームページを充実させてほしい。他市のものに比べて見劣りがするので、市独自の立派なものを作ってほしい。現在は文字が多くて役所のホームページという印象が強く、面白そうに思えないので、動画をさらに活用するなどしてビジュアル重視のものにしてはどうか。
- 現在博物館のホームページでは館蔵品紹介・重要文化財を12点しか紹介していないが、他にどんなものがどれくらいあるのかも紹介してはどうか。
- SNSを活用して、興味をひくような内容を発信してほしい。
- 知名度がとても低い。宣伝に創意工夫が必要。

【6 運営（開館時間、料金等）について】

- 観覧料無料
- 市民は観覧料を無料にするか、無料券を配布してほしい。
- 市民へのポイントサービスか観覧料の割引をしてほしい。
- 休館日を無くしてほしい。
- 閉館時間の延長
- 別料金制のイベントは無くし、観覧料だけで運営するか、イベントにより観覧料を変動制にしてはどうか。人件費を見直すことで、観覧料を下げる検討をすれば良い。

【7 他機関との連携】

- 地元大学との連携
- 堺市の歴史に関連する他自治体の博物館や民間施設とも交流し、堺市博物館の認知度・発信力を高めていくべきである。
- 学校教育と深い関係が必要。
- 堺市博物館後援会を作り、メンバーを募集して会員証を発行する。また、飲食店等の提携施設を拡充し、提携施設利用時に使える割引券を発行してはどうか。

【8 施設の拡充、空間づくりに関すること】

- カフェやレストランなどの飲食店の設置
- お店が集まったマルシェのような催し
- 図書室、自習、学習スペースの設置
- 自由に使用可能なコワーキング라운ジの併設によるエリアの活性化
- コンビニなどの併設
- 休憩室、食堂、トイレ、シャワー室等のくつろげる場所の設置
- 特産品売り場の充実
- コンサートホールの設置
- 喫煙室の設置
- 現在の建物をもう少し大きくして、市民の憩いの場として活用出来るようにしてほしい。
- 古墳自体の中を見られる展示がほとんどない。古墳の中を疑似体験できる設備などでできれば良い。
- 古い作りは気にならないが、汚さが目立つ。金額の割に屋内が狭い。
- 堺市の歴史・文化と海外も含めた他地域の歴史・文化との関わりについて学べる環境を充実させる。
- 地域のコミュニティとして利用するのが良い活用方法だと思う。
- 歴史ある堺には、河口慧海など知られていない著名人・職人などが多い。博物館の常設展示でそういう人々の紹介

や古い町並みの再現などしてほしい。展示室も広く、多目的にしてほしい。

- 堺市の文化、芸術、観光についての施設強化
- 堺市のことが学べる体験型施設の設置
- お堅いイメージがあるので、例えば百舌鳥古墳群ビジターセンターのように、自転車を漕ぎながら VR(仮想現実。現実世界の情報は遮断して、仮想世界のみを描く技術)ゴーグルで映像を観るアトラクションや、博物館と茶室の建物を一体化するなどしてはどうか。

【9 交通の便、駐車場、バリアフリーに関すること】

- 駐車場から博物館までの距離が遠く、足の不自由な方は大変だと思う。駐車場の確保が困難であればシャトルバスがあれば年配の方も行きやすいと思う。古墳が出来るまでの映像を見て感動したので、小中学校の子どもたちにはぜひ観てもらいたいと思う。
- 建物の中が暗く狭く、バリアフリーの設備が整っていない。
- 駐車場を無料で利用できるようにしてほしい。
- 雨天時に、地下道で古墳正面まで濡れずに行けるようにしてほしい。
- 不便な場所にあるため、行きにくい。

【10 建替、立地、統廃合等について】

- 古いので建替えたほうが良い。
- 他の施設との統廃合を計画的に進めてほしい。民活視点で民営化も検討すべき。
- 建て替えて、展示スペース、体験コーナー、自習室等を大幅に拡張すべき。
- 根本的に立地が良くないので、堺東駅前に別館などを用意して、そちらで企画展を開いてみてはどうか。
- 博物館だけでなく古墳も含めて“博物館エリア”と捉え、来訪者がアクセス、理解を深められるようにすると活性化に繋がる。

【その他の意見】

- 世界遺産の仁徳天皇陵のアピールのため、これからも頑張してほしい。
- 観光客が、堺の歴史を知りたいと思うような博物館になれば良い。
- コロナ禍で対面式のイベントが中止となっているが、感染対策を十分実施のうえ早く再開してほしい。
- 丁寧に展示されていると聞いたのでその点は良い。
- 行ったことがないので、まずは一度利用したい。
- 今はコロナ渦であり、必要最低限の予算に抑えてほしい。税金のムダ使いはやめてほしい。
- 高層の建物に建て替え、仁徳天皇陵の全景が見える高さの展望台を併設してほしい。原案の気球は天候に左右され搭乗者も限定され中途半端で終わってしまう。国、大阪府、堺市、民間企業からの出資と市民等個人から寄付金を集めて、寄贈者には銘板や年間パスポート等の特典を付ければ良い。
- 美術館が必要。

4. 自治会について

(1) 生活実態などについて

「お住まいの状況」

問 49. 回答日時点のお住まいについてお答えください。

【選択は 1 つ】

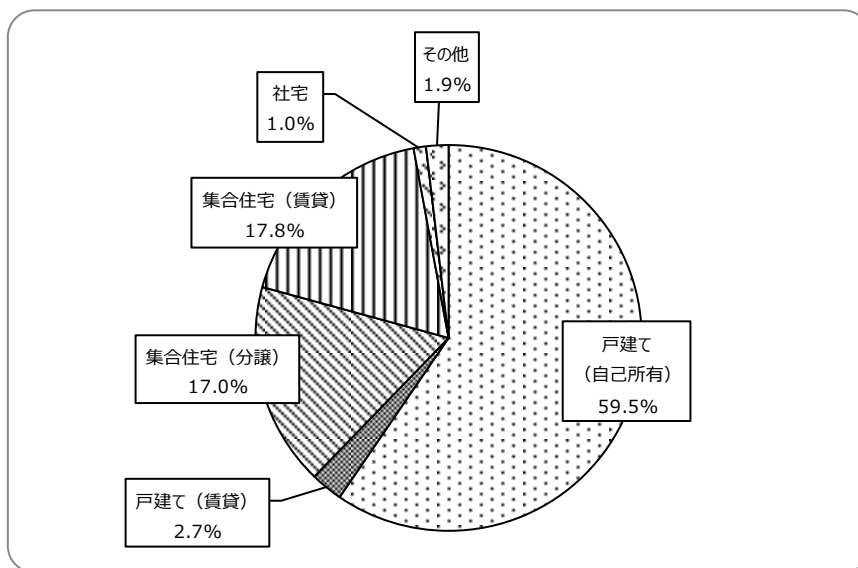
「戸建て（自己所有）」が、59.5%で最も割合が高く、次いで「集合住宅（賃貸）」が 17.8%、「集合住宅（分譲）」が 17.0%であった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	戸建て（自己所有）	287	59.5%
2	戸建て（賃貸）	13	2.7%
3	集合住宅（分譲）	82	17.0%
4	集合住宅（賃貸）	86	17.8%
5	社宅	5	1.0%
6	寮	0	0.0%
7	その他	9	1.9%
	計（回答総数）	482	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- 戸建て（家族所有）



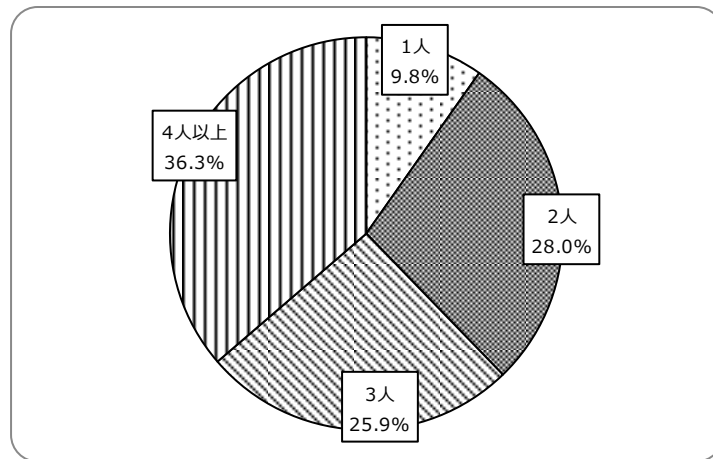
「家族の人数」

問 50. 回答日時点の同居している家族の人数をお答えください。(回答者本人含む)

【選択は 1 つ】

「4 人以上」が、36.3%で最も割合が高く、次いで「2 人」が 28.0%、「3 人」が 25.9%となっており、同居している家族がいると回答した方の割合が 9 割を超えている。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	1人	47	9.8%
2	2人	135	28.0%
3	3人	125	25.9%
4	4人以上	175	36.3%
	計 (回答総数)	482	100.0%



(2) 自治会や地域コミュニティへの関わりについて

「自治会の加入状況」

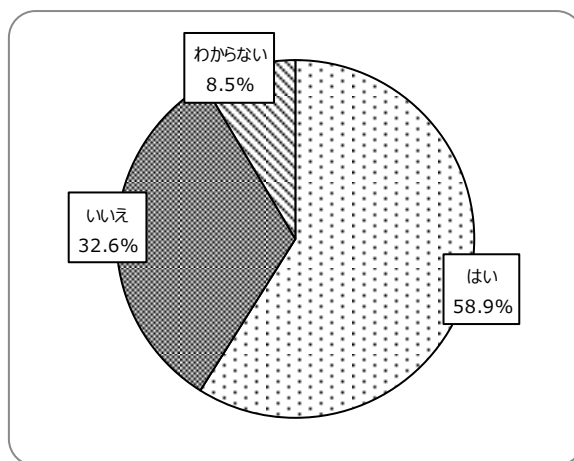
問 51. 自治会に加入していますか。

【選択は 1 つ】

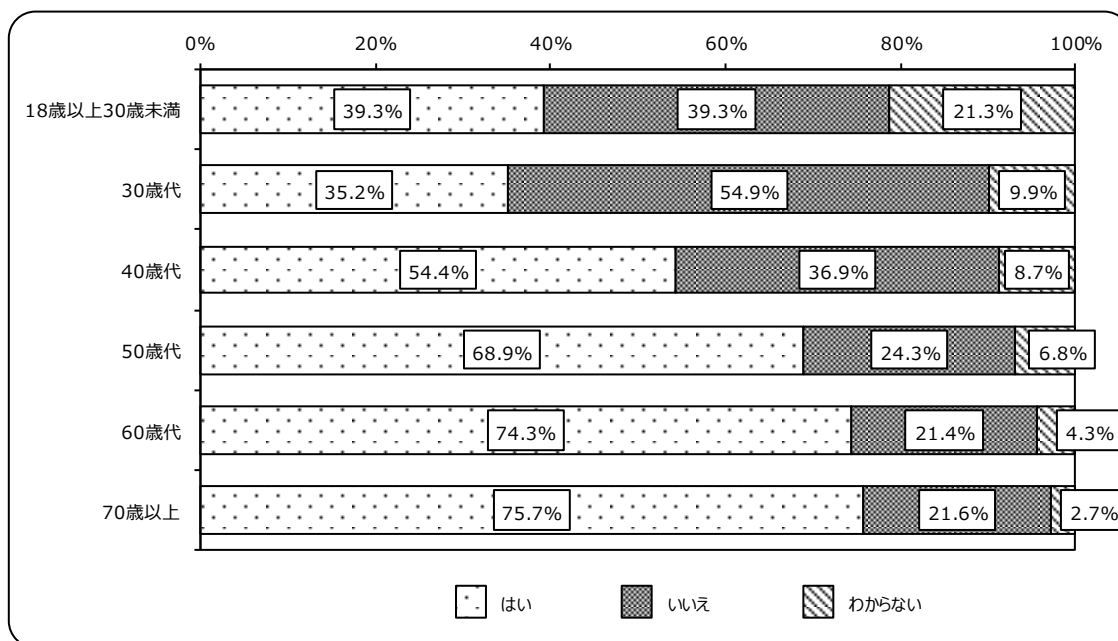
「はい」が 58.9%で、「いいえ」が 32.6%であった。6 割近い方が自治会に加入していることがわかった。
 また、年齢別集計の結果、50 歳代以上になると 7 割近い方が自治会に加入しており、年齢が上がる程加入率が高いことがわかった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	はい	284	58.9%
2	いいえ	157	32.6%
3	わからない	41	8.5%
	計 (回答総数)	482	100.0%

「全体」



「年齢層別」



《加入のきっかけ》

問 52. 問 51 で「1 はい」と回答された方に伺います。

自治会に加入したきっかけは何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

「自治会役員や近所の方から勧誘された」が 44.0%と最も割合が高く、次いで「その他」が 31.3%、「子どもの頃から地域活動に参加していた」が 20.8%であった。

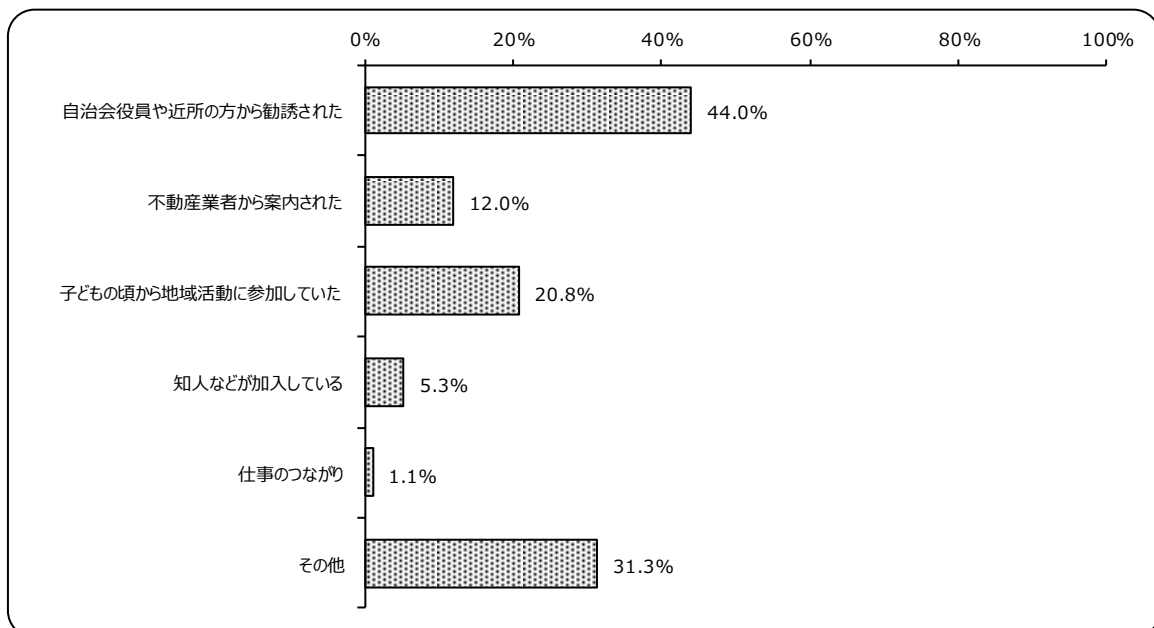
また、「その他」の中で、「マンション等の入居時に必要だった」という内容が比較的多くあり、入居時の勧誘が自治会加入のきっかけにつながっていることがわかった。

	選択項目(N=284)	回答数	構成比
1	自治会役員や近所の方から勧誘された	125	44.0%
2	不動産業者から案内された	34	12.0%
3	子どもの頃から地域活動に参加していた	59	20.8%
4	知人などが加入している	15	5.3%
5	仕事のつながり	3	1.1%
6	その他	89	31.3%
	計 (回答総数)	325	114.4%

[6 その他]

【主な回答】

- マンション等の入居時に必要だった。
- 加入が当たり前だと思っていた。
- 先祖代々住んでいる、親が加入していた。



《携わっている自治会活動》

問 53. 問 51 で「1 はい」と回答された方に伺います。

現在、主に携わっている自治会活動は何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

「環境活動（美化活動、古紙回収など）」が 41.9%と最も割合が高く、次いで「イベント（まつり、運動会など）」が 34.9%、「参加していない」が 25.7%であった。

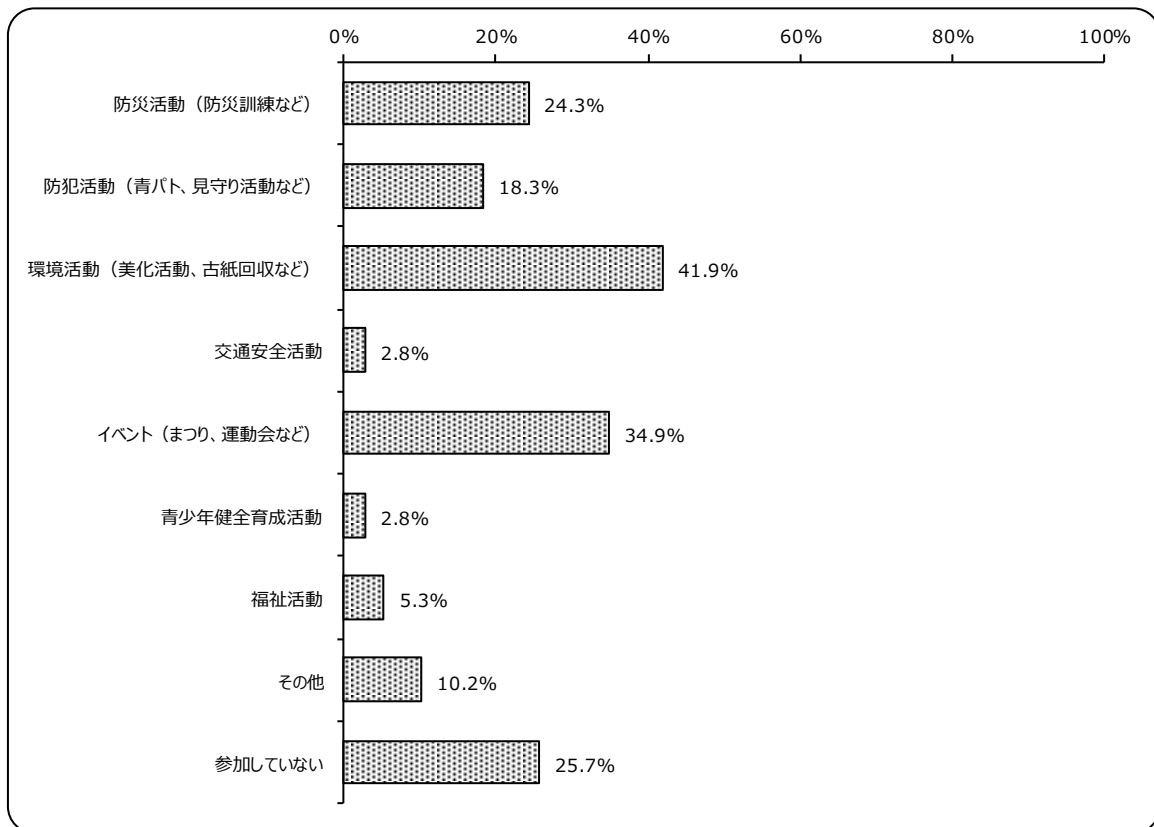
美化活動など参加しやすい活動に携わる方が多いという傾向がわかった。また、自治会に加入していても活動に参加されていない方が一定数いることもわかった。

	選択項目(N=284)	回答数	構成比
1	防災活動（防災訓練など）	69	24.3%
2	防犯活動（青パト、見守り活動など）	52	18.3%
3	環境活動（美化活動、古紙回収など）	119	41.9%
4	交通安全活動	8	2.8%
5	イベント（まつり、運動会など）	99	34.9%
6	青少年健全育成活動	8	2.8%
7	福祉活動	15	5.3%
8	その他	29	10.2%
9	参加していない	73	25.7%
	計（回答総数）	472	166.2%

[8 その他]

【主な回答】

- 役員、班長
- 全ての活動



「自治会に加入してよかったこと」

問 54. 問 51 で「1 はい」と回答された方に伺います。

自治会に加入してよかったことは何ですか。

【選択は 1 つ】

「住民同士の交流ができる」が 30.6%と最も割合が高く、次いで「特になし」が 25.0%、「行政情報が手に入る」が 16.5%であった。

住民同士の交流や行政情報にメリットを感じる方が多かった一方で、自治会に加入しているが特にメリットを感じていない方も一定数いることがわかった。

また、40 歳代以上になると他の項目に比べて「住民同士の交流ができる」ことにメリットを感じる方の割合が高いことがわかった。

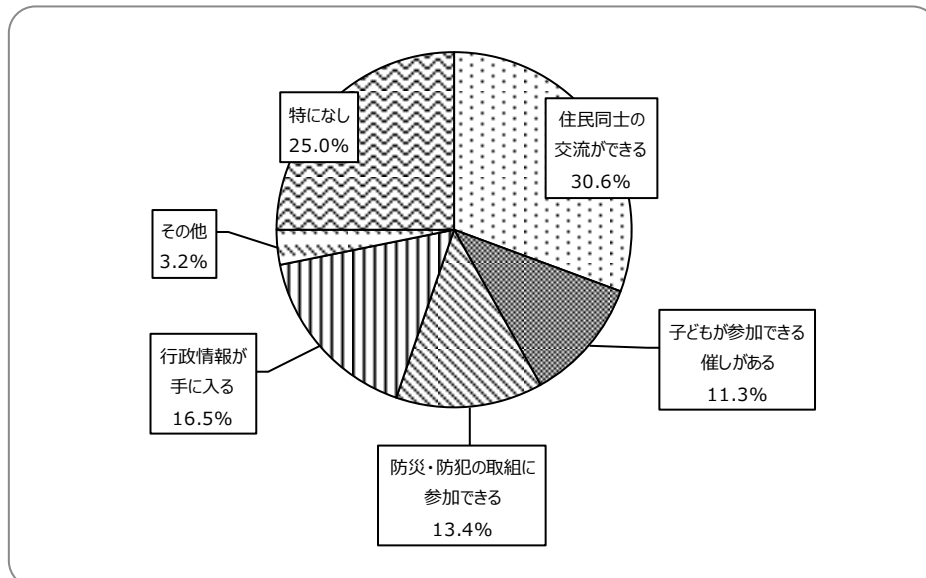
	選択項目(N=284)	回答数	構成比
1	住民同士の交流ができる	87	30.6%
2	子どもが参加できる催しがある	32	11.3%
3	防災・防犯の取組に参加できる	38	13.4%
4	行政情報が手に入る	47	16.5%
5	その他	9	3.2%
6	特になし	71	25.0%
	計 (回答総数)	284	100.0%

[5 その他]

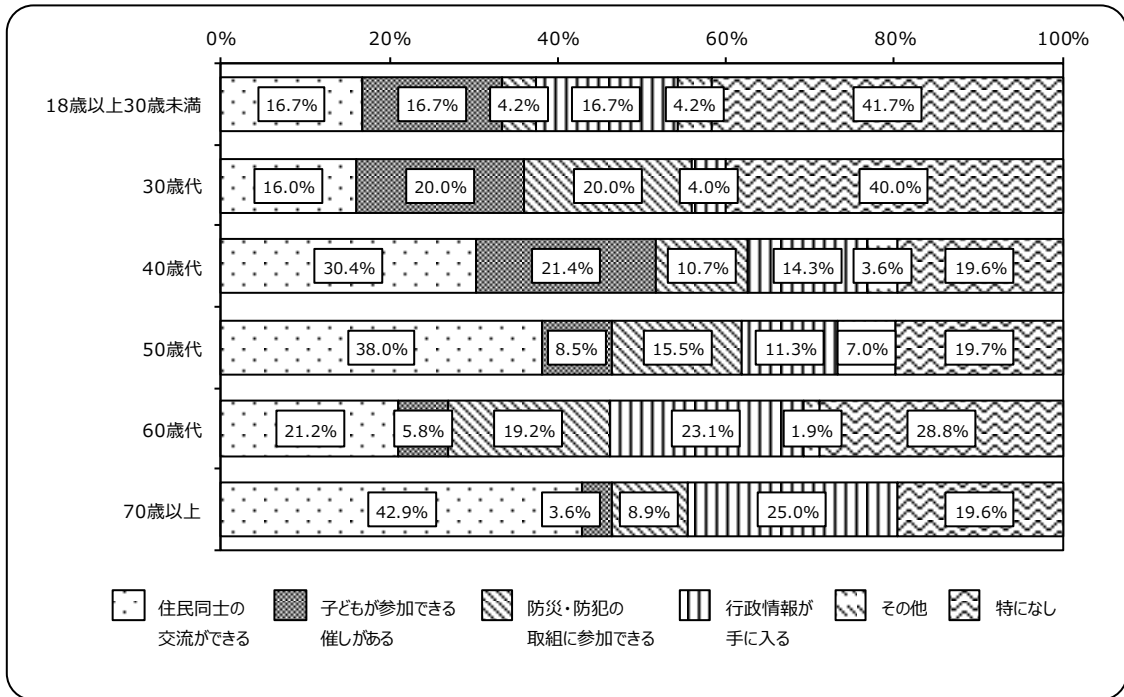
【主な回答】

- 街灯を設置してくれる。
- 困ったときの相談

「全体」



《年齢層別》



(3) 自治会に対する意識について

「未加入の理由」

問 55. 問 51 で「2 いいえ」と回答された方に伺います。

自治会に加入しない理由は何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

「加入しなくても生活が困らない」が 37.6%と最も割合が高く、次いで「役員になるのが嫌」が 24.2%、「人間関係が煩わしい」が 23.6%、「活動が負担」が 22.3%であった。

自治会活動に対する負担感が、加入しない理由になっていることが伺える。

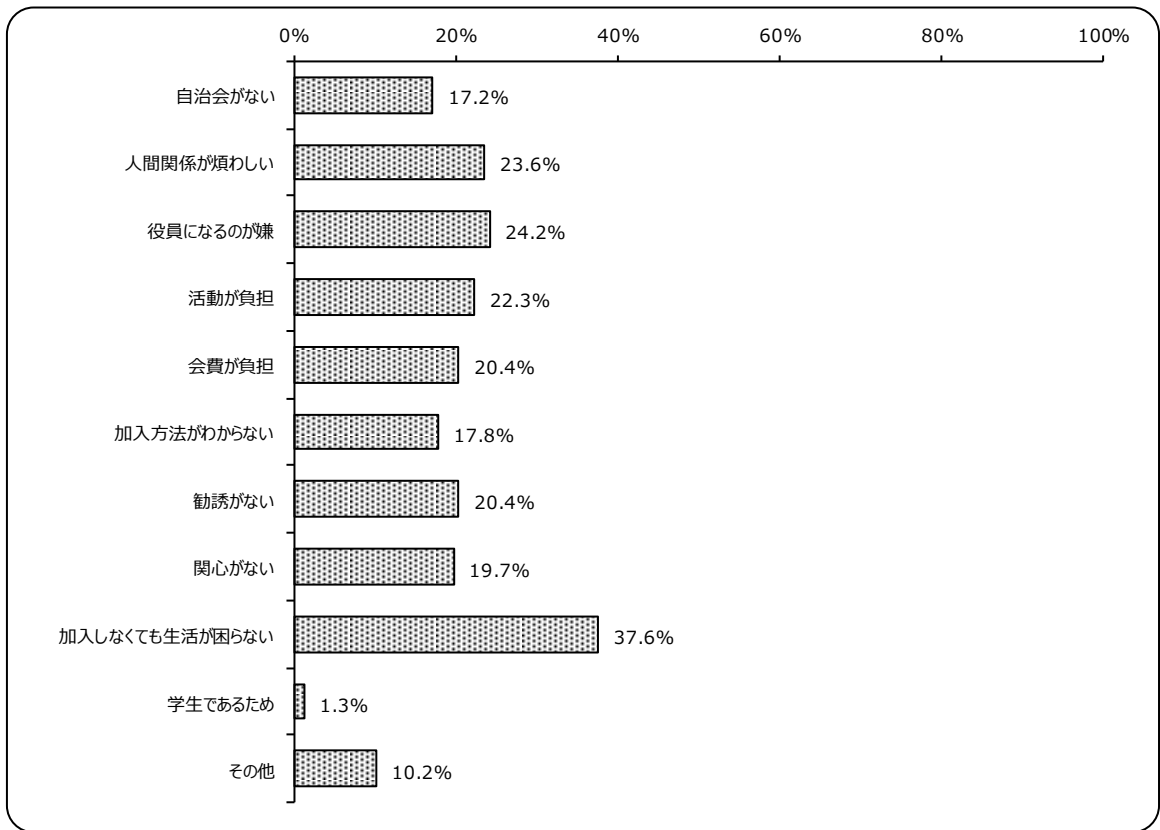
また、「勧誘がない」の割合も一定数あることから、自治会加入を促進する一つとして勧誘活動が有効であることが伺える。

	選択項目(N=157)	回答数	構成比
1	自治会がない	27	17.2%
2	人間関係が煩わしい	37	23.6%
3	役員になるのが嫌	38	24.2%
4	活動が負担	35	22.3%
5	会費が負担	32	20.4%
6	加入方法がわからない	28	17.8%
7	勧誘がない	32	20.4%
8	関心がない	31	19.7%
9	加入しなくても生活が困らない	59	37.6%
10	学生であるため	2	1.3%
11	その他	16	10.2%
	計 (回答総数)	337	214.6%

[11 その他]

【主な回答】

- 活動内容がわからない。
- 以前加入していたが退会した。



《加入につながる要因》

問 56. 問 51 で「2 いいえ」「3 わからない」と回答された方に伺います。

どのような要因があれば、自治会に加入したいと思いますか。

【選択は 1 つ】

「加入したいとは思わない」が 25.3%と最も割合が高く、次いで「自治会役員などの負担が少ない」が 19.7%、「自分にとって有益な情報の提供がある」「会費などの金銭的負担が少ない」が 14.6%であった。

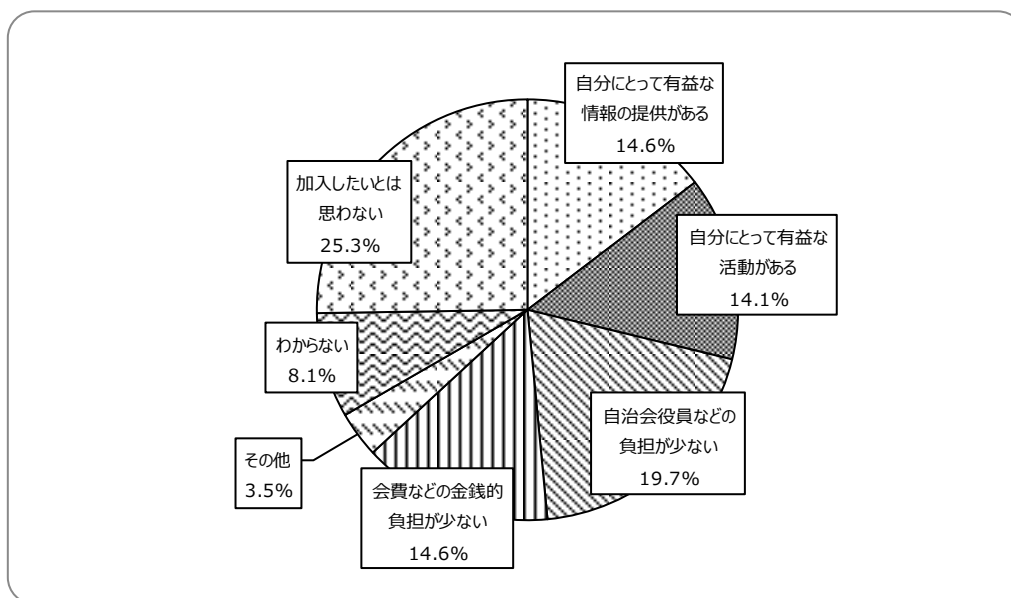
自治会加入を促進していくためには、自治会活動に対する負担の軽減や、より充実した情報提供などが有効であることがわかった。

	選択項目(N=198)	回答数	構成比
1	自分にとって有益な情報の提供がある	29	14.6%
2	自分にとって有益な活動がある	28	14.1%
3	自治会役員などの負担が少ない	39	19.7%
4	会費などの金銭的負担が少ない	29	14.6%
5	その他	7	3.5%
6	わからない	16	8.1%
7	加入したいとは思わない	50	25.3%
	計 (回答総数)	198	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- 活動内容がわかること



《興味・関心がある活動》

問 57. 問 51 で「2 いいえ」「3 わからない」と回答された方に伺います。

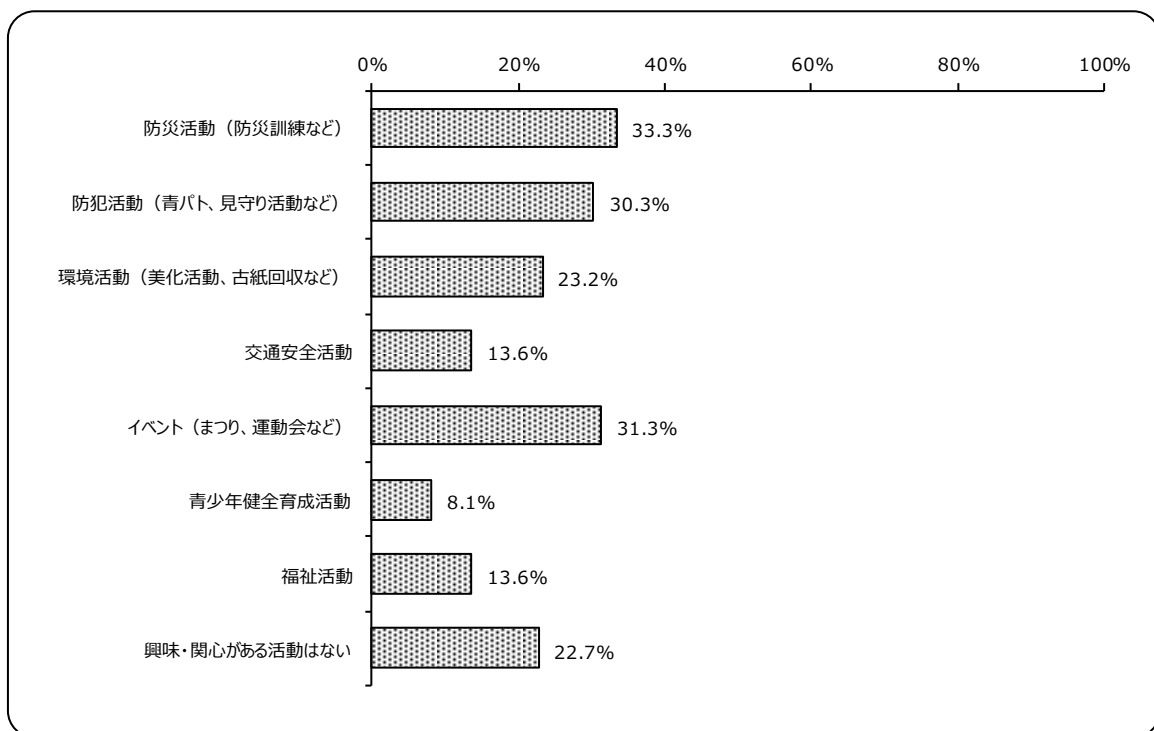
次に掲げる活動のうち、あなたが興味・関心がある活動は何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

「防災活動（防災訓練など）」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「イベント（まつり、運動会など）」が 31.3%、「防犯活動（青パト、見守り活動など）」が 30.3%であった。

防災・防犯活動に関する興味・関心が高いことから、自治会加入を促進していくために、この分野を中心に取り組むことが有効であることがわかった。

	選択項目(N=198)	回答数	構成比
1	防災活動（防災訓練など）	66	33.3%
2	防犯活動（青パト、見守り活動など）	60	30.3%
3	環境活動（美化活動、古紙回収など）	46	23.2%
4	交通安全活動	27	13.6%
5	イベント（まつり、運動会など）	62	31.3%
6	青少年健全育成活動	16	8.1%
7	福祉活動	27	13.6%
8	興味・関心がある活動はない	45	22.7%
	計（回答総数）	349	176.3%



(4) 加入促進に向けて

≪近所付き合いの程度≫

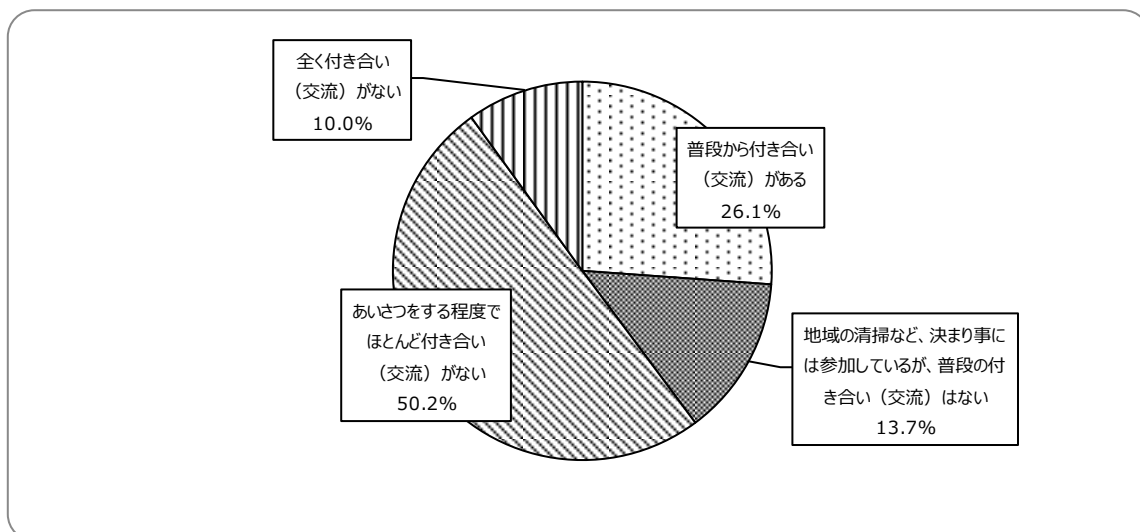
問 58. 近所付き合いの程度は、どのくらいですか。

【選択は 1 つ】

「あいさつをする程度でほとんど付き合い（交流）がない」が 50.2%と最も割合が高く、次いで「普段から付き合い（交流）がある」が 26.1%であった。

「全く付き合い（交流）がない」が 10.0%となっており、昨今は人のつながりの希薄化が懸念されているが、あいさつ等の近所付き合いをしている方は多いことがわかった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	普段から付き合い（交流）がある	126	26.1%
2	地域の清掃など、決まり事には参加しているが、普段の付き合い（交流）はない	66	13.7%
3	あいさつをする程度でほとんど付き合い（交流）がない	242	50.2%
4	全く付き合い（交流）がない	48	10.0%
	計（回答総数）	482	100.0%



《大規模災害発生するとき》

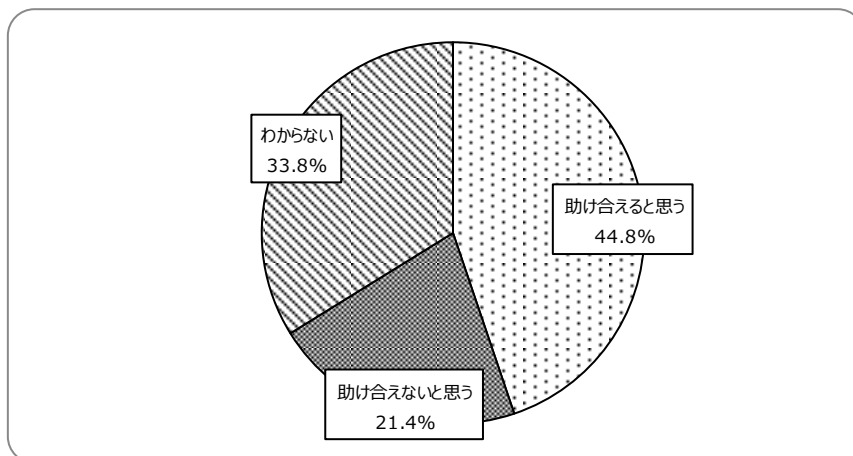
問 59. 大規模災害発生時に、近隣住民の方々と助け合えると思いますか。

【選択は 1 つ】

「助け合えると思う」が 44.8%と最も割合が高く、「わからない」が 33.8%であった。

「助け合えないと思う」が 21.4%に対して、2 倍以上の方が「助け合える」と思っており、大規模災害発生時に住民同士の助け合いが期待できる状況であることがわかった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	助け合えると思う	216	44.8%
2	助け合えないと思う	103	21.4%
3	わからない	163	33.8%
	計 (回答総数)	482	100.0%



「自治会の必要性」

問 60. 自治会は必要と思いますか。

【選択は 1 つ】

「必要と思う」が 53.1%と最も割合が高く、「わからない」が 33.8%であった。

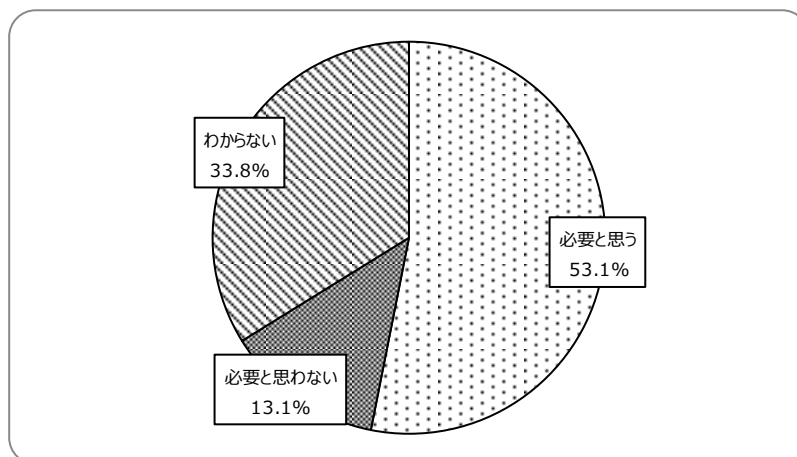
「必要と思わない」が 13.1%となっており、半数以上の方が自治会の必要性を認識していることがわかった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	必要と思う	256	53.1%
2	必要と思わない	63	13.1%
3	わからない	163	33.8%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[2 必要と思わない理由]

【回答一覧】

- 必要性がわからない。
- 時間やお金などの負担が大きい。
- 人間関係が煩わしい。



「自治会に期待すること」

問 61. 自治会に期待することは何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

「防犯活動（青パト、見守り活動など）」が 52.1%と最も割合が高く、次いで「防災活動（防災訓練など）」が 46.1%、「環境活動（美化活動、古紙回収など）」が 40.2%であった。

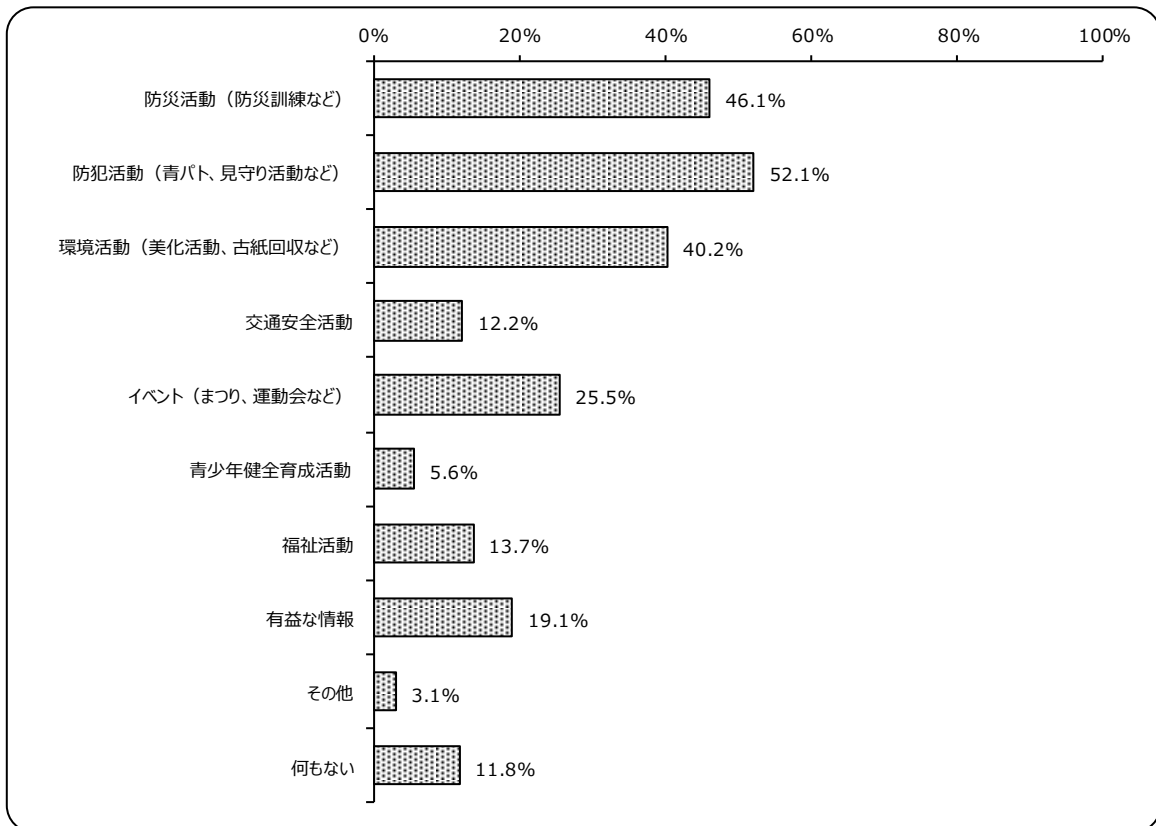
自治会が期待されている役割として、防災・防犯活動と環境活動が大きく占めていることがわかった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	防災活動（防災訓練など）	222	46.1%
2	防犯活動（青パト、見守り活動など）	251	52.1%
3	環境活動（美化活動、古紙回収など）	194	40.2%
4	交通安全活動	59	12.2%
5	イベント（まつり、運動会など）	123	25.5%
6	青少年健全育成活動	27	5.6%
7	福祉活動	66	13.7%
8	有益な情報	92	19.1%
9	その他	15	3.1%
10	何もない	57	11.8%
	計（回答総数）	1,106	229.5%

[9 その他]

【主な回答】

● 困ったときの相談



「情報を受け取る手段」

問 62. 自治会から情報を受け取るなら、どのような手段を希望しますか。

【選択は 1 つ】

「紙での回覧」が 39.0%と最も割合が高く、次いで「LINE などのコミュニケーションアプリ」が 25.9%で、「電子メール」が 14.3%であった。

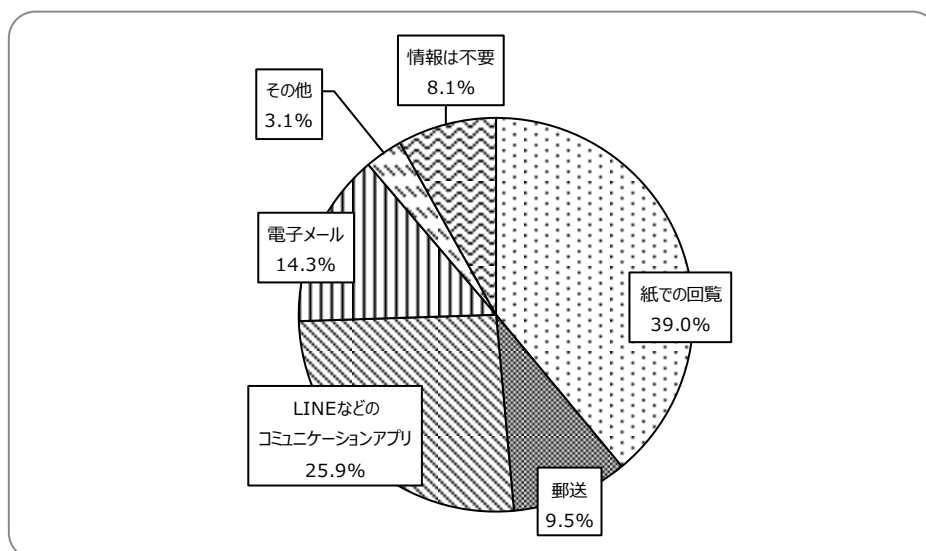
紙回覧のニーズが高い割合である一方で、ICT を活用した情報発信に対するニーズも高いことがわかった。

	選択項目(N=482)	回答数	構成比
1	紙での回覧	188	39.0%
2	郵送	46	9.5%
3	LINEなどのコミュニケーションアプリ	125	25.9%
4	電子メール	69	14.3%
5	その他	15	3.1%
6	情報は不要	39	8.1%
	計 (回答総数)	482	100.0%

[5 その他]

【主な回答】

- ホームページ



令和 3 年度 第 1 回 市政モニターアンケート報告書

1. 消費者問題について
2. 自転車利用環境（「利用促進」「安全利用」「通行環境」「駐輪環境」）について
3. 堺市博物館の今後のあり方について
4. 自治会について

発行月 令和 4 年 1 月

編集・発行 堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3 番 1 号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1 - C3 - 21 - 0259